令和３年度　事業報告書

社会福祉法人　芙蓉会

法人本部

事業概要報告

新型コロナウイルスによる感染症が猛威を振い、一昨年から感染症対策を継続しておりましたが先が見えない日々が続きました。ワクチンもほぼ希望する職員には接種が終わりましたが、変異株の出現で、多くの福祉施設にクラスターが発生し、予断を赦さない状況が続いておりました。

当法人でも1月にひまわり園、2月にさくら保育園、3月にみどり園で新型コロナウイルス感染症の陽性者が出る結果となり、新型コロナウイルス感染症対策の更なる強化を図ることとなり職員は疲弊状態が続き、一日も早い新型コロナウイルス感染症自体の終息を願う一年となりました。

法人理念「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」の下、当法人は118年の歴史と共に地域社会との信頼関係を構築し、質の向上とガバナンスを高めていくことが重要と考え、透明性（情報公開）・倫理性（苦情解決）・組織性（内部監査・監事監査・外部監査）の積極的な取り組み姿勢、労務管理、地域貢献活動の実践を推進して参りました。

今年は、創立120周年に向けて法人の沿革をまとめた記念誌を発刊するべく各施設から編集委員を募り、記念誌編集委員会を立ち上げ活動を開始しました。

さらに、年度当初より職員の採用活動に力を注ぎ、昨年同様マイナビ求人サイトや養成校主催の施設紹介に職員を派遣して新卒学生の求人募集を行って参りました。施設間に差はありますが新卒職員採用がありました。

また、現代の情報収集ツールであるスマートフォンにおいて当法人のホームページが分かりづらいというご意見を頂きホームページのリニューアルを1年掛けて行うためのプロジェクトを開始しました。

最後になりますが、本年度は職員の勤怠管理等について静岡県労働局や、富士労働基準監督署からの指導を受ける事案がありました。この指導を真摯に受け止めて次年度に向けて勤怠管理システムの導入や、飲酒検知システム等の導入計画を進めて、勤務実態の可視化や、適正な労働管理を行うための準備を実施し、より働きやすい職場環境の構築のための事業を進めました。

主要事業報告

1．就業規則の一部改正

乳児院「恩賜記念みどり園」の職員勤務体制（夜勤体制：13時間夜勤から17時間夜勤等）と、令和4年度より児童養護施設「ひまわり園」に自立支援担当職員を配置することになり見直しを図りました。

職場におけるパワーハラスメント防止のために、雇用管理上必要な措置を講じることが令和4年4月から事業主の義務化となり、常勤就業規則及び有期契約職員就業規則の見直しを図りました。

2.給与規程・同細則の一部改正

「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」（令和 3 年 11 月 19 日閣議決定）において、看護、介護、保育、幼児教育等の現場で従事する者の給与改善を求めるとして、令和 3 年 12 月 20 日成立の令和 3 年度補正予算による、「社会的養護従事者処遇改善事業費補助金交付要綱」及び「介護職員処遇改善支援金事業実施要綱」のとおりに定め、今般令和 4 年 2 月以 降の処遇改善処置に基づき見直しを図りました。

3.裁判員休暇規程の制定

平成 16 年 5 月 21 日「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」が成立し平成 21 年 5 月 21 日から裁判員制度が始まりました。職員が裁判員候補および裁判員に選任され義務行使に対する休暇制度の整備を図りました。

4.ボランティア休暇規程の制定

職員が奉仕活動を通じて社会に貢献することを支援するために取得する休暇制度の整備を図りました。

5.育児・介護休業等に関する規則の一部改正

育児・介護休業法の改正（男女とも仕事と育児を両立できるように、産後パパ育休制度（出産時育児休業）の創設や雇用環境整備、個別周知・意向確認の措置の義務化）により育児・介護休業に関する規程の見直しを図りました。

6.ハラスメント防止規程の制定

令和元年６月５日に女性の職業生活における活躍の推進等に関する法律等の一部を改正する法律が公布され、本改正により、職場におけるパワーハラスメント防止のために、雇用管理上必要な措置を講じることが令和 4 年 4 月から事業主の義務化となりハラスメント防止規程の制定を図りました。

7.公益通報保護に関する規程の制定

公益通報者保護法の一部を改正する法律（令和２年法律第 51 号）が、令和２年（2020 年）６月 12 日に公布されました。改正法は、公布の日から２年以内に施行することとされており整備を図りました。

基本目標報告

1.法人内新任職員研修開催（開催日：令和３年４月９日）

コロナウイルス感染症を避けるために 3 密（密閉、密集、密接）を図り、机、椅子の消毒、検温、入口消毒ジェル設置、マスク着用での研修開催となりました。

法人の理念及び実践的な事務処理、施設運営基盤の強化を図ることを目的に、人材育成・組織活性化という視点から、坂倉裕子講師を招き「社会人の基本と仕事の覚え方、人間関係の基本の心理学、信頼されるコミュニケーション」について新規採用職員 15 名を対象に開催いたしました。

2.芙蓉会「創立 118 周年」記念式典

令和 3 年 6 月 10 日に「創立 118 周年」を迎えましたが、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大に伴い様々な社会活動が自粛されており、残念ながら当法人も記念式典を縮小し、感染症拡大防止対策を図るために会場を特別養護老人ホーム「みぎわ園」3 階地域交流室から児童養護施設ひまわり園 2 階食堂に変更して永年勤続表彰（23 名）のみを執り行いました。

3.「創立 120 周年記念誌」制作委員会発足

創立 120 周年記念事業の一つとして「芙蓉会記念誌」制作委員会を立ち上げました。専門家（富士ニュース社）の意見を交えて理事長、業務執行理事をはじめ各施設から担当者（ひまわり園 2 名、みどり園 2 名、みぎわ園 2 名、法人本部 4 名）を選出していただき委員会（第 1 回：6 月 25 日、第 2 回：8 月 25 日）を開催しました。

4.静岡県児童福祉等対応職員慰労金支給

新型コロナウイルス禍の中、静岡県内の児童福祉サービスに従事されてきた方々を対象に慰労金（一律 5 万円）支給をおこないました。

法人単位（ひまわり園、恩賜記念みどり園、さくら保育園）請求

対象者合計：85 人　慰労金支給額：4,250,000 円　支給日：8 月 20 日

5.芙蓉会夏祭り中止

地域の皆様並びに職員の方々の理解とご協力により毎年開催をしておりました「芙蓉会夏祭り：令和 3 年 8 月 21 日（土）」ですが、今年は新型コロナウイルス感染症を避けるため対外的には中止とさせていただき、各施設内で縮小して実施いたしました。

5.法人内ハラスメント相談窓口担当者研修開催（WEB 研修に変更）

令和 2 年 6 月 1 日からパワハラ防止措置が義務化（中小企業は令和 4 年 4 月 1 日）され、当法人の顧問弁護士ご指導（職員からの相談に対し、その内

容や状況に応じ適切かつ柔軟に対応するために必要な体制の整備として相談窓口の設置が必要）の下、令和 3 年 10 月 13 日に 19 名、12 月 8 日に 17 名で WEB 研修（講師：立石雅世弁護士、塩谷知一弁護士）を実施いたしました。

その他の報告

1.社会福祉法人芙蓉会「懇親会」中止

令和 3 年 6 月 16 日(水）開催第 57 回評議員会後に予定をしておりました懇親会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とさせていただきました。

2.令和 3 年度冬 SHIZUOKA 福祉の就職＆進学フェア参加

静岡県社会福祉協議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から今年はインターネットを活用した就職フェアを企画され、当法人も理事長のご協力をいただきトップメッセージ動画、スライドショー動画、ナレーション原稿等に苦慮しながら参加いたしましたが、問い合わせは 1 件も無く今後に大きな課題を残した結果となりました。

基本目標

地域における福祉の発展・充実を担う中核的な組織として、公共的・公益的な事業を県及び関係機関・団体等と連携・協働して推進します。

健全な法人運営や施設経営管理の適正化ならびに職員の処遇向上と人材育成、利用者サービスの質の維持向上に努め地域住民の皆様に対する理解と信頼性を高めて参りました。

1　理事会・評議員会の開催

（1）理事会

開催年月日	出席者数		議　　案
	理事	監事	
第 179 回 R3.5.26	7	2	（1）報告事項 1.理事長報告（評議員選任・解任委員会報告） （2）決議事項 1.令和 2 年会計年度事業報告並びに計算書類等の承認の件 2.役員報酬規程一部改正案件 3.任期満了に伴う評議員選任案件 4.定時評議員会の召集の件 5.第 3 回評議員選任・解任委員会の召集の件

第 180 回 R3.6.16	7	2	（1）議案 1.理事長の選定について 2.業務執行理事の選定について 3.評議員選任・解任委員の選任について
第 181 回 R3.10.27	7	2	（1）報告事項 1.理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告について 2.令和3年度立入調査結果・指導監査実施結果報告について （1）決議事項 1.令和 3 年度追加・変更事業計画案の件 2.令和 3 年度第一次資金収支補正予算案の件 3.就業規則一部改正案の件 4.措置施設　給与規程・同細則一部改正案の件 5.育児・介護休業等に関する規則一部改正案の件 6.介護保険事業所　運営規程一部改正案の件
第 182 回 文書審議	7	2	（1）提案事項 1.介護保険事業所　介護保険基本法改正に伴う契約書一部改正（案）
第 183 回 R4.3.23	7	2	（1）報告事項 1.理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告について 2.企業主導型保育施設の立入調査結果報告 （2）決議事項 1. 令和 3 年度追加・変更事業計画案件 2. 令和 3 年度第二次資金収支補正予算案件 3. 令和 4 年度事業計画案件 4. 令和 4 年度資金収支予算案件 5. 乳児院の定員変更案件 6. 施設長及び定年退職者の延長人事案件 7. 就業規則一部改正案件 8. 児童養護施設の管理規程一部改正案件 9. 給与規程・同細則一部改正案件 10.育児・介護休業等に関する規程一部改正案件 11.ハラスメント防止規程一部改正案件 12.公益通報者保護に関する規程の制定案件 13.建設委員会設置案件

（2）評議員会

開催年月日	出席者数		議　　題
	評議員	監事	
第 57 回 R3.6.16	7	2	（1）　報告 1.令和 2 会計年度事業報告及び監事監査報告の件 （2）議案 1.令和 2 会計年度計算書類等の承認の件 2.任期満了に伴う役員選任案件 3.役員報酬規程一部改正案件

理事会

評議員会

2　監事監査の実施

開催年月日	担当監事	項　　目
R3.5.11	勝又長見	令和 2 年度業務執行状況
	鈴木英之	令和 2 年度財産状況

会計監査

処遇監査

３　役員研修会の参加

開催年月日	研　修　場　所	内　　容	参加者
R3.4.21	WEB 研修	令和 3 年度監事監査研修	理　事 2 名

４　寄付金

5,737,159 円 （本部 485,107 円、ひまわり園 3,633,052 円、みどり園 1,489,000 円、みぎわ園 130,000 円）

５　植松茂子奨学基金

2,815,854 円（令和 4 年 3 月 31 日現在）

６　法人行事

開催年月日	行　事　名	場　　所
R3. 4. 1	辞令交付式	みどり園会議室
R3. 4. 9	新任職員研修会	みぎわ園「地域交流室」
R3. 5.28	美化活動	芙蓉会敷地内
R3. 6.10	創立記念式典　中止	永年勤続表彰：ひまわり園食堂
R3. 7.28	美化活動	芙蓉会敷地内
R3. 8.21	夏祭り　中止	各施設にて
R3.10. 1	町内一斉清掃	芙蓉会周辺
R3.10.16	奉仕活動（草刈）	芙蓉会所有地　大淵鳥追窪
R3.10.13	ハラスメント予防 WEB 研修	各施設にて
R3.10.20	美化活動	芙蓉会敷地内
R3.12. 8	ハラスメント予防 WEB 研修	各施設にて
R4. 1. 4	新年挨拶会	各施設にて
R4. 2.28	普通救命講習会（第1回）	各施設にて
R4. 3. 8	普通救命講習会（第2回）	各施設にて

辞令交付式

新任職員研修

永年勤続表彰

永年勤続表彰者

美化活動

町内一斉清掃

普通救命講習会

ハラスメント研修

7　機関誌発行

第 72 号　R3.4 発行

第 73 号　R3.7 発行

第 74 号　R3.10 発行

第 75 号　R4.1 発行

８　ホームページ更新

主な公開

・定款掲載
・役員等報酬規程掲載
・役員・評議員名簿掲載
・R3 年度法人行事、寄附行為等
・R3 年度事業計画、予算書
・R3 年度事業報告、決算書
・R3 年度広報誌掲載
・R3 年苦情受付情報
・R4 年理事長新年挨拶

９　施設職員状況

（1）採用・退職

施　設　名	採用者		退職者	
	正　規	非常勤	正　規	非常勤
法 人 本 部	—	—	—	—
さくら保育園	1 名	—	1 名	—
ひまわり園	3 名	—	3 名	—
ひろみ	—	—	1 名	—
み ど り 園	1 名	2 名	5 名	1 名
み ぎ わ 園	6 名	2 名	6 名	3 名
計	11 名	4 名	16 名	4 名

（2）労災、傷病、介護休業・休暇、産休・育休

施　設　名	労　災	傷　病	介護休業・休暇	産休・育休
法 人 本 部	—	—	—	—
さくら保育園	—	—	—	—
ひまわり園	—	2 名	—	
み ど り 園	—		—	4 名
み ぎ わ 園	—	3 名	1 名	—
計	—	5 名	2 名	4 名

10　定期健康診断結果報告

日　程	在籍労働者数	受診労働者数	産業医の指示人数
R3.9	200 人	198 人	75 人

日　程	受診対象労働者数	受診労働者数	産業医の指示人数
R4.2	200 人	111 人	6 人

11　心理的な負担の程度を把握するための検査結果報告（ストレスチェック）

日　程	在籍労働者数	検査を受けた労働者数	面接指導を受けた労働者数
R3.9	200 人	158 人	0 人

12　安否情報確認システム「安否コール」結果報告（返信率）

日　程	配信数	返信数	全　体	法人本部	さくら保育園	みどり園	ひまわり園	みぎわ園
R3.　4	194 人	180 人	92%	100%	100%	94%	96%	93%
R3.　5	198 人	181 人	91%	100%	75%	94%	93%	94%
R3.　6	198 人	179 人	90%	80%	50%	90%	94%	95%
R3.　7	199 人	184 人	92%	100%	75%	89%	96%	94%
R3.　8	200 人	185 人	92%	100%	75%	92%	95%	96%
R3.　9	197 人	188 人	94%	100%	80%	87%	88%	99%
R3.10	195 人	186 人	95%	100%	100%	92%	95%	99%
R3.11	197 人	181 人	92%	100%	75%	87%	90%	98%
R3.12	194 人	183 人	94%	100%	100%	88%	98%	96%
R4.　1	196 人	175 人	89%	100%	100%	76%	94%	96%
R4.　2	195 人	184 人	95%	100%	100%	86%	95%	99%
R4.　3	201 人	184 人	91%	100%	100%	88%	77%	97%
平均	197 人	183 人	93%	98%	86%	89%	93%	96%

※ R3.9 は夜間想定訓練です。

13 苦情及びお問い合わせの対応

苦情：0 件

お問い合わせ：19 件

（芙蓉会 3 件、ひまわり園 14 件、ひろみ 1 件、みどり園 3 件、みぎわ園 1 件）

日　　付	お問い合わせ先	内　　容
R3.6.3	ひまわり園	公益財団法人児童育成協会総務部沼田と申します。2021 年度児童養護施設等サポート事業のご案内をお送りいたします。事業内容：施設を対処した児童が自立の為に賃借する住居費の一部助成、自立援助ホームに入居した児童の生活費の一部助成
R3.6.7	ひまわり園	はじめまして。児童養護施設に関心があり施設の見学や 1 日ボランティアをさせていただけないかと思い連絡させていただきました。ご検討のほどよろしくお願いします。
R3.6.16	ひまわり園 みぎわ園	高校生でも可能なボランティア活動はあるかどうか教えていただきたいです。
R3.6.17	ひまわり園	実業家の西村博之さんが、児童養護施設対象にパソコン一式を無償で贈呈する企画をしており、その情報をお伝えしたくて個人的にメッセージさせていただきました。対象者であれば条件なく応募可能で何の義務もありません。ご本人の Twitter でのみ企画を伝えていますので、もしかしたら情報が届いていない方もいるのではとおせっかいながらご連絡いたしました。ご興味頂けましたら、ぜひ企画ホームページで詳細をご確認お願いします。
R3.6.18	ひまわり園	はじめまして。横浜で土日に児童養護施設支援に関するボランティアをしている〇〇といいます。普段は一般企業の会社員をしています。その支援ボランティアの一環として児童養護施設に入所している中学生や高校生で勉強が苦手な人、退所した人で仕事をしながら資格を取りたい人向けの勉強法の資料を作成しました。印刷したものをカラーファイルに閉じて一部寄贈させていただいてもよろしいでしょうか。

R3.7.5	芙蓉会	こんにちは。以前そちらで短期間でしたがお世話になっていた者です（40年近く前です） 寄附したいものがあるのですが、新品の子供服・下着・バックなど。寄付は可能でしょうか？ 食堂の○○お姉さんはまだいらっしゃいますか？かなりお世話になりました。
R3.7.8	ひまわり園	そちらへ本を寄付させていただきたく連絡いたしました。思考は現実化するという本でして自己啓発本です。私自身が人生で大変だった時にその本を読み色々と学べた本でして、そちらの子どもたちにとっても何か役に立つものと勝手ながら考えました。インターネットにてこちらで代金を支払いそちらへ直接郵送手続きをしておりますので突然本が送られてきますがお受け取りいただきたく存じます。
R3.7.21	ひまわり園	児童養護施設での仕事内容に興味があり、現在3年生であるため実習やインターンシップへの参加を探している際に芙蓉会様のホームページを拝見し、ぜひインターンシップなどの募集があれば参加させていただきたいと考えています。 インターンシップを開催していない様であればこちらから自主実習ということでボランティアという形で数日職場体験をさせていただければ幸いです。
R3.7.26	ひまわり園	お忙しい折に唐突なメール申し訳ありません。 今、子どものコート等のお下がり品があるのですが、これらの中でもしご使用いただけるものがあればそちらで使って頂けないかと思いメールさせていただきました。何分お下がり品が大半なのでお伺いするのを今までためらっておりましたが、中には思い入れのある品もある為、どなたかにお下がりというよりは、こちらのような所でご活用いただけたらとの気持ちから、この度失礼を承知で思い切ってメールさせていただきました。

R3.8.28	ひまわり園	貴施設では現物寄附を受け付けていますか？
R3.10.11	ひまわり園	はじめまして。寄付を考えているものですが金銭より物品で何か贈りたいのですが、どういうものが良いのか教えてください。学校で使うようなものは公費で買われているのでしょうか。
R3.12.2	芙蓉会	照明器具や配線等のＯＥＭやＰＢブランド商品開発、店舗開発、設備補修・改装・更新工事を行っております株式会社ヤザワコーポレーションの〇〇と申します。商業施設様や店舗様向けの照明器具などの物品購入並びに設備工事等による回収や経費削減をご提案させていただいてオリス。ぜひともお役に立てないかと思いご連絡させていただきました。
R3.12.16	みどり園 ひまわり園 ひろみ	みどり園・ひまわり園・ひろみに寄付したいのですが、現金の場合（使い道）の報告書はありますでしょうか？物品でも大丈夫です。必要なリストがあればお送りいただけますでしょうか？近所なので直接持ち込みます（クリスマスなのでおもちゃなど)。
R4.1.5	みどり園	新品で未使用の１歳から３歳向けの玩具があるのですが、もしよければ寄付させていただきたいです。
R4.1.16	芙蓉会	この度、SDGｓ働き方改革などにご貢献されている企業様やコロナ過、令和を生き抜くための経営者の考えを特集しておりまして、記者のお取り組みや経営理念、ＨＰの情報等を拝見し、内藤理事長へ取材を兼ねて一度お会いしたいと思いご連絡させていただきました。
R4.1.16	ひまわり園	施設見学をしたいです。よろしくお願いします。
R4.2.21	ひまわり園	寄附の欄：名前削除をお願いします。

R4.3.20	みどり園	現在、看護師としてパート勤務しております。子どもたちと関わる仕事に進みたいと思い、動き始めたところです。施設見学希望です。よろしくお願いします。
R4.3.26	ひまわり園	息子が昔使っていたおもちゃがたくさんあります。今までは人にあげたり、捨てたりしていましたので、今回も捨てようと思っていましたが寄附できればと思いご連絡しました。寄付をしたことがなくこちらの問い合わせで合っているかも分からないので、間違っていましたら申し訳ありません。

※ メール受信文転記

※ お問い合わせいただきましたメールは、各施設において速やかにご返答しております。

事業報告附属明細書

特にありません。

地域貢献事業について

１買い物送迎プロジェクトについて

令和３年度も今泉地区４地区で買い物送迎プロジェクトを実施しました。

緊急事態宣言が発令されていた８月26日開催分から９月21日開催分までの期間と、蔓延防止重点措置が発令されていた令和４年２月１日開催分から３月15日開催分の期間は感染拡大を懸念して中止としました。

年度中に４地区合わせて32名の利用登録がありましたが、介護施設への入所などにより２名減り、令和４年３月31日の利用登録者は４地区で30名となりました。年間の開催回数は63回、参加者総数は297名、参加スタッフ340名、使用車両は４車種、延べ130台となりました。

令和３年度　買い物送迎プロジェクトに関する登録者･実施回数などの内訳

地　区	登録者数	開催回数	参加人数	平均参加者数	備　考
依田橋地区	12	16	89	5.6	※ 9/7より登録者１名減、12名に変更
上和田･緑ヶ丘地区	7	14	72	5.1	
駿河台地区	6	17	63	3.7	
鍛冶町地区	5	16	73	4.6	※ 8/26より登録者１名減、5名に変更
合　計	30	63	297	4.7	

2021　買物送迎プロジェクト　参加者数・スタッフ数等のまとめ

実施回数	地区・その他	実施日	参加者数	参加スタッフ数					スタッフ合計	実行委員市議	公用車使用				備　考
				地域包括	みぎわ園	ひまわり園	みどり園	法　人			キャラバン	ステップワゴン	デッキバン	包括ワゴンR	
1	依田橋	4月6日	5	0	1	1	2	1	5		○	○			
2	上和田	4月6日	6	0	1	1	2	1	5		○	○			
3	鍛冶町	4月8日	5	0	1	0	2	1	4	2	○		○		
4	駿河台	4月8日	5	0	1	0	2	1	4		○		○		
5	依田橋	4月20日	6	1	1	1	2	1	6		○		○		
6	上和田	4月20日	6	1	1	1	2	1	6		○		○		
7	鍛冶町	4月22日	5	2	0	1	2	1	6		○		○	○	
8	駿河台	4月22日	4	2	0	1	2	1	6		○		○	○	
9	鍛冶町	5月13日	6	2	1	0	1	1	5		○		○		
10	駿河台	5月13日	2	0	1	0	1	1	3		○				2丁目のみのため一台で運行
11	依田橋	5月18日	5	2	1	1	2	1	7		○		○	○	
12	上和田	5月18日	5	2	1	1	2	1	7		○		○	○	
13	駿河台	5月27日	4	2	1	1	1	1	6		○	○		○	
14	依田橋	6月1日	3	2	0	1	3	1	7		○		○		
15	上和田	6月1日	6	2	0	1	3	1	7		○		○		
16	鍛冶町	6月10日	6	1	1	0	2	1	5		○		○		
17	駿河台	6月10日	5	1	1	0	2	1	5		○		○		
18	依田橋	6月15日	6	2	0	1	2	1	6		○		○		
19	上和田	6月15日	4	2	0	1	2	1	6		○		○		
20	鍛冶町	6月24日	6	1	1	1	3	1	7		○		○	○	
21	駿河台	6月24日	5	1	1	1	3	1	7		○		○	○	
22	依田橋	7月6日	3	1	1	1	2	1	6		○		○		
23	上和田	7月6日	3	1	1	1	2	1	6		○		○		
24	鍛冶町	7月8日	4	2	0	1	2	1	6		○		○		
25	駿河台	7月8日	3	2	0	1	2	1	6		○		○		
26	依田橋	7月20日	4	1	1	1	2	1	6		○		○		
27	上和田	7月20日	6	1	1	1	2	1	6		○		○		
28	依田橋	8月3日	4	0	1	1	2	1	5		○		○		
29	鍛冶町	8月12日	2	1	1	0	2	1	5		○		○		
30	駿河台	8月12日	3	1	1	0	2	1	5		○		○		
31	依田橋	8月17日	2	0	0	0	2	1	3		○				
8月26日実施回から9月21日実施回までは緊急事態宣言発令のため開催中止															
32	依田橋	10月5日	4	2	1	1	2	0	6		○	○			
33	上和田	10月5日	6	2	1	1	2	0	6		○	○			
34	鍛冶町	10月14日	4	2	1	1	2	0	6		○		○		包括実習生1名含む
35	駿河台	10月14日	5	2	1	1	2	0	6		○		○		包括実習生1名含む
36	依田橋	10月19日	8	1	1	1	2	0	5		○	○			
37	上和田	10月19日	5	1	1	1	2	0	5		○	○			
38	鍛冶町	10月28日	3	1	1	1	2	0	5		○		○		
39	駿河台	10月28日	3	1	1	1	2	0	5		○		○		
40	依田橋	11月2日	7	1	1	1	2	0	5		○	○			
41	上和田	11月2日	6	1	1	1	2	0	5		○	○			
42	鍛冶町	11月11日	3	0	1	1	3	0	5		○		○		
43	駿河台	11月11日	4	0	1	1	3	0	5		○		○		
44	依田橋	11月16日	10	1	0	1	4	0	6		○	○			
45	上和田	11月16日	5	1	0	1	4	0	6		○	○			
46	鍛冶町	11月25日	5	1	1	1	3	0	6		○		○		
47	駿河台	11月25日	4	1	1	1	3	0	6		○		○		
48	依田橋	12月7日	6	2	1	1	2	0	6		○	○			
49	上和田	12月7日	4	2	1	1	2	0	6		○	○			
50	鍛冶町	12月9日	5	1	1	0	2	0	4		○		○		
51	駿河台	12月9日	2	0	1	0	2	0	3		○				参加者減のため途中7う1名帰所
52	依田橋	12月21日	9	1	1	1	2	0	5		○	○			
53	上和田	12月21日	5	1	1	1	2	0	5		○	○			
54	鍛冶町	12月23日	5	1	1	1	2	0	5		○		○		
55	駿河台	12月23日	4	1	1	1	2	0	5		○		○		
56	鍛冶町	1月13日	5	1	2	1	3	0	7		○	○			
57	駿河台	1月13日	3	0	1	1	3	0	5		○	○			
58	依田橋	1月18日	7	0	1	1	2	0	4		○	○			
59	上和田	1月18日	5	1	1	1	2	0	5		○	○			
60	鍛冶町	1月27日	5	1	2	0	1	0	4		○		○		
61	駿河台	1月27日	3	1	2	0	1	0	4		○		○		
2月1日実施回から3月15日までは蔓延防止重点措置発令のため開催中止															
62	鍛冶町	3月24日	4	2	1	1	1	0	5		○		○		
63	駿河台	3月24日	4	2	1	1	1	0	5		○		○		
合計			297	71	55	50	133	31	340	2	63	19	41	7	

児童養護施設ひまわり園　令和３年度事業報告

（定員 75 名）暫定定員 59 名

Ⅰ　主要事業報告

2019 年 12 月に中国で初めて報告された「新型コロナウイルス感染症」は、今もなお世界的な流行を見せています。また、度重なる株の変異により感染状況も変化しており、集団生活を余儀なくされる施設での生活においては、今もなお対応に追われています。様々な情報が入ってくる中で、現場でも何が正解なのか、その判断に悩みながらも奮闘する一年でした。ひまわり園は入所型の施設ではありますが、外部との関わりが多い施設であり感染経路はいくらでもあるので、基本的には自己予防努力が最も重要であることを子どもたちにも伝え続けてきました。我慢ばかりの一年でしたが子どもたちも職員もよく頑張ってもらえたと思います。また、多方面からご支援も頂きながら事業を遂行することが出来ました。

（１）施設の状況

１　在籍児童数

令和３年度のひまわり園は定員 75 名、暫定定員 59 名で事業をおこないました。年間を通してひまわり園の入所児童は月平均 45.6 名（暫定定員における充足率 77.3%）、ひろみは月平均４名（充足率 66.6%）で、入所児童は年々明らかに減少しています。県内 12 の児童養護施設の入所児童数も同様です。国が示す「新しい社会的養育ビジョン」「社会的養護都道府県推進計画」が施設運営に大きな影響を与えています。**（資料 1）**

＜各年度３月１日初日在籍児童数＞

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
県内 12 施設	588	615	584	583	556	535	512	488	457	430	392
ひまわり・ひろみ	82	84	82	78	75	70	57	59	53	56	50

※平成 28 年児童福祉法改正以降、入所児童減少は特に顕著である　　単位（人）

【ハッピーハロウィン】

【卒園生が前澤サンタ応募】

2　入退所状況（**資料 2**）

①入所　　ひまわり園　5 名

内訳：幼児 4　小学生 1

理由：乳児院から措置変更 1（問題発生理由は心理的虐待）

身体的虐待 1　ネグレクト 1

里親から措置変更 2（問題発生理由はネグレクト）

②退所　　ひまわり園　6 名

内訳：幼児 2　小学生 2　中学生 1　高校生 1

理由：家庭引取 5　就職 1

③一時保護　16 名（幼児 3　小学生 8　中学生 4　高校生 1）

③ショートステイ　14 名（幼児 4　小学生 10）

④進路状況（ひまわり園、ひろみ）

・高校卒業児童 3 名　　内訳：専門学校進学 2 名　就職 1 名

・中学校卒業児童 4 名　内訳：全日制公立高校 3 名　漁業高等学園 1 名

（２）最近の傾向（資料 3）

・新規入所の 100%が被虐待児童であり、児童全体においても 66.0%が何らかの虐待を受けている。

・県の一時保護所は常に満床状態で施設への一時保護依頼は多い半面、入所児童数は減少している。このことから在宅支援に力を入れていることがうかがわれる。

・施設の小規模化が進む中、きょうだいケースも別々の施設や里親委託になるケースが増えている傾向がある。

・入所児童の約 30%が発達障害の診断を受けており児童精神科受診が多い。

・高校卒業後に進学する児童が増加している。

Ⅱ 重要事項報告

1　小規模グループケア 1 か所増設のための改修工事

本園北側に位置する「集会室・高校生寮」の 2 階部分を「社会的養護入所者環境改善事業費補助金」（8,000,000 円）を受けて改修しました。令和 4 年度 4 月より開始しました。

（名称：もみの木）

落札業者　渡辺建設工業株式会社

落札価格　10,725,000 円

追加工事　　620,000 円

計 11,345,000 円

【小規模グループケア改修】

２　新型コロナウイルス感染症に関すること。

①新型コロナウイルス感染症の発症について
1月23日に小学生低学年1名が発熱し、陽性反応が出たため、当該児童の医務室隔離、当該児童のユニット7名を同様に隔離して、感染対応マニュアルに沿って対応しました。幸いにも施設内での感染は抑えることができ、3月上旬には通常の生活に戻すことができました。

【FFC リーグ戦】

②　新型コロナウイルス感染症対策の補助金による感染予防対策と環境改善
新型ロロナウイルス感染症対策として、食堂のパーテーション設置、空気清浄機購入などの環境整備､職員のかかり増し経費支給等の改善を図りました。
（添付資料参照）

３　保護単価改正に伴う補正
保護単価改正に伴い補正をおこないました。

４　社会的養護処遇改善加算について
令和３年度の民間給与改善費及び処遇改善加算、社会的養護従事者処遇改善加算を職員に対して年度末に支給しました。

令和3年度　民間施設処遇改善費実績

【ひまわり園】

加算種別		加算額
民間給与改善費加算額		5,459,738
処遇改善加算	Ⅰ	1,563,480
	Ⅱ	218,160
	Ⅴ	145,440
合計		7,386,818

【ひろみ】

加算種別		加算額
民間給与改善費加算額		471,656
処遇改善加算	Ⅰ	175,740
	Ⅱ	0
	Ⅴ	72,720
合計		720,116

令和3年度　社会的養護従事者加算

項目	月額	常勤換算値	月数	計
ひまわり園	9,000	28.6	2	514,800
ひろみ	9,000	3	2	54,000
計				568,800

５　静岡県指導監査について
令和３年７月13日に静岡県指導監査を受けました。今年度は「改善指導事項」はありませんでしたが「助言指導事項」として、職員による誤薬事故防止のた

めの「投薬マニュアル」の整備と職員への周知を図るよう指導を受けたため、改善策を講じました。

６　熱海市の土石流災害における被災者支援に対する職員派遣

静岡県社会福祉協議会主催の災害派遣福祉チーム「静岡 D-WAT」に 2 名の職員が登録しており、派遣依頼を受けて 8 月に熱海市の被災者への支援に両名を派遣しました。活動を通して被災者の支援にあたると共に福祉従事者としての貴重な体験を得ることができました。

７　静岡県児童福祉サービス等対応職員慰労金について

既に介護や障害の施設職員に支給されていた 5 万円の慰労金ですが、ようやく児童福祉施設職員に対しても支給されることとなり、8 月 20 日に対象職員に支給されました。

【フロンティアジャパン慰問】

８　事故報告について（**資料 4**）

①事故報告　114 件

【種類別事故件数】

種類	怪我	交通事故	器物破損	誤飲・誤訳	入浴	その他	合計
件数	100	2	2	3	2	5	114

②ヒヤリハット報告（件）

種類	怪我	交通事故	誤飲・誤薬	食事	火遊び	その他	合計
件数	11	3	1	2	1	12	30

９　苦情・要望受付（**資料 5**）

①苦情　１件　②要望　５件

１０　地域貢献事業について

法人主催の地域貢献事業として高齢者向け「買物送迎プロジェクト」に 1 名の職員が定期的に参加しました。

１１　施設および設備整備について

(1) Wi-Fi 環境の整備

新型コロナウイルス感染症まん延に伴い、小中学生や高校生のタブレット等によるリモート学習が導入されることになったため昨年度、児童用 Wi-Fi 環境の整備を行いましたが、今年度は職員の記録システム導入に伴う職員専用の Wi-Fi 環境整備を行いました。(77,000 円)

(2)その他の施設整備等執行状況について

実　施　内　容	場　所	金　　額
大型遊具修繕	屋　外	539,000 円
GHP（ガスエアコン）修繕	本　園	102,300 円
厨房日よけ設置工事	厨　房	161,000 円
GHP 漏電による修繕	本　園	348,810 円

(3)社会的養護環境改善事業補助金（新型コロナウイルス感染防止対策事業

事業目的	事業内容	交付額	総事業額
換気設備	換気設備 IHI 製　空気清浄機 （ez-100 型）及び交換キット	495,000 円	495,000 円
個室化改修	ひまわり園食堂　間仕切り工事	1,067,000 円	1,067,000 円
かかり増し	コロナ対策にかかる職員時間外勤務手当	433,000 円	579,574 円

（4）備品購入

品目	購入目的	単価	数量	購入金額（税込）
薬用ハンドソープ	児童・職員の手指消毒	9,000 円	5	49,500 円
花王石鹸・漂白剤	食器等の消毒	2,250 円	3	7,425 円
パーパータオル	手ふき、清掃用	2,547 円	5	14,005 円
ビニールゴミ箱	感染症発生時用	4,791 円	2	10,540 円
ペダル式ゴミ箱 20L	ユニットに配置	9,754 円	6	64,374 円
ペダル式ゴミ箱 10L	ユニットに配置	6,720 円	1	7,392 円
レジバッグ　N0.20	感染症発生時用	400 円	10	4,400 円
ビニール手袋	清掃、配膳用	226 円	60	14,916 円

(5)修繕（10 万円以上）

友愛商会/遊具整備	539,000 円
GHP 修理	102,300 円
GHP 修理	242,000 円
居室（6 ユニット）トイレ換気扇修理	280,500 円
厨房天井換気扇修理	155,100 円
集会室・高校生寮外部塗装	3,262,250 円
集会室・高校生寮改修追加工事	434,463 円

(6)固定資産について（廃棄および取得）

【取得】

資産コード	資産名称	取得年月日	取得単価	備考
0070-02214~02217	マウスコンピュータPC（4台）	R3.8.17	666,600円	ひろゆきさん寄付
0003-02010	食堂間仕切りパーテーション	R3.12.17	1,067,000円	新型コロナ対策環境改善
0070-02218	IHI製　オゾン清浄機	R3.10.26	349,800円	新型コロナ対策環境改善
0002-020008	高校生寮小規模グループケア建物付属設備更新	R4.3.23	4,934,712円	小規模グループケア改修
0003-02011		R4.3.23	887,424円	給排水衛生設備工事
0003-02012		R4.3.23	682,446円	電気設備工事
0070-02219		R4.3.23	172,800円	冷蔵庫
0070-02222~02228		R4.3.23	1,143,705円	空調
0070-02221	厨房ガスローレンジ	R4.3.23	169,675円	厨房
0060-03002	ホンダ　N-BOX中古車購入	R3.10.8	848,086円	ひろみ

【廃棄・売却】

資産コード	資　産　名　称	廃棄年月日	残存価額	廃棄・売却の理由
0060-02003	スズキアドレス	R3.7.28	1円	老朽化に伴い廃棄
0060-02006	ミツビシ　ローザ	R4.1.27	1円	老朽化に伴い廃棄

（7）リース契約

・新規リース契約はありません。

【ひろゆき様　パソコン寄付】

【食堂パーテーション】

【オゾン清浄機】

【環境改善による外壁塗装】

【環境改善　小規模 GC 浴室】

【環境改善　小規模 GC 台所】

Ⅳ 基本目標達成状況

基本目標１

ひまわり園における養育のあり方と職員の勤務のあり方について検討を進めます。

【御殿山ハイキング】

児童支援記録システム「すこやか日誌」を導入することによりペーパーレスでの情報共有化や職員間の連携を強化しました。研修においては「権利擁護」や「アレルギー対応」等の研修への取り組みに努めました。

職員の勤務については人材確保が大きな課題ですが、勤務体制と児童構成との関係や児童特性により十分な休憩時間が確保できないなどのユニットによる格差の問題など､労務管理上の課題は継続的に検討していく必要があります。

基本目標２

「新しい社会的養育ビジョン」と施設環境整備の計画について検討を進めます。

「新しい社会的養育ビジョン」の実現に向けて、高校生寮を改築して「小規模グループケア」（名称：もみの木）を 1 カ所増設しました。また、本体施設の老朽化に伴い外壁補修、空調設備改修等を中心とした大規模修繕を計画し、「次世代育成支援対策施設整備交付金」の補助金申請をおこないました。6 月に内示が出たら、実施設計入札、建設業者入札を経て、令和 4 年度中に改修工事をおこなう事になります。

基本目標３

子どもの意見表明権の保障と権利擁護に努めます。（資料 7、8，9）

【風船とお散歩】

毎年実施している「子どもの生活意識アンケート」をおこないました。また、児童会「ひまわりの種」の充実を図り、子どもの要望や意見をより丁寧に扱うよう努めました。また、性教育では児童間での適切な関わり方などを伝えました。職員研修では「子どもの最善の利益」「権利擁護」等を重点に取り組みました。

基本目標４

子どもの早期家庭復帰に努めます。（資料 10）

面会が滞りがちな家庭に対して、児童相談所に協力要請して家庭訪問を実施するなど、親子関係が途切れないよう努めました。また、家庭引き取り後の子どもの状況把握や保護者との電話連絡にも努め、必要に応じて家庭訪問による相談対応を実施しました。里親支援では啓蒙啓発、サポート事業に積極的に取り組みました。

【こどもの日】

基本目標５

社会的自立を目標とする子どもたちの自立支援を実施します。

中学生の学習塾の送迎など、夜間における職員の手が多く必要となりましたが職員の努力により支援することができました。高校を卒業した児童 3 名のうち 2 名が専門学校に進学するにあたり、奨学金申請手続き、アパート契約などの支援を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学習環境が大きく変容しており、タブレット学習が小学生世代から導入されたため、施設の Wi-Fi 環境を整備し学習環境の改善を行いました。

基本目標６

人材確保対策を図ると共に職員のスキルアップを目指します。

【七五三とボランティア様】

法人で契約している「マイナビ」やホームページを活用し、就職活動をしている学生等に対して、ZOOM による施設概要説明を随時おこない、希望に応じて施設見学も受け入れました。それによって令和 4 年度は 7 名の新規採用職員を獲得しました。また、新型コロナ禍でオンライン研修が増えたこともあり、より多くの職員を研修に参加させるよう努めました。

基本目標７

ひまわり園の中長期計画を具体的に策定します。

大規模修繕を申請するにあたり、改修後の建物の活用方法の検討が必要になったこともあり、令和 11 年度までの児童定員や職員確保必要数などを整理しました。ただ、国の示す施設の将来的な在り方に関しては大変疑問も多く、県とも意見交換をおこなっていますが納得のいく回答が得られず、児童養護施設の将来像は非常に見えづらくなっています。今後は措置児童の支援のみならず地域支援への比重が重くなることが予想されます。

基本目標８

子どもたちの地域社会活動を支援し、集団の中での個の自立と技能向上を目指します。また地域との関わりを持ち、地域住民としての自覚が育つように支援します。（資料 11，12）

新型コロナウイルス感染症まん延のため、祇園祭、天王祭、芙蓉会夏祭り、町内防災訓練などが中止となり、同様に地域社会活動も活動が制限されましたが、ひまわり園での歴史ある「ボーイスカウト」「サッカー少年団」の活動を継続し、行事でも子どもたちにできる限り楽しめる場を保障できるよう努めました。

基本目標９

子どもの健康に配慮し、健康的な生活を維持できるよう努めます。（資料 14，15）

栄養士の管理の下、食物アレルギーのある子どもの食事提供を適切に行うことができました。新型コロナウイルス感染症のまん延防止のための消毒作業など衛生管理に努めました。小学生低学年 1 名が感染しましたが、職員の努力と子どもたちの協力により感染を広げることなく抑え込むことができました。12 歳以上の子どもに対しては親権者の接種同意を得て順次ワクチン接種を実施しました。

【園内ソフトボール大会】

基本目標１０

職員、子ども共に防災・防犯意識を高めるよう努めます。（資料 16）

毎月、避難訓練と消火訓練を実施して防災意識の向上に努めました。

基本目標１１

実習生の受入れを通して児童養護施設に対する理解を広げ、後進の指導に努力します。（資料 17）

新型コロナウイルス感染症のまん延により実習生の受け入れ人数を抑えなければなりませんでした。そのためリモートでの施設概要説明、単発的な施設見学を積極的に受け入れました。

【初詣】

ひまわり園　小規模かつ地域分散化計画（案）資料（R3.11．26作成）

		本園				別棟小規模GC			地域小規模				合計			
		定員	暫定	現員	職員	定員	現員	職員	定員	現員	職員	専門職	児童	職員	内容	担当外
令和3年度	環境改善補助金による小規模グループケア改修工事	75	59	45	17				6	4	3	7	49	27	地域小規模（1）児童4名　職員3名 本園　小規模GC（1）児童8名　職員3名 本園　ユニット（4）児童38名　職員14名	家庭支援2　里親支援1 職業指導1　心理1 ひまわり幼1　個別対応1
令和4年度	大規模改修工事による老朽化対策（次世代育成支援対策施設整備補助金）	75	54	39	12	6	6	3	6	6	4	7	51	26	地域小規模（1）児童6名　職員4名 本園　小規模GC（1）児童8名　職員3名 本園　ユニット（3）児童31名　職員9名 別棟　小規模GC（1）児童6名　職員3名	家庭支援2　里親支援1 自立支援1　心理1 ひまわり幼1　個別対応1
令和5年度	自己資金によるユニットの小規模グループケアの改修 （各ユニットに独立した玄関の設置　※建築基準法、消防法上は問題ない）	42		36	18	6	6	3	6	6	4	7	48	32	地域小規模（1）児童6名　職員4名 本園　小規模GC（6）児童36名　職員18名 別棟　小規模GC（1）児童6名　職員3名	家庭支援2　里親支援1 自立支援1　心理1 ひまわり幼1　個別対応1
令和6年度	地域小規模施設「ひろみ」の老朽化による建て替え工事 （次世代育成支援対策施設整備補助金）	44		36	18	6	6	3	6	6	4	7	48	32	地域小規模（1）児童6名　職員4名 本園　小規模GC（6）児童36名　職員18名 別棟　小規模GC（1）児童6名　職員3名	家庭支援2　里親支援1 自立支援1　心理1 ひまわり幼1　個別対応1
令和7年度		44		36	18	6	6	3	6	6	4	7	48	32	地域小規模（1）児童6名　職員4名 本園　小規模GC（6）児童36名　職員18名 別棟　小規模GC（1）児童6名　職員3名	家庭支援2　里親支援1 自立支援1　心理1 ひまわり幼1　個別対応1
令和8年度		44		36	18	6	6	3	6	6	4	7	48	32	地域小規模（1）児童6名　職員4名 本園　小規模GC（6）児童36名　職員18名 別棟　小規模GC（1）児童6名　職員3名	家庭支援2　里親支援1 自立支援1　心理1 ひまわり幼1　個別対応1
令和9年度		44		30	15	6	6	3	6	6	4	7	42	29	地域小規模（1）児童6名　職員4名 本園　小規模GC（5）児童30名　職員15名 別棟　小規模GC（1）児童6名　職員3名	家庭支援2　里親支援1 自立支援1　心理1 ひまわり幼1　個別対応1
令和10年度	地域小規模児童養護施設の新設（次世代育成支援対策施設整備補助金）	44		24	12	6	6	3	12	12	8	7	42	30	地域小規模（2）児童12名　職員8名 本園　小規模GC（4）児童24名　職員12名 別棟　小規模GC（1）児童6名　職員3名	家庭支援2　里親支援1 自立支援1　心理1 ひまわり幼1　個別対応1
令和11年度	国の方針に沿う形で、本体施設は「高いケアニーズの児童ユニット」「一時保護機能」などの高機能・多機能化を図る。	16		16	16	6	6	3	6	12	8	7	34	34	地域小規模（2）児童12名　職員8名 別棟　小規模GC（1）児童6名　職員3名 本園　高ケアニーズ（4）児童16名　職員16名 本園　一時保護（1）児童6名　職員3名	家庭支援2　里親支援1 自立支援1　心理1 ひまわり幼1　個別対応1

【付属明細書】

（資料１）各月初日在籍児童数と在籍日数

定員（75人）		実　人　員（初日在籍）			充足率	延　人　数		
月　別	暫定59人	男	女	合計	%	男	女	合計
令和３年　４月	59	25	20	45	76.3%	760	600	1,360
令和３年　５月	59	26	20	46	78.0%	806	620	1,426
令和３年　６月	59	26	20	46	78.0%	753	600	1,353
令和３年　７月	59	25	20	45	76.3%	775	620	1,395
令和３年　８月	59	26	20	46	78.0%	793	620	1,413
令和３年　９月	59	25	20	45	76.3%	750	600	1,350
令和３年　１０月	59	25	20	45	76.3%	775	620	1,395
令和３年　１１月	59	25	20	45	76.3%	750	622	1,372
令和３年　１２月	59	25	21	46	78.0%	775	651	1,426
令和４年　１月	59	25	21	46	78.0%	775	651	1,426
令和４年　２月	59	25	21	46	78.0%	700	588	1,288
令和４年　３月	59	25	21	46	78.0%	795	622	1,417
合　計	708	303	244	547	77.3%	9,207	7,414	16,621
月平均		25.3	20.3	45.6				

（資料2）理由別入退所児童数

①－1理由別入退所児童一覧（措置入所）

	入所児童				退所児童（退所日はカウントしない）			
	氏　名	入所日	性別	入 所 理 由	氏　名	退所日	性別	退 所 理 由
1	SR	4月21日	男	みどり園から措置変更	MM	6月4日	男	家庭引取
2	MY	8月1日	男	身体的虐待	YK	8月19日	男	家庭引取
3	SR	11月9日	女	ネグレクト	KM	3月18日	女	家庭引取
4	SH	3月22日	男	里親から措置変更	KZ	3月22日	女	家庭引取
5	SY	3月22日	女	里親から措置変更	SA	3月24日	女	家庭引取
6					AA	3月31日	女	就職自立
	入所		男	3名	退所		男	2名
			女	2名			女	4名
			合計	5名			合計	6名

①－2　ひろみ　理由別入退所児童一覧（措置入所）

	入所児童				退所児童（退所日はカウントしない）			
	氏　名	入所日	性別	入 所 理 由	氏　名	退所日	性別	退 所 理 由
	入所			名	退所			名

②理由別一時保護児童一覧

	氏　名	性別	年齢	学年	開始日	解除日	日数	保 護 理 由	解 除 理 由
1	KK	女	10	小5	4月1日	4月6日	6	元入所児一時保護	知的障害児学園帰園
2	SY	男	10	小5	5月13日	5月18日	6	母への暴力	一時保護所移送
3	OM	女	13	中2	6月8日	6月10日	3	帰宅拒否	家庭復帰
4	MY	男	5	年中	6月16日	6月30日	15	身体的虐待	一時保護所移送
5	DR	男	13	中1	7月13日	7月28日	16	万引きで保護、身柄付通告	家庭復帰
6	KR	女		小2	7月30日	8月2日	4	叔父からの身体的虐待	ファミリーホーム移動
7	MY	男	5	年中	7月30日	7月31日	2	身体的虐待	措置入所
8	KK	女	10	小5	8月10日	8月16日	7	元入所児一時保護	知的障害児学園帰園
9	MY	男	5	年中	8月30日	8月31日	2	母からの身体的虐待	一時保護所移送
10	WM	女	16	高2	9月24日	10月5日	12	兄からの暴力	実父宅引き取り
11	SY	女	11歳	小5	11月8日	11月22日	15	実母精神科入院	家庭復帰
12	SY	男	9歳	小4	11月8日	11月22日	15	実母精神科入院	家庭復帰
13	IH	女	15歳	中3	11月25日	12月3日	9	実父による暴力暴言	家庭復帰
14	KK	女	11歳	小5	12月27日	1月2日	7	元入所児一時保護	知的障害児学園帰園
15	MH	男	13歳	中1	1月12日	1月13日	2	実父による暴力	家庭復帰
16	OK	女	11歳	小6	2月9日	3月31日	51	実父と養母離婚	ひろみ入所

男子 7人　　女子 9人　　計 16人　　延べ　172　日

③理由別ショートステイ事業受入児童一覧

	氏　名	性別	年齢	学年	委託日	解除日	日数	保 護 理 由
1	KS	男	11歳	小6	4月30日	5月6日	7	実母の育児疲れ
2	KT	男	9歳	小4	4月30日	5月6日	7	実母の育児疲れ
3	MY	男	5歳	年中	6月25日	6月29日	5	実母の精神的不安定
4	HS	男	4歳	年中	6月28日	6月30日	3	実母の精神的不安定
5	HS	男	3歳	年少	6月28日	6月30日	3	実母の精神的不安定
6	KS	男	11歳	小6	7月21日	7月27日	7	実母の育児疲れ
7	KT	男	9歳	小4	7月21日	7月27日	7	実母の育児疲れ
8	SY	女	11歳	小5	11月1日	11月7日	7	実母の精神科入院
9	SY	男	9歳	小4	11月1日	11月7日	7	実母の精神科入院
10	KS	男	11歳	小6	12月7日	12月13日	7	実母の育児疲れ
11	KT	男	9歳	小4	12月7日	12月13日	7	実母の育児疲れ
12	IH	男	2歳	幼児	12月10日	12月20日	11	実母の出産のため
13	KS	男	12歳	小6	3月30日	3月31日	2	実母の育児疲れ
14	KT	男	10歳	小4	3月30日	3月31日	2	実母の育児疲れ

男子 13人　　女子 1人　　計 14人　　延べ　82　日

（資料３）入所児童現況（令和4年3月1日）含：ひろみ

①性別

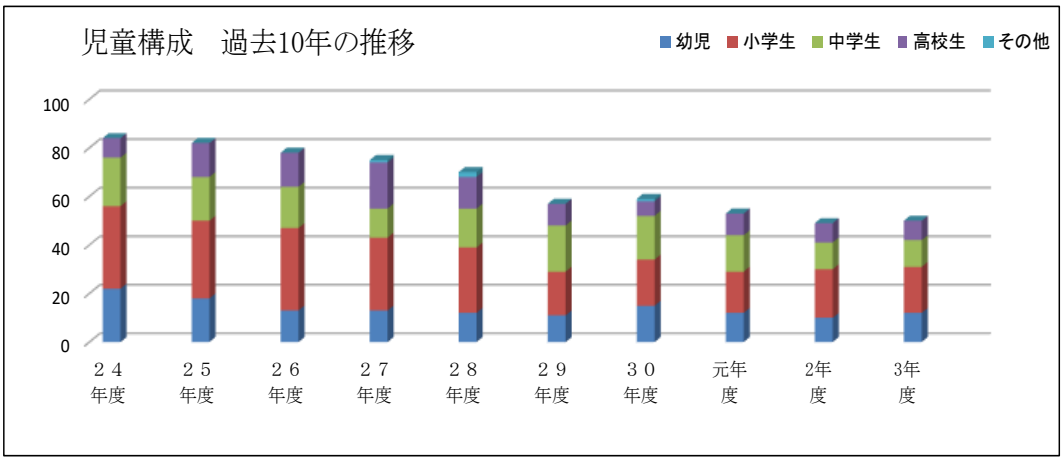
男	女	合計
25	25	50
50.0%	50.0%	100.0%

②年代別児童数

幼児	小学生	中学生	高校等	その他	計
12	19	11	8	0	50
24.0%	38.0%	22.0%	16.0%	0.0%	100.0%

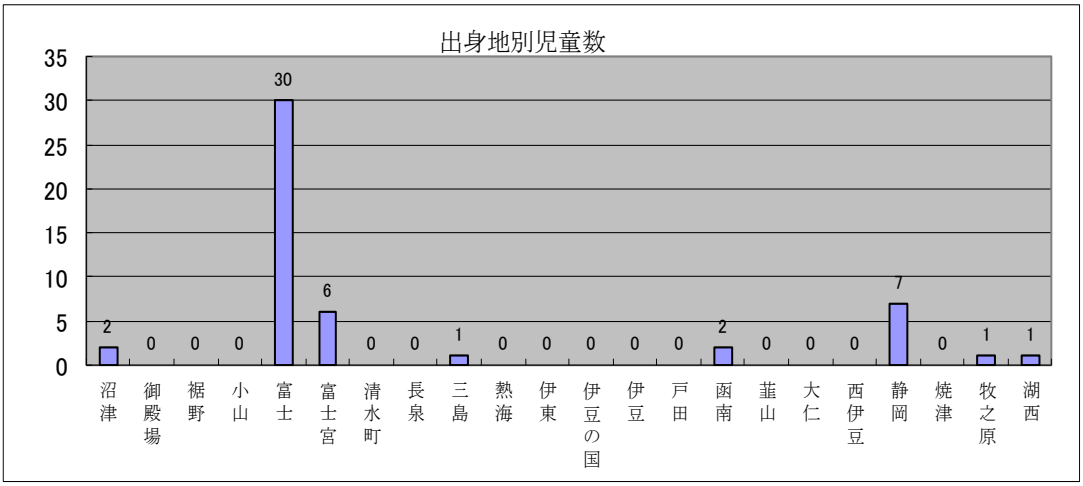
③児童構成　過去10年の推移（3月1日在籍数）

	２４年度	２５年度	２６年度	２７年度	２８年度	２９年度	３０年度	元年度	2年度	3年度
幼児	22	18	13	13	12	11	15	12	10	12
小学生	34	32	34	30	27	18	19	17	20	19
中学生	20	18	17	12	16	19	18	15	11	11
高校生	8	14	14	19	13	9	6	9	8	8
その他	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0
合計	84	82	78	75	70	57	59	53	49	50



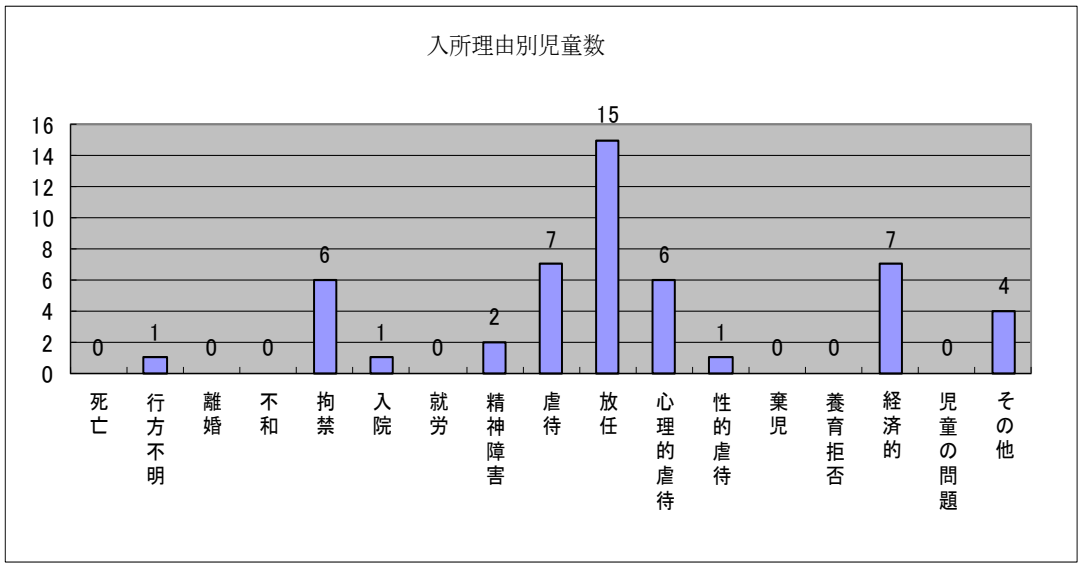
④出身地別入所数

沼津	御殿場	裾野	小山	富士	富士宮	清水町	長泉	三島	熱海	伊東	伊豆の国	伊豆	戸田	函南	韮山	大仁	西伊豆	静岡	焼津	牧之原	湖西	合計
2	0	0	0	30	6	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	7	0	1	1	50
4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	12.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.0%	0.0%	2.0%	2.0%	100.0%



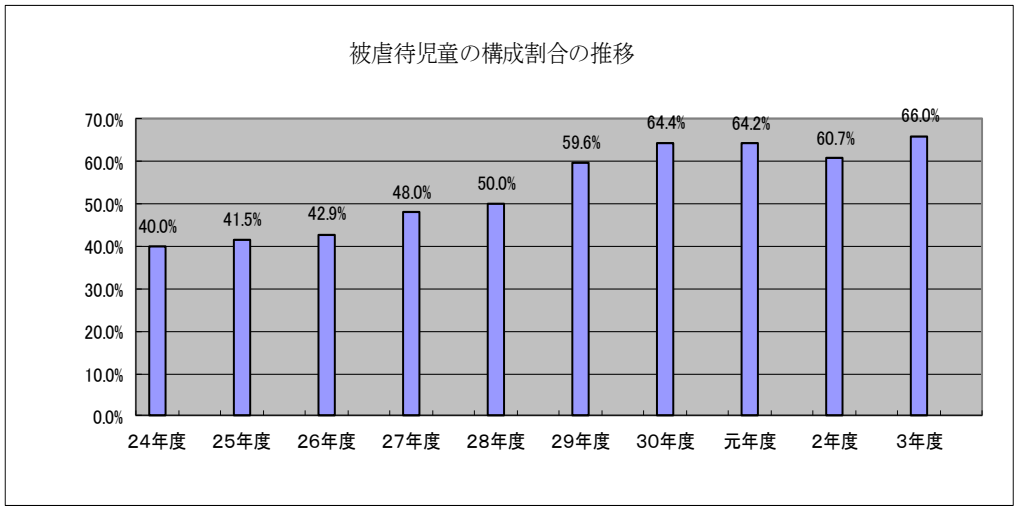
⑤入所理由別児童数(主訴)

死亡	行方不明	離婚	不和	拘禁	入院	就労	精神障害	虐待	放任	心理的虐待	性的虐待	棄児	養育拒否	経済的	児童の問題	その他	合計
0	1	0	0	6	1	0	2	7	15	6	1	0	0	7	0	4	50
0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	12.0%	2.0%	0.0%	4.0%	14.0%	30.0%	12.0%	2.0%	0.0%	0.0%	14.0%	0.0%	8.0%	100.0%



⑥入所前に虐待またはその疑いがある児童数の推移

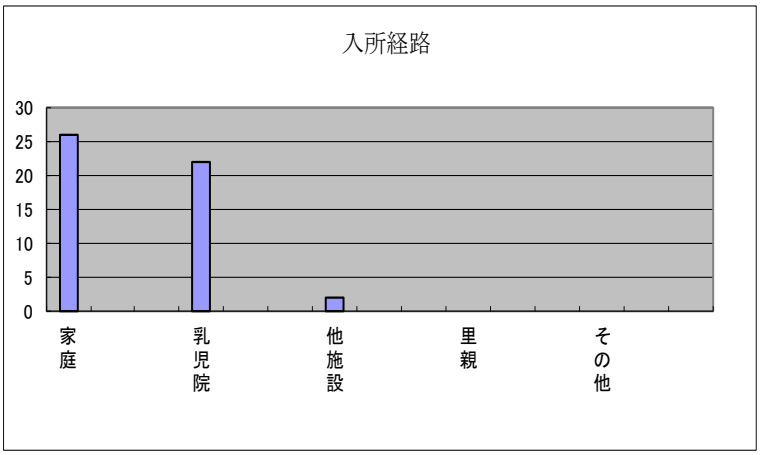
年度	２４年度	２５年度	２６年度	２７年度	２８年度	２９年度	３０年度	元年度	２年度	３年度
被虐待児	34	34	33	36	35	34	38	34	34	33
入所数	85	82	77	75	70	57	59	53	56	50
構成割合	40.0%	41.5%	42.9%	48.0%	50.0%	59.6%	64.4%	64.2%	60.7%	66.0%



被虐待経験のある児童は全体の約６割である。

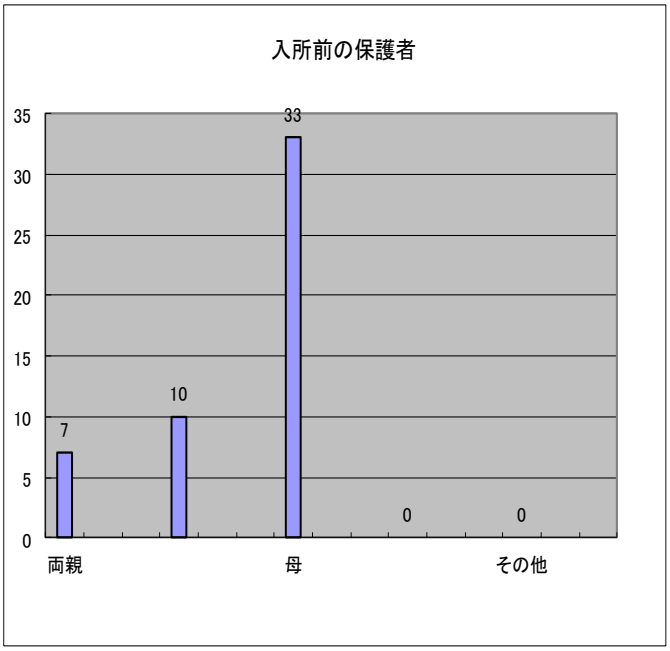
⑦入所経路

家庭	乳児院	他施設	里親	その他	合計
26	22	2	0	0	50
52.0%	44.0%	4.0%	0.0%	0.0%	100.0%



⑧入所前の保護者

両親	父	母	両親なし	その他	合計
7	10	33	0	0	50
14.0%	20.0%	66.0%	0.0%	0.0%	100.0%

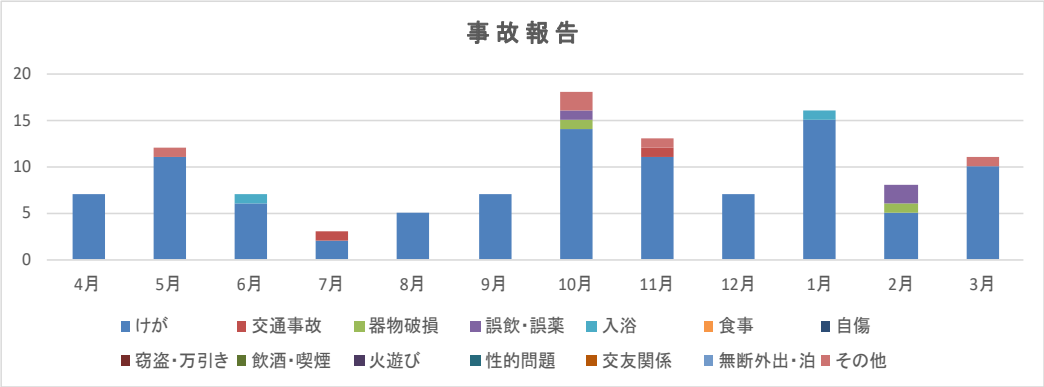


入所児童の保護者の6割以上が「実母」である。さらに保護者の学歴を見るとほとんどが「中卒」「高校中退」であり、保護者自身が適切な環境で養育されていなかったことも窺われる。
両親が揃っているにもかかわらず入所するケースも増加傾向にある。

（資料4）事故・ヒヤリハット報告

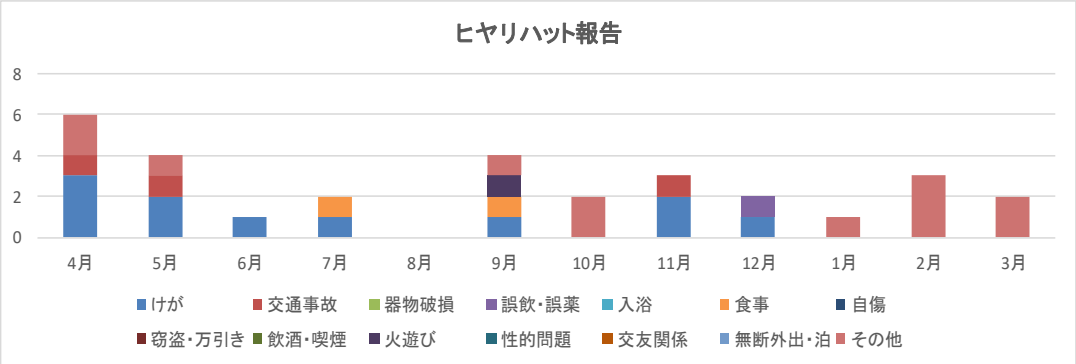
①事故報告

No	種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	けが	7	11	6	2	5	7	14	11	7	15	5	10	100
2	交通事故	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
3	器物破損	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
4	誤飲・誤薬	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	3
5	入浴	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
6	食事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	自傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	窃盗・万引き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	飲酒・喫煙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	火遊び	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	性的問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	交友関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	無断外出・泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	その他	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	5
	計	7	12	7	3	5	7	18	13	7	16	8	11	114



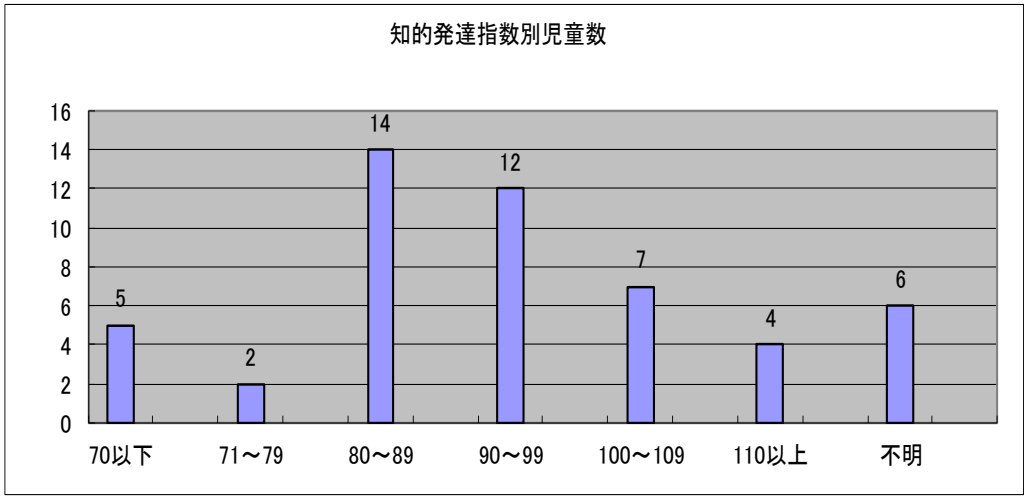
②ヒヤリハット報告

No	種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	けが	3	2	1	1	0	1	0	2	1	0	0	0	11
2	交通事故	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
3	器物破損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	誤飲・誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
5	入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	食事	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
7	自傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	窃盗・万引き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	飲酒・喫煙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	火遊び	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
11	性的問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	交友関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	無断外出・泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	その他	2	1	0	0	0	1	2	0	0	1	3	2	12
	計	6	4	1	2	0	4	2	3	2	1	3	2	30



⑨知的発達指数別児童数

70以下	71～79	80～89	90～99	100～109	110以上	不明	総数
5	2	14	12	7	4	6	50
10.0%	4.0%	28.0%	24.0%	14.0%	8.0%	12.0%	100.0%



⑨発達障害診断の有無

有り	14	28.0%
なし	36	72.0%
総数	50	100.0%

⑩特別支援学級の利用割合

有り	10	20.0%
なし	40	80.0%
総数	50	100.0%

【卒業・旅立ちを祝う会】

＜3名の高校生が卒業して、1名が就職、2名が専門学校に進学＞

（資料５）苦情・要望受付状況

番号	期日	申し出人	分類	内　　容	処理経過
1	5月12日	退所する児童の保護者	要望	ひまわり園ではサッカー少年団を運営しており、本児も活動していた。退所して家庭引取になるが、本人の希望もあり今後も活動に参加させて欲しい。	家庭引取りになるので、新しい生活環境や学校に慣れ、その地域に根ざした生活を大切にするべきではないかと考える。また他の児童にとっては、家庭引取りになった本児と保護者の関わりを日常的に目の当たりにすることにもなる。そうした点にも配慮しなければならないと判断し、お断りした。
2	5月12日	入所児童	要望	施設にWi-Fi環境が整備されたので、小遣いでタブレットを購入したい。小遣いだけでは足りないので児童手当を購入費用に充てて、アルバイトをして収入が出来たら児童手当を使用した分を補填するのはどうか。	施設のWi-Fi環境はあくまでも学習のために設置したものである。児童手当を当てにする考え方にも問題を感じる。また、通信機能のあるゲーム機を持っている小中学生にも対応していく必要があるため十分な議論が必要であることから、すぐには許可できないと返答した。
3	6月17日	入所児童	要望	施設で学習用のWi-Fi環境が整備されたので高校生の個人携帯でも利用させて欲しい。そうしてもらえると個人負担が減り、将来資金に回すことができる。	児童会の中でこの要望が出され、職員会で検討した結果、現行の携帯電話の使用ルールを遵守する条件で、許可することとした。
4	6月17日	入所児童	要望	児童有志で以前のようにサッカーをやりたいのでナイター設備の使用を許可して欲しい。	児童会にて要望が出された。夜間であるため職員側が心配している点を子ども達に返すなどのやりとりを何度かおこない、子ども達なりにルールを提案してきた。それを元に職員会で検討して許可することになった。
5	1月5日	入所児童	要望	高校進学が決定したら、入学式前に携帯電話を持ちたい。現在は高校の連絡網など子どもも保護者の携帯電話を持っている前提での連絡システムが基本であるため、携帯電話を持っていないと情報共有が出来なくなってきており、不都合が生じている。	現在のルールでは、運動部の児童は児童手当でないと費用負担が出来ないため特別に許可しているが、それ以外は1ヶ月アルバイトを継続できたことを条件に許可をしてアルバイト収入で支払をおこなっている。児童手当は自立後の重要な資金なので本来は使いたくない。そうした方針でおこなっているため検討する時間が必要である。また、入所間もない児童は児童手当すら十分にはない場合もある。自助努力なしで児童手当を当てにする考えにも心配がある。不公平感も出来るだけなくしたい。もう少し議論を重ねる必要があるため、継続検討とする。
6	3月16日	近隣住民	苦情	ひまわり園の小学生女子が登校中に、申出人のお宅の玄関先に植えてある花をむしってばらまいている姿が防犯カメラに映っていた。下校時に当該児童に声をかけたが「やっていない」と行為を認めなかった。数年前にも同じようなことが何度もあった。その頃の子どもはもういないと思うが、今入所している子ども達にも注意をしてほしい。	思い当たる子どもがいたので担当職員から聞いてもらうと自分がしたことを認めたため、花を大切に育てている人の気持ちを考えることと嘘をついて逃げることの誤りを本児に伝え、担当と共に申出人のお宅に謝罪に伺った.過去にも同様のことが何度もあり、当時も大変ご迷惑をおかけしたお宅だったため、子ども達全体に注意した。

（資料6）出張記録

施設長

①全国児童養護施設協議会

5月19日	全国児童養護施設協議会　協議員総会	オンライン

②関東ブロック児童養護施設協議会

7月5日	第56回関東ブロック児童養護施設研究協議会	オンライン

③静岡県児童養護施設協議会

4月15日	5月20日	6月17日	7月15日	8月19日	9月15日
10月21日	11月18日	12月16日	1月20日	2月17日	3月10日

④東部児童福祉施設長連絡会

未開催					

⑤富士圏域社会福祉施設長連絡会

5月28日	11月17日	3月10日			

⑥第11回児童虐待防止静岡の集い実行委員会

7月6日	10月21日				

⑦その他

5月9日	絵画展表彰	
6月21日	静岡県児童福祉司講習（講師）	静岡市児童相談所
10月26日	静岡県児童福祉施設夏季球技大会　感謝状贈呈式	

職員

①県養協　指導員保育士部会（手川）

4月22日	9月22日	10月28日	11月14日	11月27日	1月7日
1月27日	2月17日				

②県養協　福祉研究会（田中）

4月21日	5月19日	7月20日	9月21日	10月19日	12月21日
2月15日					

③県養協　家庭支援専門相談員部会（持田）

5月27日	7月1日	9月30日	11月4日	2月24日	

④県養協　里親支援専門相談員部会（田中美香）

5月14日	7月9日	9月3日	11月24日	2月4日	

⑤県養協　心理職員部会（近藤）

5月7日	9月2日	12月2日	2月3日		

⑥県養協　栄養士調理員部会（秋山）

5月12日	10月13日				

⑦県養協　事務職員部会（鳥越）

5月12日	10月13日	1月14日			

⑧その他

4月24日	令和3年度ふじ虹の会通常総会	フィランセ
7月2日	ショートルフラン調整会議	富士児童相談所
10月5日	ショートルフラン調整会議	富士児童相談所
12月7日	～12/9　第35回関東ブロック児童養護施設研修（発題）	栃木県総合文化センター

（資料7）研修記録

①外部研修

期　　日	内　　容	会　場	人数
6月29日	令和3年度衛生・栄養管理講習会	オンライン	1
6月27日	アレルギー大学初級公財	オンライン	1
7月13日	指導員保育士部会「地域小規模児童養護施設の現状と課題」	オンライン	4
7月29日	こども病院アレルギー講習	オンライン	3
7月14日	～8／1　計9講座　社会福祉法人・施設事務職員経理基礎講座	オンライン	3
7月14日	安全運転管理者講習	ふじさんメッセ	1
7月3日	アレルギー大学初級講座	オンライン	1
7月10日	アレルギー大学初級講座	オンライン	1
8月23日	～9／13　社会福祉法人・施設事務職員経理基礎講座	オンライン	2
9月11日	アレルギー大学中級講座	オンライン	1
9月16日	～9／29　社会福祉法人における予算管理講座	オンライン	2
10月12日	指導員保育士部会研修「性教育」	オンライン	4
10月16日	～10/17　第66回全国里親大会福岡市大会・九州地区里親研修会福岡市大会	オンライン	1
10月21日	県養協事務部会研修「児童養護施設	シズウェル	2
10月23日	里親月間記念講演「子どもと暮らす～不妊治療と里親制度」	オンライン	1
10月24日	フォスターセッション	富士児童相談所	1
11月17日	富士圏域社会福祉施設長会「次のパンデミックに備える：コロナ禍での社会福祉施設の課題	富士宮市民文化会館	1
12月14日	中堅職員研修「ケースカンファレンス」	オンライン	3
1月13日	調理技術研修会	ふじさんエコトピア	1
1月18日	児童福祉施設等における暴力防止研修	オンライン	4
1月21日	第11回静岡県児童養護施設協議会「権利擁護研修」	オンライン	5
2月7日	～2/14　社会福祉法人決算実務講座	オンライン	2
2月10日	～2/11　社会福祉士実習指導者講習会	オンライン	1
3月7日	～3/14　全国児童養護施設中堅職員研修	オンライン	6
3月18日	退所児童等支援事業全国セミナー	オンライン	1

延べ人数　53

②園内職員研修会

期　　日	研　　修　　内　　容	担当・発題
4月30日	子どもの最善の利益と人権擁護	動画視聴研修
9月15日	こども病院巡回相談（ケースカンファレンス）	県立こども病院　渥美Dr.
10月25日	食育について	栄養士・調理員
11月29日	かんたんケースカンファレンス	子どもの虹情報研修センター中垣先生
2月21日	新任職員の振り返り　中堅職員発表	

③園内新任職員研修

期　　日	研　　修　　内　　容	担当
6月15日	「養育の基本」	種田
7月7日	「就業規則」等について	種田
9月28日	「異業種連携」「防災研修」	田中
10月28日	「ひまわり園が大事にすべきもの」	金森
1月15日	「ひまわり園における児童指導員の社会的役割について」	持田

③感染症予防対策委員会

実施日	4月12日　10月25日　2月21日

（資料8） ひまわりの種

①【小学生の部】

期　日	テーマ（議題）	内　　容
4月23日(金)	第１回 「今年度の抱負」	今年度の取り組み内容及び、役割分担 ・新メンバー（小6；2名、小5；2名、小4；1名）で、どの様な種の会にするのか話し合う。
4月30日(金)	第２回 「実施計画」	取組内容、計画 ・畑野菜栽培、園内イベント(遊びの広場）、遊具の掃除…という意見が出る。 ・遊具清掃は5月1日、畑作業は5月5日に実施する。
5月1日(土)	第３回 「遊具清掃」	清掃作業 ・雑巾、ブラシ、バケツを用意。幼稚園前の遊具を磨きあげる。
5月5日(水)	第４回 「野菜栽培」	植え付け ・キュウリ、ナス、ピーマン、トマト、シシトウの植え付け。 ・今年度は事前に数回に分けて、耕作作業（土作り）を行っておく。
5月13日(木)	第５回 「野菜栽培」	水やりについて ・水やり当番を曜日毎に決める。
	「交通安全取り組み」	登下校の様子の確認 ・新1年生など、通学に不安のあった子達が頑張って歩いている。 ・小学生人数の減少も影響しているのか、大きな問題は無い。時々吉原公園の手摺りを滑りながら降りる子が居る程度。
	「今後の取り組み」	検討、話し合い ・「昨年同様、種会主催のイベントを実施して、子ども達を楽しませたい」という意見が多く挙がる。トランプ大会、読み聞かせ、遊びの広場、じゃんけん列車など。この内、読み聞かせはすぐにでも出来るのではないか。 ・食堂で読み聞かせを行う事となる。メンバーで告知ポスターを製作、掲示。
5月22日(土)	第６回 「読み聞かせ　開催」	種会主催　読み聞かせ ・メンバーによる読み聞かせ（”大きなカブ”）を行う。各ユニットの幼児～小学生対象。　各ユニットから子ども達や職員が多数集まり、楽しんでくれた。
6月1日(火)	第７回 「遊びの広場　準備」	検討、話し合い ・内容、日程について話し合う。 ・7月10日に実施。食堂での遊びの広場。子ども達も職員もブースを設ける。
6月16日(水)	第８回 「遊びの広場　準備」	各ブース準備 ・射的、ボーリング、クイズ、折り紙、プラ板、魚釣り　の準備。 ・食堂でのブース設置箇所の確認。
	「外掃除」	確認 ・毎週日曜9時～　種会メンバーによる外掃除（グランド周囲の掃き掃除）を行っている。最近、集まりが悪い事が続いていたため、再確認する。
7月10日(土)	第９回 「遊びの広場　開催」	小学生以下対象、遊びの広場開催 ・単に自分のブースのみを気にするのでは無く、全体に目を配らせながら運営する。どのブースも子ども達は喜んで参加してくれていた。
7月29日(木)	第１０回 「遊びの広場　反省」	振り返りを行い、今後に活かす ・子ども達が予想以上に集まってくれたのは嬉しい限り。ただ、順番に遊んでもらうため、待たせてしまう事が多くなっしまった。
	「交通安全取り組み」	確認 ・種会メンバー（男子2名）の交通安全に対する意識が低い。低学年と鬼ごっこをしながら登校するメンバーなどがいた。十分に反省して欲しいと他メンバーからも厳し目に言われる。
	「くじ引き準備」	準備 ・寄付物品（玩具など多数）を子ども達に分けるために、くじ引き準備を行う。くじの作成や男女別に景品を分けるなど行う。
7月30日(金)	第１１回 「くじ引き　運営」	くじ引き ・景品をテーブルに並べ、参加者がくじ引き後に容易に景品を見つけられる様に工夫する。
9月22日(水)	第１２回 「今後の展開」	生活を見直しつつ、今後種会で取り組むべき内容を考える。

12月18日(土)	第１３回 「今後の展開」	生活を見直しつつ、今後種会で取り組むべき内容を考える。 ・各自で考えて来てもらう。トランプ大会、読み聞かせ、オセロ大会…といったイベント事の意見が出る。結果、年明けにオセロ大会を実施する事となる。 ・対戦方式を確定するため、早めに参加者を募る。
	「その他」	生活上の確認 ・登下校の様子を確認する。下校の状況で、一部遊びながら帰る子の名前が挙がるが、大きな問題では無かった。 ・日曜の掃き掃除にメンバーが揃わない。よくさぼる者に対して、注意を促す。
1月5日(土)	第１４回 「オセロ大会　準備」	役割分担、当日の流れの確認など ・1月15日に実施。開閉開式の進行や役割について確認。 ・参加者は種会メンバーを入れて、14人。トーナメント方式にする。 ・賞品（手作りメダル）、賞状、くじ（対戦相手決め）の準備をする。
1月15日(土)	第１５回 「オセロ大会　開催」	オセロ大会実施 ・練習タイムを設けつつ、本番。9時30分開始。約1時間の競技時間だった。
2月28日(月)	第１６回 「オセロ大会　反省」	反省点を出す ・競技そのものは楽しんで貰えた。途中で負けた子も、その後で対戦相手を見つけてフリーで対戦して貰い、良かった。 ・閉会式が少しまとまらなかった。
	「今年度の振り返り」	1年の振り返りをしてみる ・イベント（読み聞かせ、遊びの広場、オセロ大会）で多くの子達に喜んで貰えた事が良かった、という感想が多数挙がる。また、一つのイベント開催に向けた準備に時間を要する事が分かり、その大変さも感じた1年だった。 ・外掃除を継続した事は良かった。他の子達のためになる活動だったと思う。
3月28日(月)	第１７回 「来年度に向けて」	各ユニットの小学生の意見 ・各ユニットの小学生に対して、種会で話し合って欲しい内容を聞いて来る様に、と指示してあった。 たまに食堂で食事をとりたい。行事を増やしたい。お花畑を作りたい。 これらの意見が挙がる一方で、あれだけイベントをやってきたにも拘わらず、種会を知らない子も多数いた。

②【中高生の部】

期　日	テーマ(議題)	内　　容
6月	・役員選出 ・園内Wi－Fi使用 ・夜間サッカー	各部屋の代表者と全体の代表者を選出。 学習用として整備されている園内のWi－Fi環境を子どもが個人的に使用したいという希望についての話し合い。 夜間にナイター設備を使用し、子ども有志でサッカーをやりたいという希望についての話し合い。
8月	・児童会主催行事	映画鑑賞
11月	・園内Wi－Fi使用 ・夜間サッカー	学習用として整備されている園内のWi－Fi環境を子どもが個人的に使用したいという希望についての話し合い。 夜間にナイター設備を使用し、子ども有志でサッカーをやりたいという希望についての話し合い。
12月	児童会主催行事	映画鑑賞
1月	・夜間サッカー ・高校入学時での携帯電話所持	夜間にナイター設備を使用し、子ども有志でサッカーをやりたいという希望についての話し合い。 子どもがスマートフォンを持っていることを前提に学校の連絡システムが作られている現状を鑑み、高校に進学する全ての子どもが入学時に携帯電話を所持するための話し合い。
2月	・高校入学時での携帯電話所持 ・夜間の通塾の自転車使用について	子どもがスマートフォンを持っていることを前提に学校の連絡システムが作られている現状を鑑み、高校に進学する全ての子どもが入学時に携帯電話を所持するための話し合い。 夜間の通塾にも自転車を使わせて欲しいという要望についての話し合い。
3月	・今年度反省 ・高校入学時での携帯電話所持	今年度の話し合いの進め方について振り返る。 子どもがスマートフォンを持っていることを前提に学校の連絡システムが作られている現状を鑑み、高校に進学する全ての子どもが入学時に携帯電話を所持するための話し合い。

（資料9）児童処遇について

①性教育学習会実施状況

対　象	期　日	テーマ	目 的 ・ 内 容
幼児	3月	男女の身体の違い プライベートゾーン	男女の身体の違いを学ぶ。それぞのプライベートゾーンを確認する。 自分の身体が守るべき大切なものである事を学ぶ。
小学生男子	5月	プライベートゾーン	どのような行為が相手への境界線侵犯に当たるのかを具体的に学ぶ。
中学生女子	8月	人との距離	他者との関係性と距離の相関関係について学ぶ。

（資料10）家庭支援・里親支援等の実施状況

（1）家庭支援

①児童と保護者の連絡状況

状況	一時帰省	一時外出	面会	電話のみ	手紙のみ	連絡なし
人数	11	9	18	0	2	10
割合	22.0%	18.0%	36.0%	0.0%	4.0%	20.0%

合計
50

②面会実施状況

月	面会件数	月	面会件数
4月	12	10月	16
5月	19	11月	11
6月	12	12月	10
7月	9	1月	9
8月	7	2月	11
9月	1	3月	11

合計
128 件

③一時外泊状況

月	外泊件数	月	外泊件数
4月	0	10月	3
5月	0	11月	1
6月	6	12月	0
7月	2	1月	4
8月	10	2月	4
9月	0	3月	1

合計
31 件

④家庭訪問件数

月	件数	月	件数
4月	0	10月	1
5月	2	11月	1
6月	0	12月	2
7月	4	1月	0
8月	1	2月	2
9月	0	3月	0

合計
13 件

（２）里親支援

①ショートルフラン（短期里親委託事業）状況

	期間	人数	備考
夏季	8月13日～18日	1	
	8月8日～12日	1	
	8月9日～10日	1	
冬季	12月27日～1月３日	1	
	12月27日～1月1日	1	
	12月29日～1月２日	1	

②週末里親委託状況（通年で3名の児童を委託）

月	委託人数	月	委託人数
4月	2	10月	2
5月	2	11月	2
6月	2	12月	1
7月	2	1月	冬季
8月	夏季	2月	コロナで中止
9月	コロナで中止	3月	コロナで中止

③新規ショートルフランマッチイング

児童	関係機関と話し合い	里親との面会	外出等
高2男児	2回	2回	１回
小5男児	2回	2回	1回

④里親認定前研修

研修	実習	人数
－	1月23日	2

※コロナの為、途中で中止

④里親支援専門相談員の活動

期　日	活　動　内　容
4月	小3女児・小6女児ショートルフラン受け入れ準備・実施・振り返り パラソル・富士圏域里親支援専門相談員話し合い ふじ虹の会総会
5月	小3女児・小6女児ショートルフラン受け入れ準備・実施・振り返り 里親支援専門相談員部会 里親サロン企画準備・参加・反省 里親宅訪問（アフターケア） 富士圏域里親支援専門相談員話し合い
6月	小3女児・小6女児ショートルフラン 里親サロン企画準備・参加・反省 富士圏域里親支援専門相談員話し合い 富士児相里親担当者・富士圏域里親支援専門相談員連絡会準備・参加・反省
7月	小3女児・小6女児ショートルフラン ショートルフラン調整会議・里親支援船担当者会議 里親支援専門相談員部会 里親サロン企画準備・参加・反省 里親委託児童・里親来園
8月	小3女児・小6女児・中3男児夏季ショートルフラン 年長男児アフターケア・富士児相に報告 パラソル来園
9月	里親支援専門相談員部会 年長男児アフターケア・パラソル報告 里親サロン（zoom）

10月	小3女児・小6女児ショートルフラン 富士圏域里親支援専門相談員話し合い ショートルフラン調整会議・里親支援船担当者会議 里親相談会参加（2回） 里親宅訪問（アフターケア） 里親スキルアップ研修 ショートルフランマッチング 里親月間記念講演会参加 フォスターセッション参加 里親サロン企画準備・参加・反省
11月	小3女児・小6女児ショートルフラン 里親サロン企画準備・参加・反省 スキルアップ研修 里親支援専門相談員部会 小5男児ショートルフランマッチング 中3男児ショートルフラン終了に向けて各関係機関等と連絡 ショートルフラン懇談会企画準備・参加・反省
12月	小3女児・小6女児・高3男児冬季ショートルフラン・高2男児週末ショートルフラン 中2男児ショートルフランマッチング 里親サロン企画準備・参加・反省 里親スキルアップ研修参加・講師
1月	小3女児・小6女児・高3男児冬季ショートルフラン ショートルフラン調整会議・里親支援船担当者会議 里親スキルアップ研修参加 パラソル・富士圏域里親支援専門相談員話し合い 里親サロン企画準備・参加・反省 登録前研修資料作成・実施・（1組受け入れ・コロナの為途中で中止）
2月	里親支援専門相談員部会 里親サロン企画準備・参加・反省 里親スキルアップ研修参加 富士圏域里親支援専門相談員話し合い
3月	小3女児・小6女児里親面会（ショートルフランはコロナで中止） ショートルフラン調整会議・里親支援担当者会議 小5男児ショートルフランマッチング 富士にじの会×EPOコラボ企画参加 里親訪問（アフターケア） 令和4年度ショートルフラン希望調査表作成・東部里親会・静岡市
その他の活動	里親委託可能ケース・ショートルフラン希望児童についての整理 施設職員へ里親活動の報告・啓発 資料：ショートルフランってなあに作成 ショートルフラン意識アンケート作成・実施・集計

【プール遊び】

【ハロウィン】

（資料11）地域社会活動

①ボーイスカウト活動（富士一団）登録人数4名

期日	活 動 内 容	活 動 場 所
5月3日	タケノコ堀	
5月16日	ビーバースカウト	かぐや姫ミュージアム
9月5日	テント設営訓練	ひまわり園
11月7日	ビーバースカウト	
12月12日	ボーイスカウト	田貫湖

②吉原小学校子ども会活動

期 日	活 動 内 容	結 果・備 考
	新型コロナウイルス感染症まん延のため中止	

③芙蓉会フットボールクラブ（通称：ＦＦＣ）登録選手９名

期 日	活 動 内 容	結 果・備 考
6月12日、13日	ふじしんカップ（前期リーグ戦）4年生の部	2勝2敗
11月27日	富士第一主催後期交流戦 U8	2勝2敗
1月8日、9日	第43回岳南大会	3敗

④地域貢献活動（買物支援プロジェクト）

63回中50回参加

【ひまわり幼稚園の風景】

（資料12）行事の実施状況

①静岡県児童養護施設協議会行事

期日	実施行事	結　果
	新型コロナ流行のため、すべて中止	

②園内行事

	期日	実施行事	部屋名	参加児童数	引率職員数
1	5月2日	白尾山	かえで	8	4
2	5月2日	バーベキュー	銀河	9	4
3	5月3日	バーベキュー、花火	さくら	9	4
4	5月4日	バーベキュー	大地	9	4
8	8月3日	川遊び（黒川キャンプ場）	大地	9	4
8	8月6日	お泊り会（集会室）	けやき	11	6
10	8月10日	川遊び（陣馬の滝、杵塚養鱒場）	銀河	8	4
12	8月24日	流しそうめん	大地	9	4
13	9月5日	花火	銀河	9	4
15	10月31日	ソフトボール（吉原第二中学校）	希望者		
16	3月17日	お楽しみ会	けやき	11	4
18	3月23日	お楽しみ会	かえで	8	3
20	3月26日	沼津深海魚水族館	けやき	2	1
21	3月28日	お別れ会	さくら	11	4

【クリスマスツリーの飾りつけ】

【小さい子を可愛がってくれます】

（資料13 ）幼稚園・学校・地域との連携

①学校等との連携

期　日	関　係　機　関	内　　容
4月28日	吉原第一中学校との連絡会①	施設概要説明と個別面談
4月30日	吉原小学校との連絡会	施設概要説明と個別面談
11月8日	吉原第一中学校との連絡会②	情報交換と個別面談

②園への招待行事

期　日	内　　容
中止	芙蓉会夏祭り 理事、評議員、ボランティア等を招待
12月25日	ひまわり園クリスマス会 招待は中止（新型コロナウイルス感染症の影響）

③地域防災訓練への参加

9月1日	地域防災訓練（中止）

④地域交流

中止	天王祭（グラウンド開放、御神輿で町内練り歩き）

⑤ボランティア協力

・学習ボランティア　　赤渕成彦様
・散髪　　針生浩様
・サッカー　　小西徳三様
・慰問　　ADEKA労組様、フロンティアジャパン様
・クリスマスプレゼント
　　山田様、富士中央ライオンズクラブ様、ワールドメイト様
・バレンタイン　　山清倉庫様
・その他、寄付金や寄付物品などを多くの皆様よりいただきました（詳細はHP参照）

⑥施設開放

期　日	団　　体	内　　容	施設
4月7日	富士市サッカー協会4種	役員会	学習室
6月16日	富士市サッカー協会4種	指導者会議	学習室
7月1日	ビーバースカウト	指導者会議	学習室
7月22日	富士市サッカー協会4種	指導者会議	学習室
8月5日	ビーバースカウト	指導者会議	学習室
8月6日	富士市サッカー協会4種	役員会	学習室
8月18日	富士市サッカー協会4種	指導者会議	学習室
9月15日	富士市サッカー協会4種	指導者会議	学習室
10月13日	富士市サッカー協会4種	指導者会議	学習室
11月4日	富士市サッカー協会4種	指導者会議	学習室
11月27日	富士市サッカー協会4種	役員会	学習室
12月15日	富士市サッカー協会4種	指導者会議	学習室
1月19日	富士市サッカー協会4種	役員会	学習室
2月16日	富士市サッカー協会4種	役員会	学習室
2月12日	ボーイスカウト富士一団	リーダー会議	会議室
3月16日	富士市サッカー協会4種	指導者会議	学習室

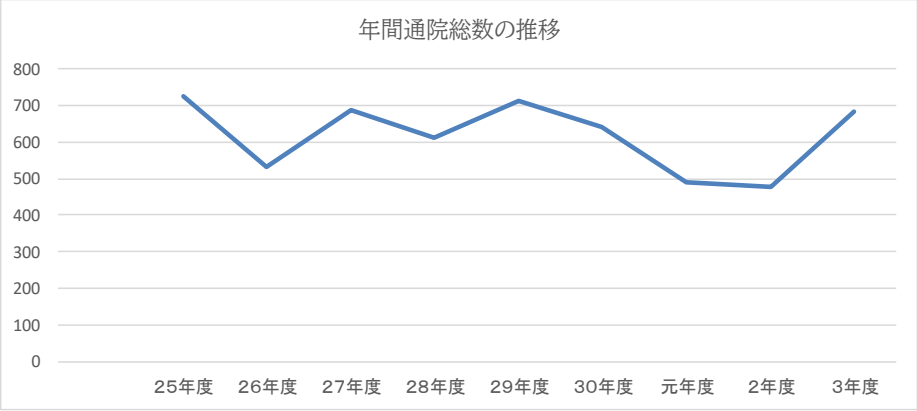
(資料14)児童の健康管理

①令和3年度　受診集計

No	診療科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	小児科	13	21	24	15	28	18	26	14	23	22	20	14	238
2	内科	1	0	1	2	0	3	0	5	0	0	0	0	12
3	外科	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	2	6
4	整形外科	3	0	5	2	0	0	1	9	5	1	2	1	29
5	歯科	3	0	8	8	2	6	11	10	9	12	8	8	85
6	耳鼻咽喉科	1	2	2	3	6	2	3	3	1	4	8	11	46
7	精神科	5	5	6	6	5	6	5	7	9	8	10	9	81
8	眼科	1	3	11	3	2	1	1	1	1	6	1	2	33
9	泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
10	婦人科	0	1	1	0	1	2	1	1	1	0	0	1	9
11	皮膚科	3	5	4	7	5	5	13	6	15	7	14	5	89
12	心療内科	0	0	0	0	2	4	2	0	3	2	0	2	15
13	その他	1	0	1	0	2	0	6	6	10	6	5	2	39
	計	31	37	64	48	53	47	70	62	77	69	68	57	683

②年間通院件数の推移

年　度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
件　数	724	534	686	611	712	643	490	476	683



③健康診断

11月10日	47人
11月25日	1人
12月8日	1人
12月24日	1人

④ひまわり幼稚園

健康診断	5月11日	2人
歯科検診	6月4日	2人

⑤予防接種記録

No	予防接種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	四種混合Ⅰ期初回	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2	四種混合Ⅰ期追加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
3	三種混合Ⅰ期初回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	三種混合Ⅰ期追加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	二種混合Ⅰ期初回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	二種混合Ⅰ期追加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	二種混合Ⅱ期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
8	生ポリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	不活化ポリオ初回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	不活化ポリオ追加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	麻しん風しん	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
12	麻しん	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
13	風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	BCG	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	日本脳炎Ⅰ期初回	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
16	日本脳炎Ⅰ期追加	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	5
17	日本脳炎Ⅱ期	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
18	肺炎球菌初回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	肺炎球菌追加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	ヒブ初回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	ヒブ追加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	子宮頸がん	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
23	B型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	水痘	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
25	おたふくかぜ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	48	2	0	0	0	50
27	新型コロナワクチン（1回目）	0	0	0	0	0	0	11	1	6	2	1	0	21
28	新型コロナワクチン（2回目）	0	0	0	0	0	0	2	9	1	8	0	1	21
	計	2	6	4	1	1	0	13	58	13	11	2	1	112

（資料15）令和三年度　行事食の献立

①季節ごとの行事食

月日	行事名	献立
4月7日（水）	小・中学校入学式	お赤飯・鶏肉の照り焼き・サラダ菜・ミニトマト・マセドアンサラダ・いちごミルク・お吸い物
5月5日（水）	こどもの日	
6月10日（水）	芙蓉会創立記念日	お赤飯・エビフライ・キャベツ・ポテトサラダ・カルピスムース・お吸い物
7月7日（水）	七夕	七夕そうめん・油淋鶏・ゆかり和え・七夕ゼリー
9月23日（木）	秋分の日	おやつ：おはぎ
10月1日（金）	十五夜	おやつ：お月見パイ
10月31日（日）	ハロウィン	ご飯・たらのホイル蒸し・かぼちゃとさつま芋のサラダ・ぶどうの2層ゼリー・味噌汁
12月7日（月）	七五三	お赤飯・エビフライ・付け合わせサラダ・ポテトサラダ・うさぎりんご・彩そうめん汁
12月25日（金）	クリスマス	寿司・洋風オードブル・サンドイッチ・フルーツ盛り合わせ・クリスマスプリン・ジュース
1月1日（金）	おせち料理	ご飯・八幡巻き・日の出えび・吹き寄せ煮・昆布巻き・栗きんとん・かずのこ 伊達巻・紅白かまぼこ・紅白なます・黒豆・田作り・いちご
2月3日（木）	節分	恵方巻・油淋鶏・パウイナップル・白菜の中華スープ
3月3日（水）	ひなまつり	カップ散らし寿司・クリームコロッケ・サラダ菜・彩サラダ・いちごミルク・若竹汁
3月20日（土）	卒業・旅たちを祝う会	サンドイッチ・エビフライ・付け合わせサラダ・ピーチフロマージュ・白菜とベーコンのスープ・ジュース

【　こどもの日　】

【　おせち料理　】

【　七夕　】

【　ひなまつり　】

②誕生会献立

月日	献　立
4月24日（土）	焼きカレードリア・いろいろポテト・ミモザサラダ・デザート・貝割れと卵のスープ
5月22日（土）	ピザ・ミニアメリカンドック・彩サラダ・白玉クリームあんみつ・ジュース
6月26日（土）	バターロール・マカロニグラタン・チップスサラダ・フルーツ杏仁・キャベツとベーコンのスープ
7月24日（土）	カレーピラフ・鶏肉のチューリップ揚げ・彩サラダ・カルピスムース・ABCスープ
8月28日（土）	ピザ・ミニアメリカンドック・シャカシャカポテト・グリーンサラダ・巨峰
9月25日（土）	カップ散らし寿司・エビフライ・付け合わせサラダ・フライドポテト・マスカット＆巨峰・とろろ昆布汁
10月23日（土）	寿司・焼鳥・いろいろポテト・彩サラダ・柿＆みかん
11月27日（土）	ピザ・ミニアメリカンドック・シャカシャカポテト・ミモザサラダ・白玉フルーツポンチ
12月4日（土）	カラフルピラフ・ポットパイ・オニオンチップサラダ・ストロベリーババロア
1月22日（土）	バターロール・煮込みハンバーグ・彩サラダ・フルーチェ
2月26日（土）	ピザ・やきとり・ミニアメリカンドック・チップスサラダ・カラフルフルーツゼリー
3月26日（土）	カラフルピラフ・ポットパイ・ミモザサラダ・デザート

【　5月誕生会　】

【　6月誕生会　】

【　10月誕生会　】

【　3月誕生会　】

③個別誕生日リクエスト献立

月日	年齢	性別	リクエスト	献立
4月6日	13	女	えびグラタン	バターロール・えびグラタン・ナッツサラダ・りんご・ほうれん草のスープ
	11	男	鶏の唐揚げ	ご飯・鶏の唐揚げ・サニーレタス・コールスローサラダ・グレープフルーツ・味噌汁
4月15日	6	男	チョコアイス	おやつ→チョコアイス
4月21日	3	男	鶏の唐揚げ	ご飯・鶏の唐揚げ・ブロッコリー・コールスローサラダ・いちご・味噌汁
4月28日	17	男	クリームパン	クリームパン・バターロール・ジャーマンポテト・バナナ・牛乳
5月9日	12	女	ジャイアントコーン	おやつ→ジャイアントコーン
5月13日	4	女	バニラアイス	おやつ→バニラアイス
5月29日	11	男	抹茶アイス	おやつ→抹茶アイス
	15	男	ミルクレープ	ご飯・白身魚のピカタ・サラダ菜・おからのポテトサラダ風・ミルクレープ・マッシュルームとレタスのスープ
6月1日	12	女	ピーマンの肉詰め	ご飯・ピーマンの肉詰め・サニーレタス・マセドアンサラダ・パイナップル・味噌汁
6月11日	18	男	フルーツサンド	おやつ→フルーツサンド
	17	男	味噌ラーメン	味噌ラーメン・にら饅頭・サラダ菜・りんご
6月22日	11	男	クーリッシュ	おやつ→クーリッシュ
6月24日	12	男	タピオカミルクティー	おやつ→タピオカミルクティー
6月25日	6	女	チョコバナナアイス	おやつ→チョコバナナアイス
7月7日	13	男	油淋鶏	七夕そうめん・油淋鶏・ゆかり和え・七夕ゼリー
7月22日	15	男	パンケーキ	パンケーキ・チキンサラダ・パイナップル・牛乳
7月29日	8	女	チーズ餃子	おやつ→チーズ餃子
7月31日	8	男	とんこつラーメン	とんこつラーメン・にら饅頭・サラダ菜・ぶどう
8月11日	16	女	カルビ丼	カルビ丼・もやしとわかめのナムル・サイダーかん・ワンタンスープ
8月16日	7	男	タピオカミルクティー	おやつ→た
8月17日	10	女	冷やしうどん	冷やしうどん・里芋のそぼろ煮・すいか
8月25日	18	女	板チョコアイス	おやつ→板チョコアイス
9月8日	5	女	ドーナツ	おやつ→ドーナツ
9月13日	17	女	ティラミス	おやつ→ティラミス
9月18日	9	女	チーズ餃子餃子	おやつ→チーズ餃子
10月11日	16	男	油淋鶏	ご飯・油淋鶏・ひじきの中華マリネ・パイナップル・チンゲンサイと春雨のスープ
10月12日	15	女	つぶグミ	おやつ→つぶグミ
10月25日	9	女	チーズ餃子	おやつ→チーズ餃子
10月28日	5	女	おもちパイ	おやつ→おもちパイ
10月30日	男	6	ピザトースト	ピザトースト・鶏肉のはちみつ焼き・サラダ菜・ミニトマト・コールスローサラダ・オレンジ・豆苗のスープ

11月2日	女	5	パングラタン	パングラタン・イタリアンサラダ・みかんゼリー・マッシュルームとレタスのスープ
11月25日	女	8	チョコレートプリン	ご飯・えびのチリソース・チョレギサラダ・チョコレートプリン・卵ときくらげのスープ
12月25日	女	14	トマト鍋	ご飯・トマト鍋・浅漬け・オレンジ
12月28日	女	9	ポテトグラタン	パン・ポテトグラタン・オニオンチップサラダ・パイナップル・かぶとしめじのスープ
1月11日	男	8	ピザトースト	ピザトースト・ポトフ・カリカリじゃこのサラダ・グレープフルーツ
1月16日	女	14	コーヒーゼリー	おやつ→コーヒーゼリー
1月19日	男	6	ナン	ナン・豆入りドライカレー・カルシウムサラダ・パイナップル
2月1日	男	12	豚キムチチャーハン	豚キムチチャーハン、にら饅頭、サラダ菜、りんご、中華風スープ
2月3日	男	13	油淋鶏	恵方巻、油淋鶏、パイナップル、白菜の中華スープ
2月5日	男	6	ミートドリア	ミートドリア、じゃが芋といんげんツナ和え、グレープフルーツ、キャベツとベーコンのスープ
	男	8	ウインナー	メロンパン、バターロール、ウインナーソテー、サラダ菜、ミニトマト、ベジタブルチャウダー
2月17日	男	5	バナナパウンドケーキ	おやつ→バナナパウンドケーキ
3月19日	女	7	チョコパン	チョココルネ・丸パン・ウインナー・レタス・ミニトマト・ジュリアンスープ
3月24日	男	8	カツ丼	カツ丼・千切り野菜の塩昆布和え・白玉フルーツポンチ・味噌汁
3月28日	男	14	抹茶アイス	おやつ→抹茶アイス

【　チョコがけドーナツ　】

【　　ティラミス　　】

④調理実習献立

月日	献立
4月25日（日） かえで	・カルボナーラ　・チップスサラダ　・タピオカミルクティー
5月16日（日） さくら	・希望カレー　・ラーメンサラダ　・ゼリー
6月20日（日） けやき	・パンケーキ　・チョレギサラダ　・ジュース
7月18日（日） 大地	・ご飯　・冷しゃぶ　・トッピングアイス　・味噌汁
8月13日（金）～15日（日） 各部屋	規制期間中の為、各部屋で調理実習
9月19日（日）	・ご飯　・ハンバーグ　・コーンソテー　・レタス、トマト　・巨峰
10月6日（日）	・醤油ラーメン　・チョレギサラダ　・フルーチェ
11月17日（日）	・チャーハン　・ウインナーソテー　・ゼリー　・青菜のスープ
12月31日（火）～1月2日（木） 各部屋	規制期間中の為、各部屋で調理実習
2月13日（日） 各部屋	バレンタインチョコ作り
3月8日（日） けやき	・ご飯　・ダージーパイ　・野菜スティックサラダ　・プリン　・味噌汁

【　５月調理実習　　】

（資料16）防災訓練実施報告

月　日	訓　　練　　内　　容	参加児童数	参加職員数
4月10日	火災発生想定の避難訓練	42	6
5月16日	地震発生想定の避難訓練	44	6
6月6日	火災発生想定の避難訓練	38	7
7月24日	土砂災害発生想定の避難訓練	32	5
8月4日	火災発生想定の避難訓練（夜間訓練）	46	11
9月12日	富士市総合防災訓練→地震発生想定の避難訓練	41	6
10月3日	火災発生想定の避難訓練	42	11
11月7日	施設防災訓練（地震）	38	6
12月5日	火災発生想定の避難訓練（地域防災訓練）	41	10
1月9日	火災発生想定の避難訓練	32	7
2月20日	地震発生想定の避難訓練	35	5
3月20日	火災発生想定の避難訓練	35	6

（資料17）実習生受入状況

①保育士実習

	期　　間			養　成　校	人数
1	7月6日	～	7月18日	浜松学院短大	2
2	9月14日	～	9月24日	常葉大学短期大学部	3
3	10月1日	～	10月11日	常葉大学短期大学部	3
4	10月5日	～	10月17日	静岡県立短大	1
5	10月13日	～	10月24日	沼津情報ビジネス専門学校	2
6	10月19日	～	10月31日	常葉大学保育学部	1
7	11月30日	～	12月11日	静岡こども福祉専門学校	2
8	12月1日	～	12月9日	常葉大学保育学部	3
				計	17

（資料18）設備保守・安全点検

点検項目	業者名	点検年月日		備考
電気設備	関東電気保安協会	5月24日		年6回
		7月6日		
		9月1日		
		11月10日		
		1月7日		
		3月17日		
消防設備	サンコー防災（消防設備）	6月9日		年2回
		11月9日		
	富士消防用品商会(消火器)	5月14日		年2回
		11月12日		
消防立ち入り検査	富士市消防本部			年1回
厨房リフト	（株）一厨　法定点検	5月19日		年1回
	（株）一厨	4月22日	5月28日	月1回
		6月25日	7月27日	
		8月27日	9月27日	
		10月28日	11月26日	
		12月15日	1月14日	
		2月14日	3月4日	
建築設備	王子不動産(株)	11月24日		年1回
特殊建物等定期検査	王子不動産(株)	12月2日		2年に1回
児童遊具点検	（株）友愛スポーツ			2年に1回
害虫駆除（厨房）	(株）大富士ﾀﾞｽｷﾝﾀｰﾐﾆｯｸ	5月21日 11月15日		年2回
害虫駆除（居室）	(株）大富士ﾀﾞｽｷﾝﾀｰﾐﾆｯｸ	7月12日		年1回
害虫駆除（集会室）	(株）大富士ﾀﾞｽｷﾝﾀｰﾐﾆｯｸ	12月22日		年1回
水質検査	静岡県生活化学検査センター	6月1日		年1回
貯水槽清掃	(株）富士クリーンサービス	3月19日		年1回

地域小規模児童養護施設ひろみ（ひまわり園加算事業）

主要事業報告

令和３年度、「ひろみ」は地域小規模児童養護施設の指定を受け（承認年月日：令和３年４月１日）、本体施設の支援のもと、24時間体制で入所児童の安全・安心の確保に努めました。

令和３年度は、小学生１名、中学生２名、高校生１名の４名でスタートとなりました。

ひろみでは地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な支援が出来るように努めました。

また出来る限り子どもが日常生活において主体的に考え、取り組むことが出来るよう心掛けて支援しました。

新型コロナウイルス感染症への対応については、法人や本体施設の感染防止対策に沿って、助言や指示を頂きながら、地域小規模施設として出来うる対策を図り、感染予防に努めました。Zoom などを利用したリモート会議や研修なども積極的に使用しました。

中学校３年生２名につきましては、通塾などを通し、学習支援に努めました。結果、本人たちが希望する公立高校へ合格することが出来ました。

昨年度も地域との関係を大切にすることを常に心がけて生活しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、地域の行事や活動はほとんど出来ませんでしたが、職員子ども共に、日常の中での地域住民の方々との交流を大切にし、地域の方々と協力していく意識を持つよう努めました。

重要事項報告

今年度も本園から移行してきた高校３年生女子の養育に苦慮しました。本園職員のからの支援や児童相談所の協力を得て支援、指導してきました。施設長や児童相談所と相談し、本園で一時的に生活してもらう対応をとることがありました。不安定な生活は続いておりましたが、進路については、本人が希望する看護専門学校への進学が決まり、学生寮へ入寮し、そこから通学することになりました。入所措置を延長して引き続き、措置児童として支援していくことになりました。

また一昨年度から保育士１名が体調不良により、休職を余儀なくいる状態

でしたが、本園の個別対応職員が、ひろみ専属の職員として勤務してもらいました。

昨年度も、小規模施設での養育や運営で困難を感じることが多くあり、苦しい１年でしたが、その中で本園職員や関係機関との連携の重要性を改めて感じる機会にもなり、園全体で、地域小規模施設の課題について共有することが出来ました。

基本目標１

家族と離れて生活する子どもたちが、安心・安全に生活できる環境を保障し、権利擁護意識の向上に努めます。（資料２、６）

日常生活において、個々が意見を言いやすい環境や雰囲気を作ること意識して支援しましたが、身勝手な行動をしてしまう子どもへの指導が十分ではなく、不公平な状況も生じてしまい、周囲の子どもが安心して生活できない状況もありました。

子どもへの支援では児童相談所との連携に努めました。担当の児童福祉司、心理司に定期的な面接をお願いし、全員の児童が定期的に実施出来ていました。

外部研修への参加は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もありましたが、積極的に参加出来たとは言えない状況でした。

基本目標２

生活を営む主役は子どもであり、日常生活において主体的に考え、取り組むことができるように支援します。（資料３、４）

「キンモクセイの会」（児童会）の充実を図り、個々の意思を尊重すると共に、自らの意見や行動でひろみの生活を改善、向上することを促しました。行事については新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、子どもが希望する行事は満足に実施出来ませんでした。また子ども達には一般的な生活における経済観念を養う為に、毎月の電気、水道、ガスなどの料金の掲示を行い、予算を意識して実施出来るように支援してきました。

基本目標３

子どもが、地域を含めてひろみを「故郷」と思えるような施設を目指します。職員、子ども共に地域との関わりを深め、地域住民と良好な関係が築けるように配慮します。また地域小規模児童養護施設が地域において理解されるよう努めていきます。

（資料５）

【地域のどんと焼きに参加】

日常生活の中で近隣住民との関わりを大切にし、良好な関係をもてるよう努めました。小学生１名は子ども会に入会し、近隣住民との交流を深め、職員

りました。例年実施している地域の行事や活動などは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響でほとんど中止になりました。そういった非常時においても、日常の中での交流を大切にし、地域で支え合う意識を持つよう努めました。そういった日常の関りの中で、地域において施設や子どもへの理解が広がっていることを実感することが多くありました。

基本目標４

社会的自立を目標とする子どもたちの自立支援を実施します。

高校生１名につきましては、自立へ向けた支援として、社会的養護自立支援業務を活用し、東海道シグマの方によるセミナーを受講しましたが、定期的な受講には至りませんでした。

自立後、生活が落ち着かない卒園生がおり、対応する機会が多くありました。そういった卒園生に対しては、社会的養護自立支援業務が県から委託されている児童家庭支援センターパラソルと連携してアフターケアを行うことが出来ました。しかし問題が深刻化してからの対応になってしまい、予防的な支援が出来ていないのが大きな課題であります。

基本目標５

家族再統合のための保護者との関係強化および児童相談所、学校、施設など社会的養護の連携に努めます。（資料６）

面会が実施出来るケースにつきましては、定期的に実施できるよう支援しました。児童相談所との連携が不十分で、進展していないケースもありますので、そういったケースにつきましては家庭支援の見直しが必要です。

基本目標６

子どもの健康に配慮すると共に、環境の整備、防災教育を推進し、安全な生活を支援します。（資料７、８）

子どもの健康に配慮し年１回の健康診断、インフルエンザの予防接種を実施しました。新型コロナウイルスワクチンにつきましては、12 歳以上の児童３名につきましては２回接種をしました。防災訓練を月１回実施し、児童ならびに職員の防災意識の向上に努めました。また非常時に必用な物品を確認し、不足している物を揃えました。

ひろみ職員が地域の防災倉庫の定期点検、整理に携わらせて頂き、近隣住民と災害時の地域の連携について話を出来ています。近隣住民は高齢の方が多いので、ひろみ職員を頼りにしているといった話もありました。地域の中にある福祉施設が、地域防災や福祉にどう関わっていくのか考えていかなければなりません。

基本目標７

実習生の受入を検討して児童養護施設の理解を広げ､後進の指導に努力します。（資料９）

新型コロナウイルス感染症の影響により、実習期間が延期されましたが、1月に保育実習生を1名、受け入れました。その実習生は実習を通して、地域小規模施設に興味を持たれたようで、実習終了後、春休みにひろみに来られています。

資料１　　入退所状況

① 令和３年度　月別児童在所状況　（初日在籍）

区分＼月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実人員	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

②理由別入退所児童一覧

入　所　児　童				
氏　　名	性別	学年	入所日	入　所　理　由
な　し				
退　所　児　童				
氏　　名	性別	学年	退所日	退　所　理　由
な　し				

資料２　　外部研修報告

年月日	主催者	研修内容	参加人数
7月13日	静岡県児童養護施設協議会 指導員保育士部会	7月定例研修会 地域小規模児童養護施設の現状と課題	3
12月14日	静岡県児童養護施設協議会 指導員保育士部会	12月定例研修会 ※中堅職員研修 ケースカンファレンス ～不登校児童の対応について～	1
3月　7日 ～3月14日	（福）全国社会福祉協議会 全国児童養護施設協議会	R3年度全国児童養護施設中堅職員研修 ※動画視聴型研修	1

資料３　　児童会「キンモクセイの会」の実施状況

日　付	主　な　内　容
5 月　5 日	生活の振り返り　　行事希望について
5 月 23 日	生活の振り返り
6 月 27 日	生活の振り返り　　夏休みの行事、調理実習について
7 月 24 日	生活の振り返り
8 月 28 日	生活の振り返り　　夏休みの振り返り
9 月 29 日	生活の振り返り
11 月 24 日	生活の振り返り　　カイロの使い方、大掃除について
3 月 26 日	生活の振り返り　　来年度の目標、来年度の議長決め

資料４　　行事報告

①静岡県児童養護施設協議会行事

年月日	行　事　内　容	参加児童数	引率職員数
5 月	第 39 回静岡県児童文化奨励絵画展(表彰式なし)	1	0

②施設内行事

年月日	行　事　内　容	参加児童数	引率職員数
8 月　1 日	映画鑑賞	2	1
10 月 31 日	奇石博物館	1	1

資料５　　地域活動への参加状況について

日　付	内　　容	参加児童数	職員数
6 月 13 日	あおばぁらんど参加	1	1
11 月 20 日	子ども会及び PTA 役員選出		1
12 月　5 日	子ども会クリスマスプレゼント受け取り	1	1
12 月　5 日	地域防災訓練　安否確認	4	1
1 月 10 日	どんど焼き	2	1
2 月　5 日	子ども会世話人引継ぎ		1
3 月　5 日	子ども会新 1 年生顔合わせ		1
3 月 12 日	防災倉庫整理 確認		1
3 月 26 日	茶ノ木平町 3 組 会合		1

資料６　　家庭支援、児童相談所、学校との連携、心理的対応等について

日　付	対象児童	内　　容
4 月 19 日	高 3 女子 A	富士児相　担当児童福祉司、担当児童心理司と面接
4 月 19 日	中 3 女子 M	実父と面会　静岡市児相　担当児童福祉司、担当児童心理司同席
4 月 26 日	小 3 女子 A	東部児相　担当児童福祉司と面接
4 月 28 日	中 3 女子 M	富士児相　担当児童心理司と面接
5 月 20 日	中 3 女子 M	実父と面会　静岡市児相　担当児童福祉司、担当児童心理司同席
5 月 24 日	小 3 女子 A	東部児相　担当児童福祉司と面接
6 月　4 日	高 3 女子 A	富士児相　担当児童福祉司、 班長とステップルーム生活における面接及び指導
6 月 14 日	小 3 女子 A	東部児相　担当児童福祉司と面接
6 月 28 日	中 3 女子 M	支援会議　富士児相　担当児童福祉司、 富士市障害福祉課主事、本園児童指導員同席
7 月　5 日	高 3 女子 A	富士児相　担当児童心理司と面接
7 月 12 日	中 3 女子 M	実母宅家庭訪問　富士児相　担当児童福祉司、本園児童指導員同席
7 月 28 日	中 3 女子 M	富士児相　担当児童福祉司、担当児童心理司と面接
7 月 30 日	小 3 女子 A	東部児相　担当児童福祉司、担当児童心理司同席
8 月　2 日	中 3 女子 M	実母、兄と面会　富士児相　担当児童福祉司同席
8 月　3 日	高 3 女子 A	富士児相　担当児童福祉司、担当児童心理司と面接
8 月　5 日	中 3 女子 M	実父と電話交流　静岡市児相　担当児童福祉司同席
8 月 13 日	中 3 女子 M	実父と外出　静岡市児相　担当児童福祉司、担当児童心理司同席
8 月 16 日	中 3 女子 M	実母、兄と面会　富士児相　担当児童福祉司同席
9 月　6 日	高 3 女子 A	ケース会議　富士児相　課長、担当児童福祉司、園長同席
9 月 28 日	高 3 女子 A	富士児相　担当児童福祉司と面接
10 月　6 日	高 3 女子 A	病状説明　富士児相　班長、担当児童福祉司、園長同席
10 月　8 日	小 3 女子 A	東部児相　担当児童福祉司と面接
10 月 27 日	中 3 女子 M	富士児相　担当児童心理司と面接
10 月 28 日	中 3 女子 M	実母、兄と面会→兄妹交流　富士児相　担当児童福祉司同席
11 月 16 日	高 3 女子 A	ケース会議　富士児相　担当児童福祉司、園長同席
11 月 17 日	高 3 女子 A	富士児相　担当児童心理司と面接
11 月 22 日	小 3 女子 A	東部児相　担当児童福祉司、担当児童心理司と面接
11 月 30 日	中 3 女子 M	実父と面会　静岡市児相　担当児童福祉司、担当児童心理司同席
12 月 17 日	中 3 女子 M	中学校三者面談に実父参加　静岡市児相　担当児童福祉司同席
12 月 23 日	中 3 女子 M	実母、兄と面会　富士児相　担当児童福祉司同席
12 月 27 日	中 3 女子 M	実父と外出　静岡市児相　担当児童福祉司、担当児童心理司同席

1月 6日	高3女子A	富士児相　担当児童心理司と面接
1月 17日	小3女子A	東部児相　担当児童福祉司と面接
1月 20日	中3女子M	実母、兄と面会　富士児相　担当児童福祉司同席
1月 26日	中3女子M	実父と電話交流　静岡市児相　担当児童福祉司同席
2月 9日	高3女子A	富士児相　担当児童心理司と面接
2月 10日	中3女子M	兄妹交流　富士児相　担当児童福祉司、本園児童指導員同席
3月 1日	中3女子M	実父と電話交流　静岡市児相　担当児童福祉司同席
3月 4日	小3女子A	東部児相　担当児童福祉司と面接
3月 7日	高3女子A	富士児相　担当児童福祉司、班長と面接
3月 10日	中3女子M	実母、兄と面会　富士児相　担当児童福祉司同席
3月 11日	高3女子A	医療相談　富士児相　担当児童福祉司、班長同席
3月 28日	中3女子M	実父と外出　静岡市児相　担当児童福祉司同席
3月 28日	中3女子M	富士児相　担当児童心理司と面接

資料7　　児童の健康管理

① 受診状況（治療・検査）

月別 / 医療機関	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
朝岡眼科	1												1
コスモ歯科										1			1
里和耳鼻咽喉科		1			1	1							3
いいずみﾌｧﾐﾘｰｸﾘﾆｯｸ				1	1								2
米本皮膚科									3	2		1	6
片岡歯科												1	1
長谷川産婦人科		1	1		1		1	1	1			1	7
土屋医院						1			1	1	1	1	5
ロゼにじいろｸﾘﾆｯｸ					1	4	1	2	2	1	2	1	14
合計	1	2	1	1	4	6	2	3	7	5	3	5	40

② 健康診断

11月10日　全児童 実施。（土屋医院）

③ 予防接種

インフルエンザ予防接種	1回目4名　2回目1名
新型コロナウイルスワクチン	1回目3名　2回目3名
おたふくかぜワクチン	1名

資料８　　防災訓練報告

項目 / 年月日	訓練内容						参加人数	
	避難訓練	夜間	火災	地震	消火訓練	自主点検	児童	職員
4月4日	○			○	○	○	4	1
5月3日	○		○		○	○	3	1
6月6日	○		○		○	○	3	1
7月4日	○			○	○	○	3	1
8月3日	○	○		○	○	○	4	1
9月5日	○				○	○	4	1
10月3日	○		○		○	○	4	1
11月7日	○			○	○	○	4	1
12月5日	○				○	○	4	1
1月9日	○		○		○	○	4	1
2月6日	○			○	○	○	4	1
3月6日	○		○		○	○	4	1

資料９　　実習生の受け入れ状況

常葉大学保育学部　1名	期間：1月10日～1月20日　　10日

資料１０　　事故・ヒヤリハット報告

事故報告1件

日　付	児　童	内　容
1月5日	職員	対向車を避ける際に公用車を傷つける。

資料１１　　苦情・要望報告

※R3年度はありませんでした。

恩賜記念みどり園

（定員 30 名：暫定定員 23 名）

主要事業報告

新型コロナウィルスによる感染症の施設内感染が増えており、全国でも施設内でのクラスターが発生した乳児院が増え始めており、関東ブロック内の調査でも 57 施設中 32 施設にコロナウィルス陽性者が出ているという報告があります。

乳児院の対象児はマスクの着用等の自衛ができない乳幼児ばかりですので、入所児に陽性者を出さないことが一番の予防策となりますが、入所児の保護者の職場でクラスターが発生したり、職員の親族が通う幼稚園や学校で陽性者が出たりと、コロナウィルスが身近に迫っていることを感じずにいられない状況がありました。当園でも、手洗い・うがい手指消毒、出勤時の体温測定、外出時のマスク着用、感染流行地に行かなければならなかった時の待機期間や、抗原検査の実施などを徹底していたのですが、令和 4 年 3 月 13 日に職員に簡易抗原検査で陽性反応が出たという報告を受け、勤務していたユニットの隔離を開始しましたが、入所児童にも感染が広がってしまいました。幸い重傷者が出ずに、3 週間後の 4 月 2 日に隔離等の感染対策を解除することができましたが、4 月 8 日に別ユニットから陽性児童が出て、再び感染隔離対策をすることになりました。陽性者は合わせて 21 名（児童 13 名、職員 9 名）いずれも重症化することなく在宅療養で治癒しております。同じ事を繰り返さないように、施設内の感染抑止のため職員に協力を求めております。

昨年 12 月 20 日に静岡県健康福祉部こども家庭課による、家庭的養護推進計画の進捗状況に関するヒヤリング時に、当園は平成 24 年以来、暫定定員が継続していたので、定員を 25 名に減らして運営を行うための相談を行い、県の了解を得ましたので、定員 25 名への変更申請を行いました。

令和 3 年度は暫定定員が 23 名に修正されて事業を実施しました。定員が 3 名減りましたので措置費が減額されました。また年度当初に 3 歳以上の年少児が 5 名在籍していました。発達の遅れや、障碍があり措置変更先が見つからない子や、措置変更への保護者の同意が難しい子ども達でしたので、より子ども達の発達状況に即した養育環境の提供を目指し、4 歳以上の 2 名を原田幼稚園の年少組と年中組に通園させました。常勤の公認心理師を心理療法担当職員として配置し、プレイセラピーによる発達の遅れを取り戻すための支援や、小規模ケアの実践を通して、より多くの社会体験させるための手厚い養育環境の構築をすることと、3 歳以上の年少児単価という、措置費が大幅に減額される状況や、人件費の増大という相反する課題を抱えながらの運営を強いられました。

令和 3 年度はコロナウィルス感染症対策の実施をしながら、緊急の保護依

頼を断ることなく受け入れましたが、年間の在籍児童数は 6,920 名、年間の充足率は定員換算で 63%、暫定定員 23 名では 82%、前年と比べて 22 名の減少でした。新規入所児童は前年より 2 名減の 5 名、一時保護児童は 2 名減の 9 名でしたが、延べ日数 665 日で、前年の 329 日より 336 日増加しています。3 月末日の在籍児数は措置児童 18 名、一時保護児童 3 名の 21 名でした。

退所児童は 4 名で、2 名が家庭復帰し、1 名が児童養護施設等への措置変更、残り 1 名は特別養子縁組み予定の里親委託でした。

富士市からのショートステイの依頼は、8 件でした。内訳は、0 歳の乳児 8 名の委託がありました。ショートステイの受け入れ延べ日数は 42 日となります。

職員の人材確保については、人材確保のため法人契約した「マイナビ」を通じたオンライン就職フェアや、静岡県人材センター主催の「就職フェア」にも積極的に参加しましたが、残念ながら予定数の確保には繋がりませんでした。

また、コロナウィルス感染症に関する職員養成の園内研修・勉強会を看護師等が積極的に開催してくれたので、18 企画の研修会・勉強会が開催することができました。

最後になりますが、1 月下旬より施設長の身体状況悪化による病院からのリモートワークとなりましたが、副施設長以下の職員が協力して緊急を要するコロナ対策や入所児のための接遇に尽力してくれたので大きな問題もなく事業が遂行できましたことをご報告すると共に、職員一同に感謝します。

重要事項報告

1. 静岡県指導監査について

令和 3 年 7 月 15 日に静岡県指導監査を受けました。

監査では改善指導事項はありませんでしたが、助言指導事項として、下記の 2 点の助言をいただきましたので、改善するように努力しました。

助言指導事項

ア　離乳食のために献立の食材に変更を加えて提供した場合は、変更内容を記録に残すこと。

イ　平成 11 年度に行った耐震補強工事が最新の耐震基準に基づくと一部基準を下回る試算結果が出ているので、改善に向けて計画を作成すること。併せて改善が実現されるまでの間は児童の安全を図るため、必要な措置を講ずること。

改善状況

ア　離乳食のために献立や食材変更をした場合には「調理指示書」の備考欄に変更内容を児童毎に記載すること令和3年8月1日より実施しています。

イ　築43年経過した老朽園舎に耐震補強を実施することは昨年相談した建築士から「薦められない」と助言を受けていますので、乳幼児総合支援センターの運営に向けた本体施設の改築について早急に計画を進めていきたいと思います。

2.入所定員の変更について

当園は昭和50年の改築時に定員30名の施設として建設されたが、前年に開所した施設があったので、30名の認可が得られず、定員20名の施設として運営されてきました。

児童虐待防止法の制定後県内の虐待等による緊急保護が増えて、県内乳児院の入所定員を上回ってしまったことから、静岡県の児童相談所から依頼を受けて、平成14年に25名、さらに平成16年に30名に5名ずつ定員を増やした経緯があります。

しかし、平成14年から令和3年度迄の20年間に暫定定員でなかったのは9年しかありませんでした。定員30名という設定であると、30名分の職員配置人数の確保をしておく必要がありますが、暫定定員では人件費が減らされますので不足分は施設の持ち出しとなりますので、静岡県との協議をした結果、令和4年4月1日より定員を25名とすることになりました。

3.新型コロナウィルス感染症の施設内感染について

令和4年3月13日（日）、夜勤明けで発熱した職員から簡易抗原検査で陽性判定が出たという報告を受け、すぐに通院の指示をすると共に、施設内で勤務した高齢児ユニットと、乳児ユニットの交流を行わないように、施設内隔離を行いました。翌3月14日(月)発熱していた児童1名を通院させたところ、陽性の診断を受けたため、施設内の生活居室を閉鎖、オゾン燻蒸を実施して、施設内を感染区域・準備区域・清潔区域にわけて、ユニット間の交流を一切禁止し、感染児が所属していたユニットの児童を汚染区域での生活に切り替え、勤務職員の固定等の施設内感染マニュアルに沿った感染対策を実施しました。3月22日に施設内で感染した最後の児童の解熱から10日間の感染隔離対策を実施し、令和4年4月2日(土)隔離解除としましたが、令和4年4月8日(金)に　翌3月15日(火)、乳児ユニットで発熱した児童を通院させると、陽性と診断されたため、再度の感染対策を令和4年4月29日迄実施しました。

子ども達の症状はいずれも軽く、鼻水と 38 度台の発熱が 1 日はありますが、その後解熱すると症状が消失し、重症化することはありませんでしたが、職員は発熱と､喉の痛みが続く職員が多くいました。

感染対策機関と陽性者数
①令和 4 年 3 月 13 日～4 月　2 日：入所児童 5 名・職員 4 名　計　9 名
②令和 4 年 4 月　8 日～4 月 29 日：入所児童 7 名・職員 5 名　計 12 名
※②は令和 4 年 4 月 15 日にクラスター認定されました。

4.事故報告について

令和 3 度は一般事故が 77 件と、児童間の事故が 396 件の 473 件の事故の報告がありました。
通院した児童は 6 名でした。通院した児童も軽傷か異常ないと診断されておりますが、より一層の注意を払いたいと思います。

①一般事故　事故総数 77 件（対象児童 77 名）　通院児童 6 名

No.	事故内容	件数	通院数	事故・通院状況･診断等
1	はさみこみ等	9	1	公用車のドアに指を挟む。サッシの隙間に足が挟まる。
2	転　落	8	3	ベッドからの転落3件（通院）3件とも異常所見なし
3	衝突･転倒	46	2	扉に体当たりをして唇を切る(通院)・前歯をぶつける（通院）
4	創傷･裂傷	1	0	園庭で遊んでいる時に受傷、原因不明の擦り傷や痕等
5	誤飲・誤食	3	0	鳥の糞を食べた？(1件)・乳児が折り紙を食べていた(2件)
6	誤配食	4	0	未投与の食材を与えてしまう（2件）･食事の取り違え(2名×1件)
7	誤投薬	2	0	軟膏を間違える（1件）・当薬児の名前を間違える(1件
8	不投薬	1	0	投薬未実施1件
9	その他	3	0	割れた玩具片を口に含んでいる。感染対策区域への侵入等
合　計		77	6	

②児童間の事故　　事故総数 396 件　通院児童 0 名

No.	事故内容	全件数	通院数	受傷状況等
1	噛みつき	303	0	相手、状況不明の噛み傷多数
2	ひっかき（創傷）･つねる	63	0	相手、状況不明のひっかき傷多数
3	自傷	4	0	ヘッドバンギングで傷、カップに吸い付き内出血
3	その他	26	0	状況不明の内出血・痣・擦り傷等。
合計		396	0	

5.苦情・要望について

令和3年度は苦情3件要望を4件受けました。

苦情対応したものは職員のマナーや態度・資質に関するもの2件と、子どもに対する不適切な対応1件でした。要望については保護者から面会について3件と、保護者へ連絡体制について要望を受け対応をしました。

区分	内容	件数	
苦情対応	職員の資質・マナーについて	2	3
	入所児への対応について	1	
要望	コロナ禍の面会について	3	4
	保護者への連絡体制について	1	

※詳細については附属明細書をご覧下さい。

6.「慰労金」の支給について

昨年度、高齢者施設や障碍者施設に従事する職員や、清掃・調理委託派遣者や取引業者等に国が慰労金を支給しましたが、児童福祉関連施設への支給はありませんでした。今年に入り静岡県が下記の条件を満たす児童福祉関連施設に従事する職員や、清掃等の派遣職員を対象に非課税の慰労金を支給してくれることになり、法人単位で申請を行い支給しました。

支 給 日：令和3年8月20日(金)

支給要件：令和2年10月1日～令和3年3月31日の期間
10日以上子ども達と生活空間を共にした業務に従事した者
支給金額：50,000円（非課税）

7.社会的養護入所者環境改善事業費補助金の申請について

静岡県より昨年に引き続き入所児童の生活向上のための補助金交付についての募集があったので、コロナウィルスの感染拡大防止を図る事業として、「多床室を個室化する備品」及び「換気設備備品」について以下の備品購入の申請を行いました。

(1)多床室を個室化する備品：基準額　1,000,000円　申請額972,620円

○多床室を個室化する備品内訳

購入備品名	数量	購入金額
乳児用木製椅子・テーブル等	15	279,400
乳幼児突然死防止用無体動センサー	5	550,000
血中酸素飽和度測定装置及び関連備品セット	1	143,220
合計		972,620

(2)換気設備備品：基準額 500,000 円　　申請額 456,582 円

○換気設備　備品内訳

購入備品名	数量	購入金額
オゾン空気清浄機　IHI製EZ-100	1	349,800
二酸化炭素濃度測定器（Co2モニター）	5	64,900
乾燥除湿機	1	41,882
合計		456,582

8.給湯設備の漏水による緊急配管工事について

12 月に入り 400 リットルの灯油タンク 2 日で空になることが続き、灯油の配管の破損による漏油を疑い調査を実施しましたが、漏油ではなく給湯配管からのお湯の漏水が原因で、給湯ボイラーが 24 時間フル稼働した結果灯油タンクが空になっていることが判明しましたが、漏湯箇所が露出していないため、場所の特定ができず、給湯箇所を限定した外部配管と、電気温水器による復旧工事を緊急に行うことにしました。しかし、年末年始という時期のため、必要な資材や人員等の調達に困難が生じ、完全復旧までに 1 ヶ月半の時間を要しました。その間は給湯時間を 13 時から 18 時迄に限定して入浴等の対応を行いましたが、燃料費の高騰している時期でもあり、1 日あたり 8,000 円程度の灯油代が必要となりました。

○給湯復旧箇所

厨房・各浴室・オムツ交換室・母子生活室・2 階食堂・診察室・観察室

※診察室・観察室については電気温水器による給湯となる。

×給湯不可箇所

各手洗い(各食堂・各プレイルーム・各居室)・事務所給湯室

工事金額　総額 5,534,100 円

外部配管・電気温水器設置工事　5,390,000 円

単相 200 ボルト配線敷設工事　144,100 円

9.社会的養護入所者環境改善事業補助金の交付決定について

新型コロナウィルス感染拡大防止対策として、かかりまし経費の支出が認められたため、職員が購入した衛生用品等の必要な備品購入に対しての補助金の交付が決定したので、職員に支給しました。

かかりまし経費交付決定額　170,000 円

10.社会的養護従事者環境改善補助金の支給について

新型コロナウィルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線において働く社会的養護を担う施設及び事業所に従事する者の処遇の改善のため、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、令和 4 年 2 月から収入を月額 9,000 円引き上げるための措置を実施することを目的とする補助金の交付が行われたため、令和 4 年 2 月より施設長を除く職員に月額 9,000 円相当の賃金加算を行うこととした。

支給開始：令和 4 年 2 月支給分の給与より加算

支給金額：月額 9,000 円（施設長を除く常勤職員）

※非常勤職員については月間の勤務時間を考慮して支給

11.社会的養護処遇改善費の支給について

社会的養護処遇改善加算が本年度も支給されることになりました。本年度分の支給金額を一時金として全職員を対象に支給しました。

支　給　日：令和 4 年 3 月 31 日(木)

支給総額：6,316,000 円（概算金額）

（内訳）民間給与改善費の 3%：4,002,000 円

処遇改善加算Ⅰ～Ⅴ：2,314,000 円

12. 固定資産の取得･廃棄について

社会的養護入所者環境改善事業補助金の交付や、機能強化推進費支給等に関して以下の固定資産物品の取得を行いましたのでご報告致します。

(1)固定資産の取得

①IHI 製オゾン空気清浄機 EZ-100　1 台　349,800 円

②乳幼児突然死防止用無体動センサー　シエスタ BeBe　5 台

＠110,000×5 台＝550,000 円

③電気温水器（容量 25ℓ ）1 台　250,000 円

④電気温水器（容量 12ℓ ）1 台　230,000 円

(2)固定資産の廃棄

なし

基本目標の達成状況

基本目標 1

乳幼児の愛着形成を重視し、よりよい関係作りを心掛けた心身の発達支援を行います。また、より家庭的な養育環境構築のための施策を実施します。

(1) 小規模グループケアの実施について　　（基本目標 1 実施目標①）

2 歳～5 歳迄の 6 名を対象に、園舎 2 階で小規模グループケアを実施しました。その他の子ども達についても分散保育を導入するなど、養育形態の小規模化に取り組みました。

(2) 小児精神科医師による診察とビデオカンファレンス

（基本目標 1 実施目標②）

コロナウィルス感染症の感染拡大でなかなか開催できなかった小児精神科医師によるビデオカンファレンスが 2 年ぶりに開催することが出来ました。措置変更場所が見つからない高齢児が増えている現状で、子どもたちの気になる行動についてビデオによる共有と、対処方法についてのアドバイスを受けることができました。

開催日時：令和 3 年 12 月 26 日（日）9 時 30 分～15 時 30 分

講　　師：小児精神科医師 山崎知克先生

（浜松市こどもの心の診療所 所長）

(3)専門家によるオンライン研修会

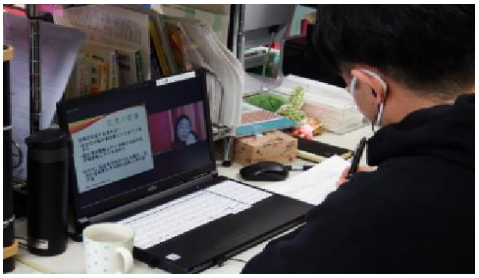
昨年度から開催している専門家によるオンライン研修会を本年度も主催し、県内の乳児院の処遇向上のために静岡県乳児院協議会に声かけを行い、参加者を募り開催いたしました。

「乳幼児と遊ぶ」オンライン研修会

開催日時：令和 4 年 2 月 15 日（火）10 時 30 分～15 時 30 分

講　　師：大野木嗣子先生　（臨床心理学博士）

乳児と遊びオンライン研修会（R4.2.15）



(4) 発達の遅れた乳幼児の支援の充実に関する取組について

（基本目標１実施目標③）

①リトミック

平成 24 年から継続しているリトミックも 9 年目を迎えました。緊急事態宣言の発出期間中止しましたが、1 回 75 分、幼児のグループを対象に実施しました。

開催場所：みどり園 1 階プレイルーム

開催期日と参加内訳

回数	開　催　日	開催時間	子ども人数	職員人数
1	令和 3 年　4 月 14 日(水)	9:30～10:45	16	8
2	令和 3 年　4 月 28 日(水)	9:30～10:45	12	8
3	令和 3 年　5 月 12 日(水)	9:30～10:45	13	6
4	令和 3 年　5 月 26 日(水)	9:30～10:45	14	8
5	令和 3 年　6 月　9 日(水)	9:30～10:45	14	7
6	令和 3 年　6 月 23 日(水)	9:30～10:45	14	9
7	令和 3 年　7 月 28 日(水)	9:30～10:45	13	6
8	令和 3 年　8 月　4 日(水)	9:30～10:45	15	7
9	令和 3 年　9 月　8 日(水)	9:30～10:45	18	9
10	令和 3 年　9 月 22 日(月)	9:30～10:45	14	7
11	令和 3 年 10 月　6 日(水)	9:30～10:45	17	11
12	令和 3 年 10 月 27 日(水)	9:30～10:45	16	12
13	令和 3 年 11 月 17 日(水)	9:30～10:45	15	6
14	令和 3 年 11 月 24 日(水)	9:30～10:45	16	12
15	令和 3 年 12 月　8 日(水)	9:30～10:45	16	10
16	令和 3 年 12 月 22 日(水)	9:30～10:45	16	8
17	令和 4 年　1 月 12 日(水)	9:30～10:45	15	7
18	令和 4 年　1 月 19 日(水)	9:30～10:45	18	10
19	令和 4 年　2 月　2 日(水)	9:30～10:45	10	6
20	令和 4 年　2 月 23 日(水)	9:30～10:45	20	10
21	令和 4 年　3 月　2 日(水)	9:30～10:45	19	8
合　　計　（延人数）			311	175

②プレイセラピー（心理療法・発達支援等）

平成 27 年から園独自の事業となったプレイセラピーを、常勤の心理療法担当職員（公認心理師）を配置して発達に課題を持つ 9 名の幼児を対象に、自己表現がスムーズにできるように、より良い関係作りを目標に週 1 回のセラピーを実施しました。

また、保護者との関係作りを目的とするオンライン面会を通じての保護者支援を実施しました。

対象児童：8 名実施時間 20 分：延回数　187 回
オンライン面会による保護者支援：4 家族：延回数 8 回

(5)職員の養成に関する取組について　（基本目標 1 実施目標④）

コロナウィルス感染症の影響で、期間中に視聴するオンライン研修が増えました。例年では 1~2 名しか参加できない業界のブロックや全国研修会に多くの職員を参加させることができました。外部研修 28 企画に延 72 名の職員、法人内研修には 9 企画に 29 名、施設独自研修や勉　強会については 18 の企画を開催し、155 名の職員が参加して自己研鑽に努めました。

	研　　修	企画数	参加人数
1	業界・関連研修会	10 回	24 名
2	その他の研修会	3 回	8 名
3	県内研修会	15 回	延　40 名
4	法人内研修会・講習会	9 回	延　29 名
5	施設内研修会・勉強会	18 回	延 155 名

（詳細は別添資料参照）

(6)「わらべ唄を使った遊び」と小道具の使い方　（基本目標１実施目標⑤）

富士市の公立保育園の退職職員の方を講師に招き、「わらべ唄」を使った遊びの展開方法や、手遊び等に使用する小道具の使用方法を職員に学ばせるための研修を児童養育中に同時開催しました。

講　　師：　田畑静代 氏　　畔高京子 氏

開催場所：みどり園１階乳児室・プレイルーム

開催期日と参加内訳

回数	開　催　日	開催時間	子ども人数	職員人数
1	令和３年５月 24 日(月)	9:30～10:45	16	10
2	令和３年６月 21 日(月)	9:30～10:45	15	9
3	令和３年７月 20 日(火)	9:30～10:45	15	8
4	令和３年 10 月 18 日(月)	9:30～10:45	18	9
5	令和３年 11 月 15 日(月)	9:30～10:45	16	10
合　計（延人数）			80	46

(6) 園外保育の実施について　（基本目標１　実施目標⑤）

入所児と担当養育者の関係を深めることを目的とした日帰りの社会体験を令和３年度もコロナウィルス対策を考慮して、近場で、パン屋さん等でパンやお惣菜を買って公園等で食べる事や、個室を確保できる店での外食等の外出行事を 10 回計画し、61 名の児童が参加しました。

(6)-①園外保育の実績

年 月 日	行先･目的等	児童数	職員数	備　考
令和３年 ４月 13 日	富士総合運動公園	4	4	公用車使用
令和３年 ４月 21 日	富士総合運動公園	8	9	公用車使用
令和３年 ５月 21 日	岳南電車に乗る	7	7	公用車・岳南電車
令和３年 ６月 16 日	富士サファリパーク	6	6	公用車使用
令和３年 ７月 20 日	シャトレーゼでおやつ選び	2	2	公用車使用
令和３年 ９月 10 日	中央消防署･富士警察署	4	3	公用車使用
令和３年 ９月 14 日	中央消防署･富士警察署	4	3	公用車使用
令和３年 ９月 28 日	富士サファリパーク	6	6	公用車使用
令和３年 10 月 13 日	大淵公園	4	4	公用車使用
令和４年 ３月 11 日	Pata Pata（個室外食）	16	16	公用車使用
延　べ　人　数		61	60	

富士総合運動公園での園外保育（R3.4.21）

(7)ホームカミングデー　（基本目標１実施目標⑥）

実施目標⑥に乳児院や児童養護施設を利用した子どもたちとの繋がりを継続するために、施設出身者や退職職員を招きホームカミングデーを開催する予定でしたが、コロナウィルス感染症の蔓延により、本年度も開催を中止しました。

開催予定日：令和３年11月３日（水）※中止

予定開催場所：恩賜記念みどり園芝生園庭

基本目標２

改正児童虐待防止の趣旨を理解し、乳幼児の権利擁護について職員に徹底します。
また、令和元年に実施した福祉ｻｰﾋﾞｽ第三者評価の結果を基に充実した支援を心掛けます。

(1)全国乳児福祉協議会倫理綱領等の活用等による養育の振り返り等
（基本目標２　実施目標①・②）

全国乳児福祉協議会が作成した「倫理綱領」や「より適切な関わりをするためのチェックリスト」を会議開始前に全員で読みながら確認を行い職員各自の行動を振り返る機会を設け、子ども達の権利擁護に努めました。月例会やケース会議時に、全国の乳児院や児童養護施設で起こっている施設内虐待や、養育不全状況についての事例を提示しながら、園内の養育について検証する時間を設けました。

また、４月のケース会議時に施設長が改正児童虐待防止法に関する資料を配付し、事例を交えて体罰や心理的な虐待等の説明を行い、体罰や心理的な虐待の禁止の徹底を図りました。

(2)自己評価･第三者委員会における、令和 3 年度の自己評価等の実施

（基本目標 2 実施目標③・⑤）

令和 3 年度も全職員を対象とした自己評価を実施し自己評価･第三者評価委員会のメンバーが集計を行った結果を、ユニット会議時に職員による状況の確認と、情報共有による見識の修正を行うと共に、前年度に作成した、短期目標や中長期目標の達成状況を確認し、令和 4 年度に向けた短期目標や中長期目標を作成しました。

自己評価･第三者委員会開催回数 ：15 回(全体会＋ユニット会議共催)

(3)リスクマネジメント委員会の開催について

（基本目標 2　実施目標④）

代表者会議のメンバーで事故報告の検証や、インシデントレポートを確認し、事故防止への改善点について検討し、養育上や運営上での改善をはかり、ケース会議や月例会時に注意喚起や改善点の報告を行い、職員への徹底を図りました。

リスクマネジメント委員会開催回数：12 回

基本目標３

感染症発症時の対応及び、夜勤帯の緊急事態等への対応の強化を図ります。

(1)コロナウィルス感染症に関する事業継続計画（BCP）の見直しを行いました。

（基本目標 3　実施目標①）

昨年作成したコロナウィルス感染症に関する事業継続計画の見直しをしました。実際にコロナウィルス感染症の施設内感染を経験して、汚染区･準備区･非汚染区の設定や、最低の勤務者数、業務規模の縮小等について見直しを行いました。この経験を生かし、もう一度早急に事業継続計画の再考を予定しています。

(2)緊急一時保護の受入れや面会、ショートステイ事業の受入れについて関係機関と　協議して対応を図りました。（基本目標 3　実施目標③）

コロナウィルス感染症対策を図るため、各児童相談所に当園の感染症対策について報告し、面会の制限や緊急一時保護や、ショートステイ受け入れ時の家族アセスメントについて協力を求め、受け入れ体制協議しながら対応を図りました。

(3) 心肺蘇生や防護具の着脱等、緊急時の対応訓練を実施しました。

（基本目標 3 実施目標⑤）

入所児童の体調急変時の対応やコロナウィルスの園内感染者発生を想定したゾーニングや、防護服の着脱等に関する勉強会や新任職員への講習

を実施しました。

また、118 人工呼吸機の取り扱いについて取扱業者を講師として研修会と設備点検を実施しました。

118 人工呼吸機取り扱い講習会

開催日時：令和 3 年 12 月 3 日（金）13:30～15:00

基本目標４

求められる乳児院の将来像を考慮し、地域ニーズに応えられるような新規事業や、園舎の建て替えに向けた準備を進めます。

(1)分園型小規模グループケアの実施に向けた取組について

（基本目標 4 実施目標①）

分園型小規模施設の建設計画を見直すこととなりました。本体施設の改築が必要となったので、本体施設内の完全小規模化グループ化と、在宅支援を含めた乳幼児総合支援センターの建設計画に修正することとしました。具体的な計画は令和 4 年度に持ち越し、令和 5 年度申請、令和 6 年度改築実施の予定です。

園内での小規模グループケアは本年度も実施しており、加算申請も行うことができました。

(2)先駆的施設への視察見学や、最先端の養育設備の情報収集について

（基本目標 4 実施目標②）

新型コロナウィルス感染症対策で、県外や、公共交通機関を使用しての移動を制限していた関係で、先駆的施設への視察見学は実施できませんでした。

(3)地域ニーズに応えるべくショートステイ事業や、赤ちゃん 110 番の継続と、買い物送迎プロジェクトへ職員の派遣を行いました。

（基本目標 3　実施目標③）

富士市からのショートステイの依頼は多くありましたが、一時保護と日程が重なり受入れができずに、実際に受け入れた件数は 8 件でした。内訳は、乳児 8 名の緊急委託を受け入れました。受け入れ延べ日数は 42 日、

対象者は延べ 42 名となります。

赤ちゃん 110 番は通話録音装置をつけた関係や、インターネットの無料相談などの普及からか、相談件数の減少傾向が続いており、年間で 1 件しか相談がありませんでした。

また、買い物送迎プロジェクトには開催回数全 63 回の全てに職員延べ 133 名と、車輌延べ 104 台を派遣しました。

基本目標５

小規模化や機能強化等に対応できる人材の獲得や養成をめざします。

(1)保育を学ぶ大学生アルバイトの雇用について

富士市から他県の大学に進学し保育士を目指している学生を、長期休業時にアルバイト採用し、乳児院への理解を深めて貰いました。令和 4 年度も継続して雇用しています。

(2)人材獲得への取り組み（基本目標５　実施目標②）

静岡県からの依頼による「児童福祉のしごと」の就職相談会や、静岡県社会福祉協議会人材センター主催の就職相談会に参加し、人材確保に努めました。

① 静岡の児童福祉のしごと合同説明会（静岡県主催）
開 催 期 日：令和 4 年 2 月 11 日(木)
開 催 場 所：ツインメッセ
参加職員数：1 名
参　加　者：0 名

② 令和 3 年度冬 SHIZUOKA 福祉の就職相談会
開 催 期 日：令和 4 年 3 月 5 日(月)
開 催 場 所：グランシップ
参加職員数：1 名
見　学　者：5 名　（内 1 名が WEB で施設見学を受ける）

(3)保育士養成校実習生の受入れについて（基本目標５　実施目標②）

未来の後継者を育成するべく保育士養成校の実習生の受入れを行いました。

8 月に入り、他施設で単位取得実習生の陽性者が出て、養成校より単位取得実習の一時中止の申し入れがあり受入れを中止しました。9 月に入り、実習前 2 週間の健康調査と行動観察の他、養成校で実施する実習 2 日前の PCR 検査や、当園看護師による受け入れ直前の抗原検査等のコロナウィルス感染症の対策を行うことで延期していた保育士実習の受け入れを再開しました。感染流行地である首都圏の養成校については

お断りさせていただき、県内の養成校に限定し、4校15名の受け入を行いました。

(4)園内の職員研修の充実について（基本目標５　実施目標②）

職員のスキルアップを目的とした園内研修や、勉強会を18回企画しました。特にコロナウィルス感染症対策や救急蘇生法には力を入れて、直接処遇職員や新任職員は全員受講できるように対応しました。
園内研修会･勉強会への参加人数は延べ155名になりました。

老朽化等による環境整備事業について

１．環境整備事業等

(1)企業主導型保育施設さくら保育園認可に向けた施設改修について

さくら保育園の認可のために建築基準法における「防火上必要な間仕切り壁」、いわゆる令114条区画（教室同士の仕切り壁：3部屋若しくは100㎡毎に区画する間仕切り壁）の設置が必要となりました。スプリンクラー設備があるので免除の対象と思われましたが、富士市の建築指導課の許可が下りなかったため、早急に対応しなければならず、3月初旬に業者への発注を行いましたが、業者の都合で年度を跨いで施工となりました。　　施工期間：令和3年4月12日(月)～4月17日(土)

施工金額：1,595,000円

(2)誘導灯の取替えについて　　（環境整備・緊急対策 ）

令和3年5月10日、法令に基づく消防設備の点検を行いました。その結果2カ所の誘導灯が老朽化しており、取り換えが必要であることが指摘されました。非常時に避難口を指し示す設備のため取替えを実施しました。

施工日：令和3年8月 3日　　施工金額：110,000.-

(3)公用車エアコン不具合によるコンプレッサー等の取替えについて

（環境整備･緊急対策 ）

買い物送迎プロジェクトのスタッフより、デッキバンのエアコンが効かないので、車内が高温になり、利用者が辛そうなので修理して欲しいと依頼を受け、高田自動車に修理を依頼する。エアコンのコンプレッサーが老朽化し作動不良を起こしているためコンデンサーを含めた部品の取替えを行いました。

施工日：令和3年 6月5 日　　施工金額98,000.-

(4)インターネットセキュリティの強化について（環境整備･緊急対策 ）

みどり園のインターネットセキュリティは各パソコンにウイルス対策ソフトをインストールしただけなので非常に脆弱です。園内にフリーの無線 LAN 環境もあり、職員のスマートフォンも接続できる環境であるため､ゲートウェイセキュリティー等を導入してセキュリティの強化を図りました。

NTT 西日本：セキュリティおまかせプランプライム

施 工 日：令和 3 年 10 月 1 日

施工金額：月額 18,700.-(年間 224,400.-：今年度 1/2:112,200.-)

(5)給湯設備の漏水による緊急配管工事について（再掲）

12 月に入り 400 リットルの灯油タンク 2 日で空になることが続き、灯油配管の破損による漏油を調査しましたが漏油ではなく､給湯配管からのお湯の漏水があり、給湯ボイラーが 24 時間フル稼働した結果灯油タンクが空になっていることが判明しました｡しかし漏湯箇所が露出していないため､場所の特定ができず､給湯箇所を限定した外部配管と、電気温水器による復旧工事を緊急に行うことにしました。しかし､年末年始という時期のため、必要な資材や人員等の調達に困難が生じ、完全復旧までに 1 ヶ月半の時間を要しました｡その間は給湯時間を 13 時から 18 時迄に限定して入浴等の対応を行いましたが、燃料費の高騰している時期でもあり、1 日あたり 8,000 円程度の灯油代の支出が必要でした。

○給湯復旧箇所

厨房･各浴室･オムツ交換室･母子生活室･2 階食堂･診察室･観察室

※診察室･観察室については電気温水器による給湯となる。

×給湯不可箇所

各手洗い（各食堂･各プレイルーム･各居室）･事務所給湯室

工事金額　総額 5,534,100 円

外部配管･電気温水器設置工事　　5,390,000 円

単相 200 ボルト配線敷設工事　　144,100 円

資料1　令和3年度入所実績表・入退所理由別表等

(1)令和3年度入所実績表　　暫定定員23名

区分		実人員				初日充足率	一時保護	途中入退所			総計	定員30名充足率	暫定23名充足率
月別	性別	男子	女子	計	初日在籍延べ数	%	延人数	延人数	内訳 男子	内訳 女子		%	%
令和2年	4月	11	6	17	510	57%	7	−19	−19	0	498	55%	72%
	5月	10	6	16	496	53%	0	22	22	0	518	56%	73%
	6月	11	6	17	510	57%	0	0	0	0	510	57%	74%
	7月	11	6	17	527	57%	34	0	0	0	561	60%	79%
	8月	11	6	17	527	57%	2	−5	0	−5	524	56%	73%
	9月	11	5	16	480	53%	77	4	0	4	561	62%	81%
	10月	11	6	17	527	57%	80	0	0	0	607	65%	85%
	11月	11	5	16	480	53%	90	27	0	27	597	66%	87%
	12月	11	6	17	527	57%	93	22	0	22	642	69%	90%
令和3年	1月	11	7	18	558	60%	93	0	0	0	651	70%	91%
	2月	11	7	18	504	60%	84	0	0	0	588	70%	91%
	3月	11	7	18	558	60%	105	0	0	0	663	71%	93%
計		131	73	204	6,204		665	51	3	48	6,920	63%	82%

(注)表中の充足率は、定員 30 名および暫定定員 28 名で計算したものです。

(注)　表中の実人員数は、初日在籍の乳児の数です。。

(注)　表中の途中入退所延人数は、月の途中で入退所した乳児の数、及び一時保護乳児数を含みます。

暫定定員計算(算式 1)

入所児童のみ　6,255 ÷30.4 日÷12 月×1.11＝19.03

一時保護含む　6,920 ÷30.4 日÷12 月×1.11＝21.06

暫定定員計算(算式 5)

入所児童のみ　6,255 ÷30.4 日÷12 月×1.16＝19.89

一時保護含む　6,920 ÷30.4 日÷12 月×1.16＝22.00

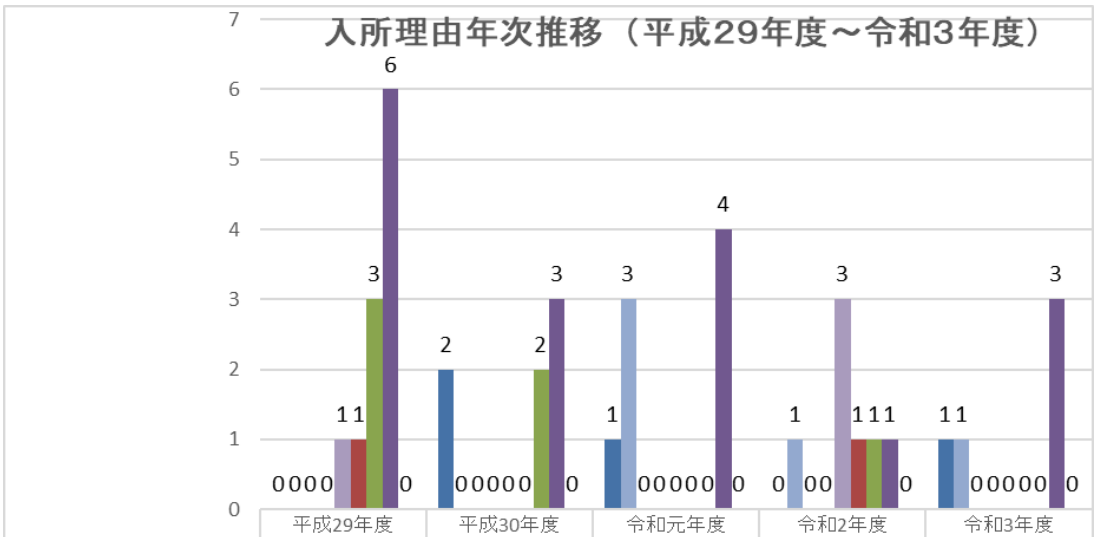
※　計算式は厚生労働省雇用均等・児童家庭局からの通知によるものです。

(2)令和 3 年度　入退所理由別表

入 所 理 由	人数	退 所 理 由	人数
1.養育困難	**2**	**1. 家庭引取**	**2**
(1)保護者の疾病・入院	(1)	**2. 里親・FH 委託**	**1**
(2)未婚の母・婚外子	(1)	**3. 他施設に措置変更**	**1**
(3)両親離婚	(0)	内訳	
(4)母の家出	(0)	(1)児童養護施設	(1)
(5)保護者の養育能力欠如	(0)	(2)障害児施設	(0)
(6)保護者拘禁	(0)	(3)その他の施設	(0)
(7)経済的困窮	(0)		
2.　虐 待	**3**	**4. その他**	0
3. 遺　棄	**0**		
合　計	**5**	**合　計**	**4**
4. 一時保護 （措置入所への切替 2 名含）	**9**	一時保護　解除(退所等) （家庭引取 2 名）	**4**

＊注1. 表中(1)～(2)の人数は入所・退所理由の細目内訳です。＊注2. 入所理由は新規入所の人数

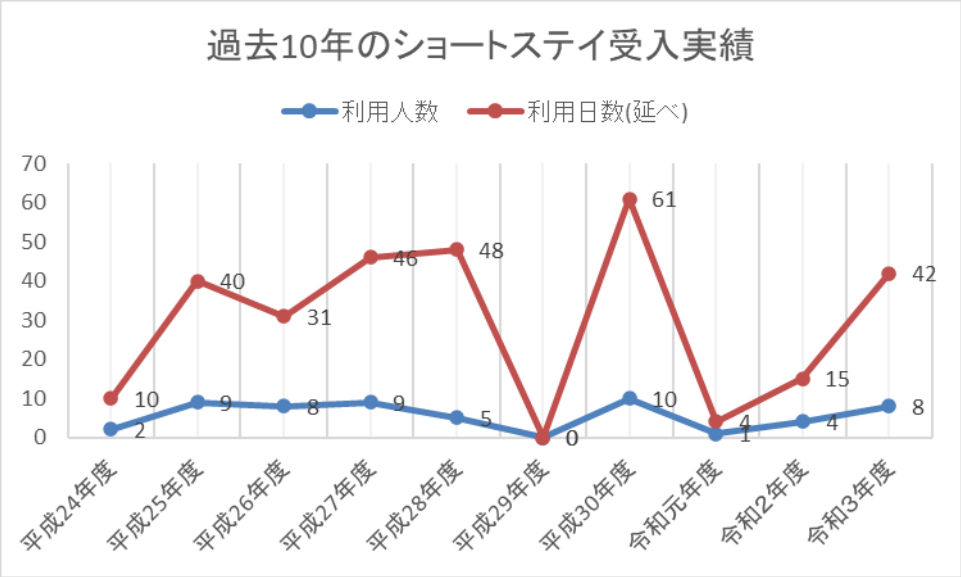
(2)－①　入所理由の年次推移



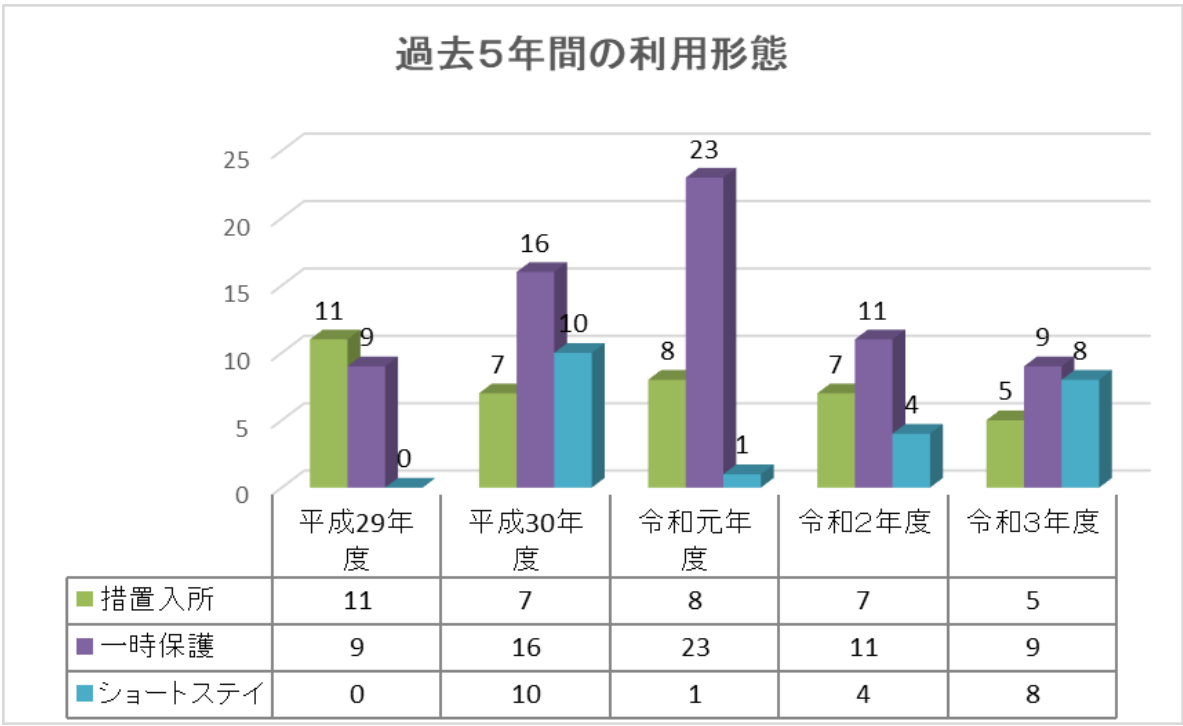
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
保護者の　疾病・入院	0	2	1	0	1
未婚の母・婚外子	0	0	3	1	1
両親の離婚	0	0	0	0	0
母親の家出	0	0	0	0	0
保護者の監護能力欠如	1	0	0	3	0
保護者拘禁	1	0	0	1	0
経済的困窮	3	2	0	1	0
虐　待	6	3	4	1	3
遺　棄	0	0	0	0	0

⑵－② 令和３年度　富士市ショートステイの利用状況

年　齢	利用人数	利用日数
2歳未満	8 人	42 日
2歳以上	0 人	0 日
合　計	0 人	42 日
母　親	0 人	0 日

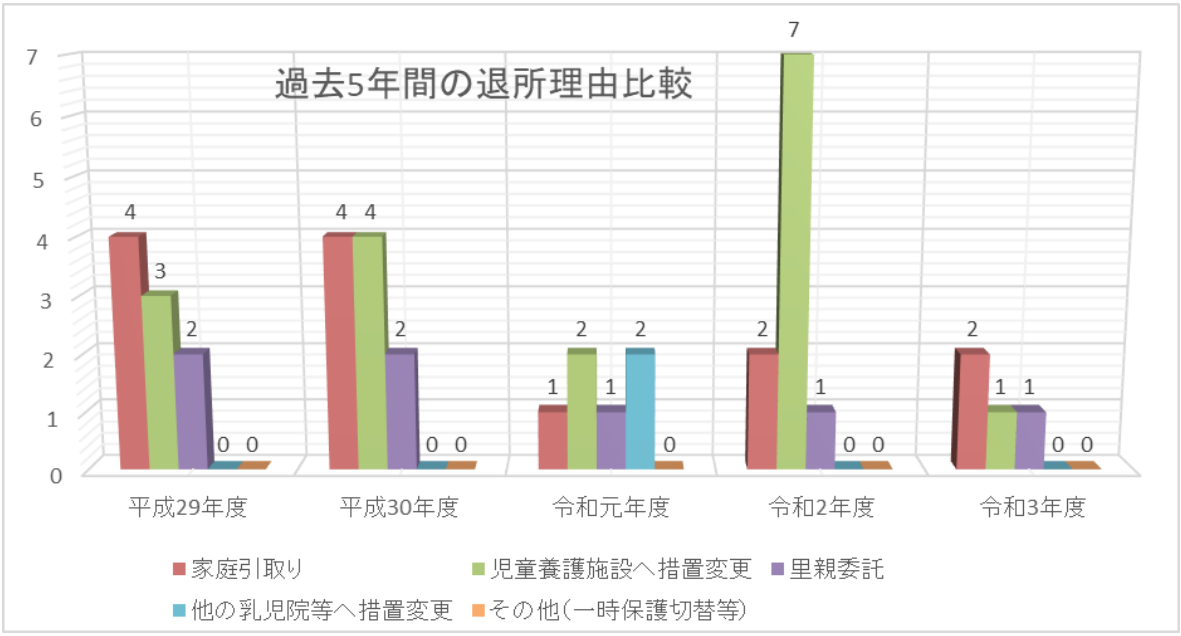


⑵－③ 利用形態の年次比較

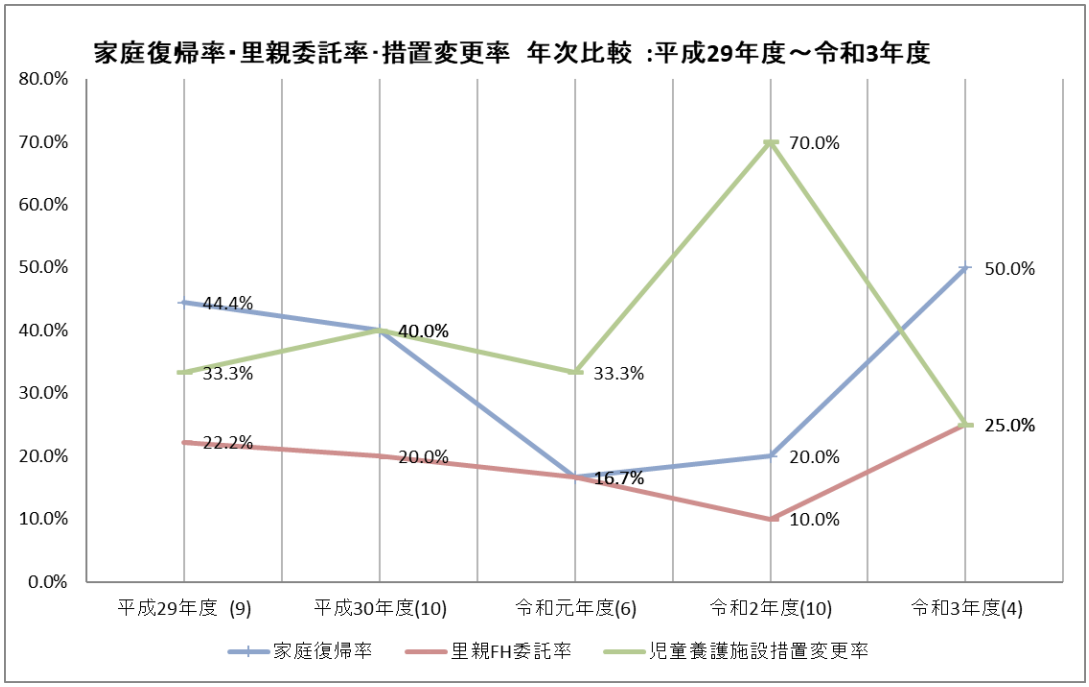


	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
措置入所	11	7	8	7	5
一時保護	9	16	23	11	9
ショートステイ	0	10	1	4	8

(2)－④－1　退所理由年次比較



(2)－④－2　家庭復帰率・里親委託率・児童養護施設への措置変更率の年次比較



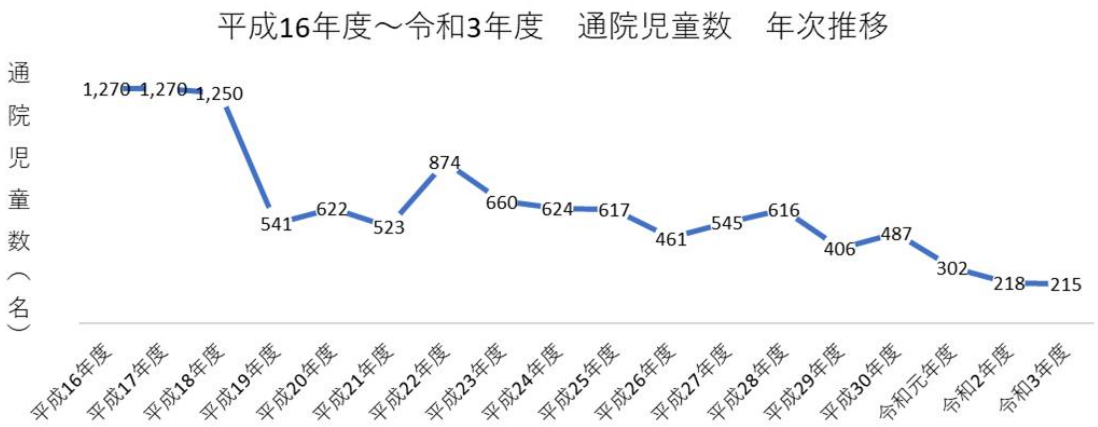
資料2 令和3年度 疾病科別受診状況及び予防接種、健康診断、事故記録等

(1)通院及び予防接種・健康診断の記録　総受診件数 422 件

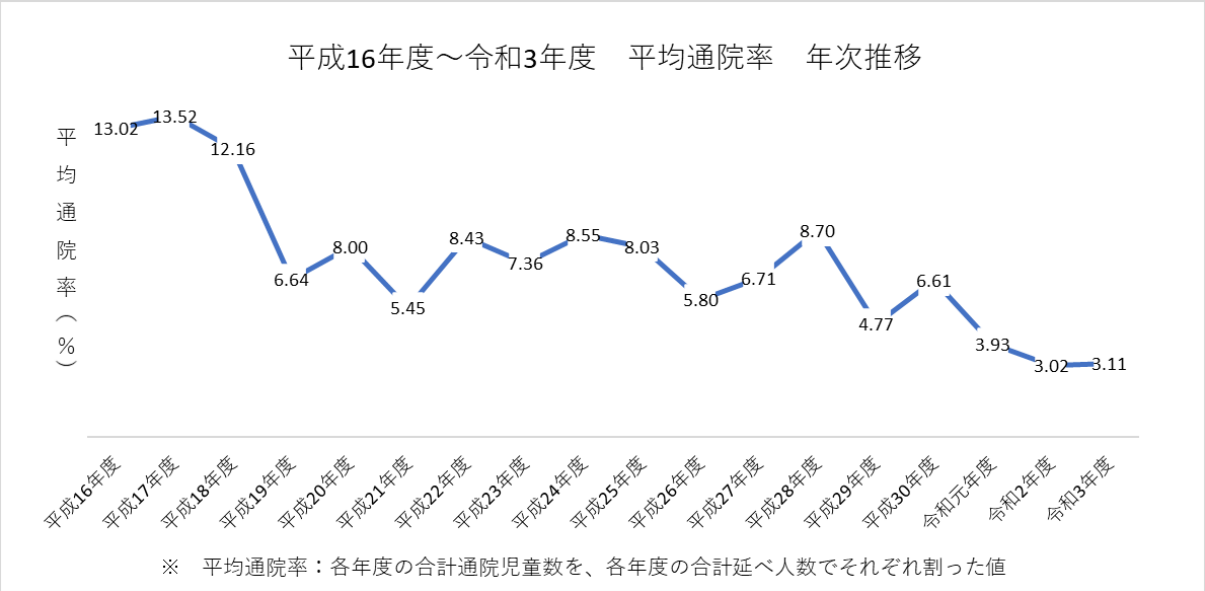
(1)-① 令和3年度月別通院児童数 (年間 215 件)

通 院 数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
いいずみファミリークリニック	9	4	9	3	4	6	10	11	30	4	3	10	103 名
小川内科小児科医院	0	1	0	0	1	1	2	3	4	1	1	2	16 名
かみで耳鼻咽喉科	0	0	0	1	0	1	1	7	0	0	0	0	10 名
米本皮膚科医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
海野皮膚科医院	1	0	1	3	0	0	0	0	1	0	4	5	15 名
片岡歯科医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
小森眼科クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
瀬尾医院	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1 名
土屋医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
神田川クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
富士宮市立病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
つちや耳鼻科医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
谷口医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
静岡済生会病院	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2 名
こどもの心の診療所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
前田整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
小田部産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
朝岡眼科医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
花崎眼科	0	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5 名
中山医院	0	0	0	0	0	2	0	5	0	0	0	0	7 名
フィランセ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1 名
伊東市民病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
すずき耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
おおぶち歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
富士宮市保健センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
里和耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
みやかわ内科外科クリニ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
聖隷富士病院	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2 名
富士市立中央病院	1	0	0	1	0	3	1	2	1	2	2	1	14 名
(脳神経外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(整形外科)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 名
(小児科)	0	0	0	1	0	3	1	2	1	2	0	0	10 名
(皮膚科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(口腔外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2 名
(耳鼻咽喉科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(救急外来)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(形成外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(小児外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(眼科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1 名
県立こども病院	5	2	3	6	0	0	6	0	0	5	2	3	32 名
(救急総合診療科)	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4 名
(脳神経外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(循環器科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	4 名
(整形外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(耳鼻科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(小児外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2 名
(眼科)	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3 名
(新生児科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1 名
(作業療法科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(理学療法科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(リハビリテーション)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(救急外来)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(麻酔科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
(発達小児科)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2 名
(血液腫瘍科)	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2 名
(神経科)	1	1	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	6 名
(遺伝染色体科)	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3 名
(形成外科)	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3 名
(免疫アレルギー科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2 名
富士市立救急医療センター	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	3 名
富士市立こども療育センター	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	4 名
通院数合計①	16	11	14	15	7	14	21	32	38	13	12	22	215 名

(1)-①－(2) 過去17 年間の通院数の比較 （年間通院数の比較）



(1)-①-(3) 過去17 年間の通院率の比較 （年間通院率の比較）



※　平均通院率：各年度の合計通院児童数を、各年度の合計延べ人数でそれぞれ割った値

(1)-② 令和3年度月別健康診断受診児童数 (年間 81 件)

健康診断	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
生後1週間健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
1－2ヶ月健診	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1 名
3－4ヶ月健診	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	3 名
6－10ヶ月健診	0	1	3	0	0	0	0	0	1	0	0	1	6 名
1歳－1歳半健診	1	0	0	2	3	0	0	0	1	0	1	0	8 名
2歳－3歳児健診	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1 名
定期健診・歯科検診	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	19	19	54 名
入所時健診	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3 名
退所時健診(嘱託医)	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	5 名
健康診断合計②	3	1	3	2	3	18	1	2	2	1	21	24	81 名

(1)-③ 令和3年度月別予防接種 児童数 (年間 126 件)

予防接種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
BCG	2	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	5 名
ポリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
MRワクチン	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	5 名
ヒブワクチン	0	2	1	4	2	2	0	1	0	2	3	1	18 名
小児肺炎球菌ワクチン	1	1	1	4	2	2	0	1	0	2	3	1	18 名
シナジス(RSウィルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
ロタウィルス	0	1	1	2	1	2	1	0	0	1	1	1	11 名
水痘	1	0	1	2	2	0	0	0	0	0	1	1	8 名
B型肝炎	0	1	1	1	1	1	0	0	1	3	1	0	10 名
4種混合(1～3期)	0	1	2	1	2	2	1	1	1	2	3	1	17 名
日本脳炎	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	0	9 名
季節性インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	16	9	0	0	0	25 名
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
予防接種合計③	7	6	7	16	11	9	2	20	13	13	17	5	126 名
総計 ①+②+③	26	18	24	33	21	41	24	54	53	27	50	51	422 名

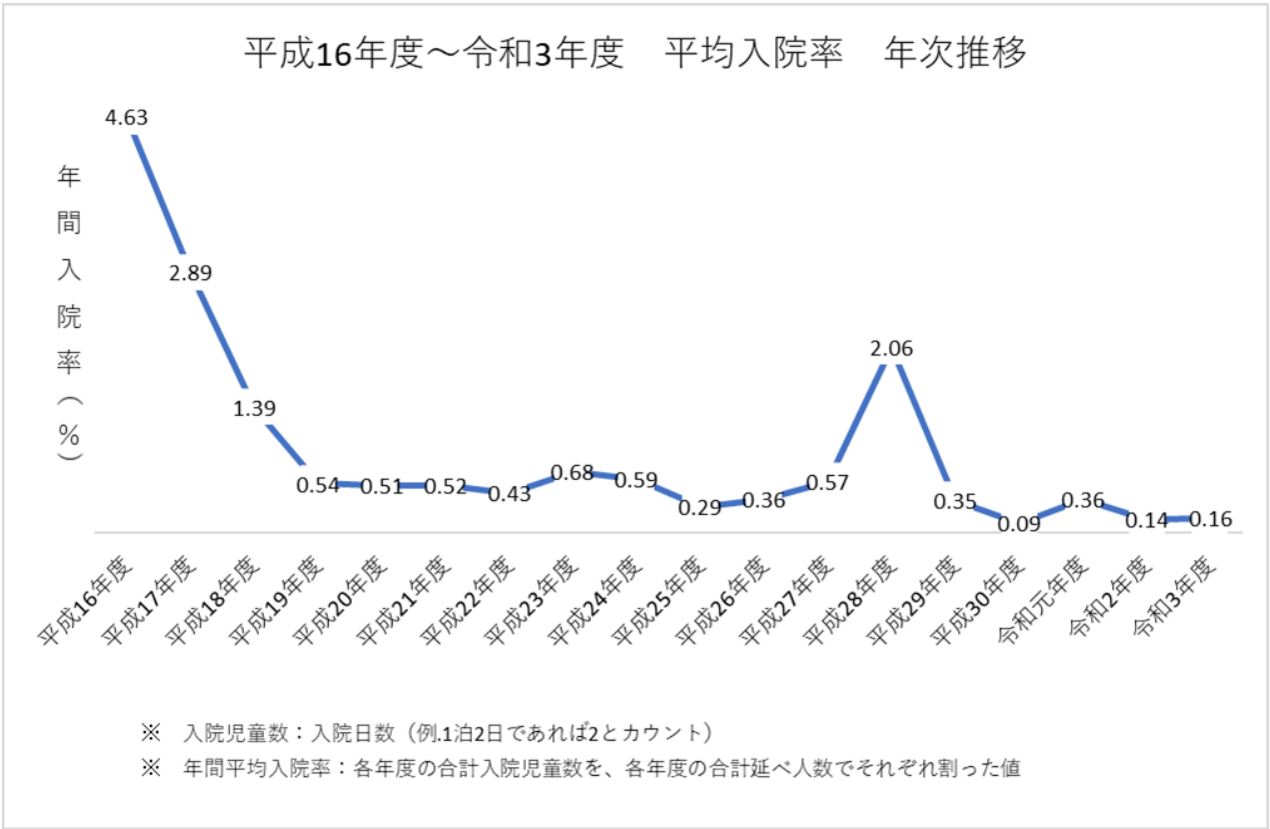
(2)令和 3 年度　入院児童について(対象児2名・入院日数延 11 日)

氏名	性別	入院期間	病院名	病名	入院日数
K・N	男	2021年9月2日～2022年9月3日	富士市立中央病院　小児科	熱性けいれん	2
K・A	男	2022年1月5日～2022年1月13日	県立こども病院　免疫アレルギー科	川崎病	9
入院者数2名			延べ入院日数11日		

(2)-① 過去18 年間の入院児童数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成16年度(28名延べ452日)	2	11	66	16	43	80	52	114	45	17	6	0	452 名
平成17年度(27名延べ280日)	57	53	21	0	0	33	23	15	53	10	15	0	280 名
平成18年度(13名延べ143日)	0	8	26	0	0	0	16	43	34	15	1	0	143 名
平成19年度(4名延べ44日)	0	0	17	11	7	0	0	0	0	0	9	0	44 名
平成20年度(6名延べ40日)	0	12	0	0	0	0	5	0	23	0	0	0	40 名
平成21年度(7名延べ50日)	4	1	0	0	6	0	0	6	20	0	2	11	50 名
平成22年度(7名延べ45日)	0	4	0	0	12	0	16	8	0	0	5	0	45 名
平成23年度(3名延べ61日)	0	0	0	5	0	0	1	4	0	20	29	2	61 名
平成24年度(6名延べ43日)	0	0	0	0	0	0	3	0	6	5	0	29	43 名
平成25年度(2名延べ22日)	0	0	0	0	0	7	0	15	0	0	0	0	22 名
平成26年度(4名延べ29日)	0	0	4	0	0	7	0	0	18	0	0	0	29 名
平成27年度(5名延べ46日)	0	0	0	9	6	14	0	0	0	17	0	0	46 名
平成28年度(15名延べ146日)	0	5	6	15	41	2	9	30	32	6	0	0	146 名
平成29年度(5名延べ30日)	11	0	0	0	0	8	9	2	0	0	0	0	30 名
平成30年度(3名延べ7日)	2	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	7 名
令和元年度(2名延べ28日)	0	0	0	3	23	0	0	0	2	0	0	0	28 名
令和2年度(2名延べ10日)	0	0	0	0	2	0	0	8	0	0	0	0	10 名
令和3年度(2名延べ11日)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	9	0	0	11 名

(2)-① 過去18 年間の入院率の比較



(3)定期健康診断

(3)-① 入所児童定期健康診断

1)内科検診(年2回):嘱託医:飯泉哲哉医師

実施日:1回目:令和3年9月15日 ・ 2回目:令和4年3月1日

2)歯科検診(年1回):片岡歯科医院:片岡俊夫医師

実施日:令和4年2月21日

(3)-② 職員定期健康診断(新富士病院)

1回目 : 令和3年9月3日･9月14日･9月15日

2回目 : 令和4年2月1日･2月4日･2月16日

(4)感染症の記録

① コロナウィルス感染症

感染症対策期間:令和3年3月13日～4月2日 (完全隔離期間)

コロナウィルス感染者数:児童5名･職員4名 計9名

② コロナウィルス感染症

感染症対策期間:令和3年4月83日～4月28日 (完全隔離期間)

コロナウィルス感染者数:児童7名･職員5名 計12名

コロナウィルス感染者数 令和4年3月13日～

No.	日付	感染確定者数		通院児童数	備考
		入所児童	職員		
1	3月13日		1		陽性確認:職員1名PCR
2	3月14日	2		4	陽性確認:児童2名PCR
3	3月15日	1	1	1	陽性確認:児童1名･職員1名PCR
4	3月16日				
5	3月17日	1		2	陽性確認:児童1名PCR
6	3月18日				
7	3月19日				
8	3月20日				
9	3月21日		1		陽性確認:職員1名PCR
10	3月22日	1		1	陽性確認:児童1名PCR
11	3月23日				
12	3月24日				
13	3月25日		1		陽性確認:職員1名PCR
14	3月26日				
15	3月27日				
16	3月28日				
17	3月29日				
18	3月30日				
19	3月31日				
20	4月1日				
21	4月2日				隔離解除
小計		5	4	8	
合計		9			

コロナウィルス感染者数 令和4年4月8日～

No.	日付	感染確定者数		通院児童数	備考
		入所児童	職員		
1	4月8日	2		2	陽性確認:児童2名PCR
2	4月9日		1		陽性確認:職員1名PCR
3	4月10日				
4	4月11日			3	
5	4月12日	3	1		陽性確認:児童3名･職員1名PCR
6	4月13日				
7	4月14日				
8	4月15日	1		1	陽性確認:児童1名PCR
9	4月16日	1		1	陽性確認:児童1名抗原検査
10	4月17日		1	1	陽性確認:職員1名PCR
11	4月18日		2		陽性確認:職員2名PCR
12	4月19日			1	
13	4月20日				
14	4月21日				
15	4月22日				
16	4月23日				
17	4月24日				
18	4月25日				
19	4月26日				
20	4月27日				
21	4月28日				隔離解除
小計		7	5	9	
合計		12			

(5)事故記録等

(5)-①事故の記録　　総事故数77件 （対象児童77名） 通院児童 6名

No.	事故内容	件数	通院数	事故・通院状況･診断等
1	はさみこみ等	9	1	公用車のドアに指を挟む。サッシの隙間に足が挟まる。
2	転　落	8	3	ベッドからの転落３件（通院）３件とも異常所見なし
3	衝突･転倒	46	2	扉に体当たりをして唇を切る(通院)・前歯をぶつける（通院）
4	創傷･裂傷	1	0	園庭で遊んでいる時に受傷、原因不明の擦り傷や痕等
5	誤飲・誤食	3	0	鳥の糞を食べた？(1 件)・乳児が折り紙を食べていた(2 件)
6	誤配食	4	0	未投与の食材を与えてしまう(2 件)･食事の取り違え(2 名×1 件)
7	誤投薬	2	0	軟膏を間違える（1 件）・当薬児の名前を間違える(1 件
8	不投薬	1	0	投薬未実施 1 件
9	その他	3	0	割れた玩具片を口に含んでいる。感染対策区域への侵入等
合　計		77	6	

(5)-②児童間の事故　　総報告数 396 件　 通院児童 0 名

No.	事故内容	全件数	通院数	受傷状況等
1	噛みつき	303	0	相手、状況不明の噛み傷多数
2	ひっかき（創傷）･つねる	63	0	相手、状況不明のひっかき傷多数
3	自傷等	4	0	ヘッドバンギングで額に傷、カップに吸い付き内出血
3	その他	26	0	状況不明の内出血・痣・擦り傷等。
合計		396	0	

(5)-③インシデントレポート(ヒヤリハット)　総 数 34 件

月	件数	インシデントの内容
4月	1	①和室にプラスチック製のシールが落ちている。工事中のためさくら保育園が使用していたが、保育園では危険なのでプラスチック製のシールは使用していない。
5月	5	①オムツ交換中の2歳児の口から洗濯ばさみの金属部品が出てくる。
		②乳児室②のエプロンを置いた所に電気蚊取り器があり、エプロンが被っていた。エプロンが少し暖かくなっており、発火の危険性があった。
		③廊下で遊んでいる時に2歳児2名が寝室に入り込み掃き出し窓からサンデッキに出てしまう。窓の鍵を掛けておく必要がある。
		④朝、換気のため2階会議室の窓を開けようとすると鍵が掛かっていなかった。必ず施錠確認が必要である。
		⑤0歳児がベッドの中で寝返りを打っていると、柵の間に身体が入ってしまい腰のあたりまで出てしまって泣いていた。見守りの間隔を検討したい。
6月	5	①園庭で4歳児が錆びた釘を渡し合っているのを見つけて取り上げる。
		②園庭の円形テーブルの脚が外れてしまう。ボルト固定していないので固定を依頼
		③1歳児が食事用の椅子テーブルに四つん這いで乗って椅子から降りようとしていた。背当てを入れずに座らせていたことが原因と考えられる。
		④1歳児のオムツ交換中にプラスチック部品を持っていた。窓枠も部品が外れていた。
		⑤プレイルームのマットの間から玩具配置表の小さな磁石が3つ出てくる。子ども達が玩具をホワイトボードに当てて磁石を尾としたようだ。
7月	2	①1歳6ヶ月児がガラスの破片を職員に渡す。哺乳瓶の欠片だと思われる。
		②プレイルームのプレイマットを4歳児が高く持ち上げて職員の真似をしている。職員は元に戻すと他のものも同様に持ち上げてしまう。
8月	2	①3歳児にお楽しみ会で出された蒟蒻スティックゼリーが噛み切れずオエッとしている所を発見、出させると、ステイク状で出てくる。
		②食堂入口のガラス戸を子どもが無理に引っ張ったら扉が外れる。怪我も破損も無し。
9月	6	①1歳児が車の玩具を咥えていたので口の中を見ると玩具の目玉の部分が出てくる。
		②乳児室のスライドドア付近にガラスの破片が落ちていたので回収する。(哺乳瓶の破片？)
		③型はめ玩具の小さい円形のパーツが乳児室にあったので回収する。(ﾄｲﾚ紙芯より小さい部品)
		④1歳児をモビールで遊ばせていたら、厚紙でできたモビールを噛んで口に入れていた。
		⑤入浴後の2歳児が補水液の入ったスプレーボトルを咥えていたので取り上げるが､部品を口に中で弄んでいた。
		⑥就寝時に2歳児が無体動センサーのコードを首に掛けていた。
10月	4	①就寝中の1歳児の顔にシーツが掛かり、身体にシーツを巻き付けている取ると怒るが、窒息の危険がある。
		②就寝中の2歳児がゴム付防水シーツにくるまっていた。窒息の危険がある。
		③2歳児が玩具の破片を口で弄んでいた。
		④足を固定する必要があり1歳児が固定用の包帯を外して口に含んでいた。
11月	1	①1歳児がベッド柵に足を掛けてベット間を自由に移動してしまう。
12月	3	①1歳児がベットの柵を使ってテレビがある棚に上ってしまう。
		②2歳児2名がレゴブロックを口に入れて取れなくなってしまう。
		③3歳児がスナップボタンのスナップ部分を口に入れてモグモグさせている。
1月	1	①1歳児2名が乳児室のスライドドアを勝手に開けて外に出てしまう。
2月	2	①怒った児童がプレイルームや廊下の策のカギを開けて玄関ホールまで出てしまう。
		②子どもが落ちていたビー玉を拾ってくる。
3月	2	①1階プレイルームで子どもがクッションを止めていた鋲を外して持ってくる。
		②観察室で緊急一時保護した2歳児が椅子を自由に動かして水道などを使用していた。

資料3　令和3年度　園外保育実施実績

令和3年度も、コロナウィルス感染症の対策を優先したため従来の園外保育は実施しませんでした。子ども達の息抜きを兼ねた、近場へのお出かけ程度の外出や、感染症対策が施されたレストランの個室を借りた外食などを合計 11 回行いました。なお移動は、バスや電車などの公共の交通機関は使用せず、全て公用車や徒歩で行いました。

(1)園外保育の実績

年　月　日	行先・目的等	児童数	職員数	備　考
令和3年4月13日	富士総合運動公園	4	4	公用車使用
令和3年4月21日	富士総合運動公園	8	9	公用車使用
令和3年5月21日	岳南電車に乗る	7	7	公用車・岳南電車
令和3年6月16日	富士サファリパーク	6	6	公用車使用
令和3年7月20日	シャトレーゼでおやつ選び	2	2	公用車使用
令和3年9月10日	中央消防署・富士警察署	4	3	公用車使用
令和3年9月14日	中央消防署・富士警察署	4	3	公用車使用
令和3年9月28日	富士サファリパーク	6	6	公用車使用
令和3年10月13日	大淵公園	4	4	公用車使用
令和4年3月11日	Pata Pata（個室外食）	16	16	公用車使用
	延べ人数	61	60	

(1)－②　誕生会・お楽しみ会

①　誕生日…子どもの誕生日毎に担当養育者と1対 1 でお祝いをしました。

②　お楽しみ会(月1回)…お楽しみ会の時に、皆で誕生日のお祝いをしました。

③　七五三…記念に、美影館さんのご好意で記念撮影をしていただいています。

○クリスマス　：　令和 3 年 12 月 24 日

資料4　令和3年度 お楽しみ会行事献立及び、年間給食数

行事食献立及び、年間給食数　（単位：人）

月	日	行事食献立	年間延人員、各月給食数	
			延在籍児数	延食数
4	2	うさぎのおにぎり、ミートローフ、ポテトフライ、ゼリー、野菜ジュース	1,419	499
5	7	かぶとのおにぎり、鶏肉のチューリップ揚げ、スペイン風卵焼、ハムチーズ、こいのぼり牛乳寒	1,518	518
6	4	かたつむりハヤシライス、春雨サラダ、野菜スープ、あじさいゼリー	1,486	510
7	6	ちらし寿司、からあげ、トマト、キャベツとにんじんのコーンサラダ、お吸い物、白玉フルーツポンチ	1,648	561
8	19	焼きそば、フランクフルト、からあげ、ポテトフライ、チョコバナナ、野菜ジュース	1,760	587
9	7	ピラフ、マカロニサラダ、トマト、エビフライ、タコさんウインナー、野菜スープ、青空ゼリー	1,664	561
10	12	かぼちゃのドリア、照り焼きチキン、ホットサラダ、具沢山スープ、スイートポテト	1,732	607
11	16	サッカーボールおにぎり、チューリップ揚げ、アンパンマンポテト、春雨サラダ、野菜スープ、トマト、葡萄ゼリー	1,910	597
12	24	型抜きサンドイッチ、トナカイハンバーグ、フライドポテト、ブロッコリー、ジュース、チョコプリン	1,910	723
1	6	とら型おにぎり、春雨サラダ、からあげ、卵焼き、いちごのババロア、野菜スープ、野菜ジュース	1,847	643
2	3	鬼のカレーライス、ホットサラダ、野菜ジュース、具沢山スープ、おにのプリン	1,757	588
3	3	ひな祭りちらし寿司、竜田揚げ、野菜の煮物、白和え、すまし汁、ひし餅カラーゼリー	1,972	663
合　　計			20,623	7,057

資料5　令和3年度 防災対策、避難訓練等の実施状況

(1)地震想定避難訓練(夜間想定訓練 2 回)　　※消火訓練は毎月実施した。

	実 施 日	開始時間	参 加 人 員	備 考
1	令和 3 年 5 月 14 日(金)	9:00～	児童 14 名・職員 17 名	
2	令和 3 年 7 月 8 日(木)	9:00～	児童 15 名・職員 2 名+(ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ)	夜間想定
3	令和 3 年 12 月 9 日(木)	9:00～	児童 17 名・職員 16 名	
4	令和4年3月23日(水)	9:05～	児童8名・職員1名※コロナ隔離中ため乳児のみ	夜間想定

(2)火災想定避難訓練(夜間想定訓練 0 回) ※非常通報装置を使用し消防署への通報訓練も行う

	実 施 日	開始時間	参 加 人 員	備 考
1	令和 3 年 4 月 8 日(木)	9:00～	児童 15 名・職員 16 名	通報訓練
2	令和 3 年 6 月 8 日(火)	9:00～	児童 13 名・職員 18 名	通報訓練
3	令和 3 年 8 月 12 日(木)	9:00～	児童 16 名・職員 18 名	通報訓練
4	令和 3 年 10 月 14 日(火)	9:05～	児童 17 名・職員 16 名	通報訓練
5	令和 4 年 1 月 13 日(木)	9:05～	児童 15 名・職員 15 名	通報訓練
6	令和 4 年 2 月 10 日(木)	9:00～	児童 19 名・職員 13 名	通報訓練

(3)総合防災訓練 (訓練回数 2 回)

	実 施 日	実施時間	内 容 ・ 参加人員等	備 考
1	令和 3 年 9 月 1 日(木)	8:30～ 14:00	児童 17 名・職員 19 名 避難訓練・消火訓練・災害対応訓練	
2	令和 3 年 11 月 1 日(月)	8:00～ 17:00	児童 16 名・職員 19 名 避難訓練・消火訓練・非常食試食 等防災備蓄品の点検と入替(午後)	※福祉施設 総合防災訓練

(4)職員間通報訓練 ※緊急連絡網等を使用した通報訓練(実施回数・法人 12 回)

	実 施 日	実施時間	参加人員・訓練内容等	備 考
1	令和 3 年 4/1・5/1・6/1 7/1・8/1・8/6・9/1 10/1・11/1・12/2 令和 4 年 1/4・2/1・3/1	12 回 実施	災害安否コールシステムを使用した通報 ・安否確認訓練(全職員)	※法人 全職員対象

(5)防災用備品の点検・整備等　(実施回数1回)

	実　施　日	実施時間	内　　容	備　考
1	令和 3 年年 9 月 1 日(木)	13:30～	防災倉庫内備品の点検・確認・入替	
2	令和 3 年年 11 月 1 日(月)	13:30～	防災倉庫内備品の点検・確認・入替	

総合防災訓練時の設営訓練・炊き出し訓練・消火訓練等:令和 3 年 9 月 1 日・11 月 1 日

(6)不審者対応訓練　※芝生園庭に避難した時に実施(実施回数:5 回)

	実　施　日	実施時間	訓練内容等	備　考
1	令和 3 年:5/14・6/8・7/8 8/12・9/1・10/14・11/1・ 12/9 令和 4 年:1/13・2/10・3/10	11 回 実施	避難訓練終了後芝生園庭に不審者が侵入したことを想定して、プレイルームに入所児童を避難させる。	

不審者対応訓練の様子:令和 3 年 9 月 1 日・11 月 1 日

(7)防災型自家用発電機の点検・整備等　(実施回数1回)

	実　施　日	実施時間	内　　容	備　考
1	令和 3 年年 7 月 21 日(水)	8:30～ 17:30	模擬停電をして自動起動・自動切換の確認、8 時間の稼働と燃料消費の確認	

資料6　令和３年度　保守点検実施表

点検項目	業者名	点検年月日	備　考
電気工作物	関東電気保安協会	R3.4.4	年6回
		R3.6.2	
		R3.8.11	
		R3.10.13	
		R3.12.2	
		R4.2.2	
消防設備	サンコー防災（消防用設備点検）	R3.6.29	年2回
		R3.11.9	
	富士消防用品商会（消火器点検）	R3.5.14	年2回
		R3.11.9	
給水給湯設備空調設備機械等	協栄空調株式会社	R3.5.10	年2回
		R3.11.2	
園舎殺菌消毒	㈱大富士ﾀﾞｽｷﾝﾀｰﾐﾆｯｸ	R3.5.7	年2回
		R3.10.22	
防鼠点検 厨房・食堂		R3.4.23	毎月
		R3.5.28	
		R3.6.25	
		R3.7.30	
		R3.8.27	
		R3.9.24	
		R3.10.22	
		R3.11.26	
		R3.12.24	
		R4.1.28	
		R4.2.25	
		R4.3.24	
園舎ｺﾞｷﾌﾞﾘ殺虫施工		R3.6.25	年2回
		R3.11.26	
布団乾燥機	株式会社 Manamana	R3.4.2	年2回
		R3.12.17	
貯水槽清掃	ニッケン消毒㈱	R4.3.19	年1回
水質検査	静岡県生活化学検査ｾﾝﾀｰ	R3.11.9	年1回
昇降機リフト	クマリフト株式会社	R4.3.29	年1回
建築設備等定期検査	㈱平柳建築設計事務所	R3.10.15	年1回
防火扉定期検査	サンコー防災	R3.6.9	年1回
タッチ式自動ドア	ナブコシステム㈱	必要に応じて依頼	
事務機器	㈱ Ｎｅｔ		
	㈱ﾃｨｰｹｰｼｽﾃﾑ		
電解水「守る水」	株式会社アオノ	4/16, 5/12, 6/14, 7/9	毎月
		8/11,9/15,10/4,11/8	
		12/10,1/10,2/11,3/14	
手指消毒器点検	(株)サラヤ	感染流行地から来るため未実施	年2回

資料7 令和２年度 研修会、会議等参加実績

1. 外部研修参加実績:(1)～(3)　28 企画 ・ 72 名参加

（1）業界団体等主催等の研修会　　10回　24名参加

区分	N0.	開催日（期間）	主催者等	研　　修　　名	開催場所	参加人数
業界団体等県外研修	1	7月21日	こどもの虹情報研修センター	2021年度　乳児院指導者研修	オンライン	1
	2	8/10～8/27	全乳協	第64回全国乳児院研修会	オンライン	8
	3	10月6日	全乳協	第70回記念全国乳児院協議会	オンライン	2
	4	10/11～10/31・11/10	関東ﾌﾞﾛｯｸ	第38回関東ブロック乳児院協議会職員研修会	オンライン	2
	5	11/15～11/30	関東ﾌﾞﾛｯｸ	第55回関東ブロック乳児院研究協議会	オンライン	3
	6	11/21～11/23	全乳協	長井塾熊本乳児院見学研修会	熊本乳児院等	1
	7	12/6～12/20	全乳協	社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	オンライン	1
	8	2/8～2/18	全乳協	第3回乳児院医療・看護セミナー	オンライン	2
	9	2/8～2/18	全乳協	第10回乳児院上級職員セミナー	オンライン	2
	10	2/18～3/10	全社協	令和3年度ファミリーソーシャルワーク研修会	オンライン	2
						24

（2）その他の県外団体主催研修会　　3回　8名参加

区分	N0.	開催日（期間）	主催者等	研　　修　　名	開催場所	参加人数
その他	1	6月4日	日本キリスト教社会事業同盟	日本キリスト教社会事業同盟第77回総会・研修会	オンライン	1
	2	6/27・7/3・7/10	アレルギー支援ネットワーク	2021年度　第16期アレルギー大学　初級	オンライン	5
	3	9月11日	アレルギー支援ネットワーク	2021年度　アレルギー大学　中級講座	オンライン	2
						8

（3）県内研修会　　15回　40名参加

区分	N0.	開催日（期間）	主催者等	研　　修　　名	開催場所	参加人数
県内研修会	1	6/18,6/30	常葉大学	より良い保育者育成を目指して～常葉大学と施設との協議会	オンライン	2
	2	7月14日	県社協	令和3年度　感染症講座(児童編)	オンライン	1
	3	7/14～8/1	県社協	令和3年度　社会福祉法人施設事務員経理基礎講座	オンライン	1
	4	6/17.7/8.7/9	県社協	R3年度　福祉職員ｷｬﾘｱﾊﾟｽ対応生涯研修　中堅職員ｺｰｽ(東部)	三島商工会議所	3
	5	10/15～10/26	県社協	施設事務職員会計実務専門講座	オンライン	1
	6	11/17～11/30	県社協	施設事務職員税務実務講座	オンライン	2
	7	8/23～9/13	県社協	施設事務員職員経理応用講座	オンライン	1
	8	9/16～9/29	県社協	予算管理講座	オンライン	1
	9	12/15～12/26	県社協	令和3年度社会福祉法人財務管理講座	オンライン	1
	10	1月12日	県社協	令和3年度社会福祉施設運営管理研修会	オンライン	1
	11	2/7～2/24	県社協	県社協：令和3年度決算実務講座	オンライン	1
	12	2月19日	県社協	子どもがいる現場のリスクマネジメント講座	オンライン	1
	13	3月5日	静岡県	子ども虐待対応・医学診断研修会	オンライン	1
	14	11月19日	その他	静岡県給食協会：令和３年度ノロウイルス衛生講習会	オンライン	1
	15	4/8～3/8	その他	静岡大学：心理職フォローアップ研修（全22回開催）	オンライン	22
						40

2.法人内研修参加実績: 9 企画 ・ 29 名参加

（4）法人内研修会　　9回　29名参加

区分	N0.	開催日	主催者等	研　　修　　名	開催場所	参加人数
法人内研修会	1	4月9日	法人本部	法人：令和３年度新任職員研修会	ひまわり園	1
	2	6月16日	安全衛生委員会	食中毒伝達講習会	みぎわ園	2
	3	10月13日	法人本部	法人：令和３年度ハラスメント研修	オンライン	4
	4	11月15日	安全衛生委員会	感染伝達講習会	みぎわ園	4
	5	11月17日	安全衛生委員会	感染伝達講習会	みぎわ園	2
	6	11月26日	安全衛生委員会	感染伝達講習会	みぎわ園	2
	7	12月8日	法人本部	法人：令和３年度ハラスメント研修	オンライン	4
	8	2月28日	応急手当普及員	法人：普通救急救命講習	ひまわり園	4
	9	3月8日	応急手当普及員	法人：普通救急救命講習	ひまわり園	6
						29

3. 施設内独自研修会・勉強会開催実績：18 企画・155 名参加

（5）施設内研修会・勉強会　　企画数18回　155参加

区分	N0.	開催日	主催･講師等	研　　修　　名	開催場所	参加人数
施設内独自研修会･勉強会	1	4月,5月	看護師	118、AEDの点検について	みどり園	12
	2	6月,7月	看護師	118、AEDの点検について	みどり園	15
	3	4月,5月,6月	看護師	通院に関する手順	みどり園	5
	4	7月,8月,9月	看護師	通院に関する手順	みどり園	10
	5	8月31日	看護師	オゾン殺菌について	みどり園	13
	6	9月2日	看護師	オゾン殺菌について	みどり園	9
	7	9月27日	看護師	熱性けいれん事例検討	みどり園	13
	8	10月25日	看護師	救急処置	みどり園	4
	9	10月26日	看護師	熱性けいれんについて	みどり園	8
	10	10月27日	看護師	熱性けいれんについて	みどり園	10
	11	11月7日	看護師	新任職員基礎教育	みどり園	1
	12	11月11日	看護師	新任職員基礎教育	みどり園	1
	13	11月11日	看護師	救急処置	みどり園	6
	14	12月3日	みどり園	人工呼吸機・吸入、吸引器118の使用法について	会議室	9
	15	12月27日	看護師	新型コロナ抗原検査キット使用方法	みどり園	10
	16	1月18日	看護師	新型コロナ抗原検査キット使用方法	みどり園	10
	17	2月3日	看護師	新型コロナ抗原検査キット使用方法	みどり園	10
	18	2月15日	みどり園	令和3年度　大野木嗣子ﾌﾟﾚｲｾﾗﾋﾟｰ研修（県乳協共催）	オンライン	9
						155

(5)法人・施設内会議・委員会

法人会議:31回:施設内会議:70回・委員会:37回　　合計126回

会議名	開催日／開催回数							備考
施設長会議	4月21日	5月21日	6月14日	7月21日	8月18日	9月15日		法人会議
	10月13日	11月15日	12月15日	1月17日	2月16日	3月16日	12回	※施設長出席
法人企画会	4月14日	5月14日	6月9日	7月19日	8月11日	9月8日		法人会議
	10月6日	11月10日	12月8日	1月13日	2月8日	3月9日	12回	※養育課長出席
安全衛生委員会	4月22日	5月27日	6月16日	7月22日	8月26日	9月24日		法人会議
	10月28日	伝達研修	12月23日	1月26日	2月25日	3月24日	11回	※助産師出席
代表者会議	4月26日	5月20日	6月15日	7月26日	8月20日	9月16日		主任以上
	10月21日	11月18日	12月16日	1月19日	2月17日	3月17日	12回	
指導職会議	4月12日	5月17日	6月7日	7月19日	8月19日	9月8日		副主任以上
	10月8日	11月16日	12月10日	1月17日	2月11日	コロナ対策中止	11回	
月例会	4月26日	5月31日	6月28日	7月26日	8月30日	9月27日		夜勤者以外
	10月29日	12月6日	12月27日	1月31日	2月28日	コロナ対策中止	11回	原則全員参加
ユニット会議	4月1日	4月2日	5月6日	5月7日	6月2日	6月4日		ユニット職員
	6月30日	7月2日	7月29日	7月30日	8月31日	9月2日		厨房職員
	10月26日	11月25日	12月3日	1月27日	1月28日	2月5日	19回	副主任以上
	2月27日							
ケース会議	4月5日	5月10日	6月7日	7月5日	8月2日	9月6日		直接処遇職員
	10月29日	12月6日	12月27日	1月31日	2月28日	コロナ対策中止	11回	厨房職員
給食会議	4月26日	5月31日	6月29日	7月26日	8月30日	9月27日		厨房職員
	10月29日	11月30日	12月中止	1月31日	3月3日日		11回	指導職以上1名
看護師会議	4月30日	5月10日	6月7日	7月5日	8月2日	9月6日		看護師・助産師
	10月5日	10月29日	11月16日	1月19日	3月13日コロナ対策会議		11回	
感染症対策委員会	4月14日	6月11日	8月13日	10月15日	1月14日	コロナ対策へ	5回	※委員を選任
防災委員会	4月16日	5月14日	6月8日	7月8日	8月12日	10月14日		※委員を選任
	12月9日	2月10日					8回	
第三者評価	4月28日	6月22日	6月29日	7月20日	7月27日	8月24日		全体会1回＋ユニ
自己評価委員会	8月31日	9月29日	10月19日	10月26日	11月30日	12月21日	15回	ット会議時に検討
	12月28日	3月8日	3月11日					各委員入力作業
リスクマネジメント	4月26日	5月20日	6月15日	7月26日	8月20日	9月16日		主任以上＋
委員会	10月21日	11月18日	12月16日	1月19日	2月17日	3月17日	12回	専任委員

資料 8 令和 3 年度 実習生の受け入れ状況

(1) 単位取得実習 (4 校 15 名 延べ 138 日)

学 校 名	実 習 期 間	人数	延人数	備 考
常葉大学	令和3年5月17日～5月26日	1	12	
静岡県立短期大学	令和3年5月24日～6月4日	1	12	
静岡こども福祉専門学校	令和3年6月14日～6月25日	1	12	
常葉大学	令和3年8月6日～8月15日	2	20	
常葉大学	令和3年9月21日～9月28日	1	8	
常葉大学短期大学部	令和3年10月23日～10月30日	2	16	
常葉大学短期大学部	令和3年11月9日～11月16日	2	16	
常葉大学	令和3年11月23日～11月30日	2	16	
常葉大学	令和3年12月3日～12月12日	2	20	
静岡県立短期大学	令和3年12月25日～12月30日	1	6	
合 計		15	138	

(2)その他の実習及び育児指導

1. 家庭引き取り対応指導 年間延べ 31 件(外出･外泊対応等)
2. 里親委託養育指導等 年間延べ 3件 70回
3. 里親研修 1 件 6回
4. 教員体験実習 0 件
5. 自主実習 (人数･延べ日数) 0 件

資料 9 ボランティア受け入れ実績

※コロナウィルス感染症対策のため受け入れ中止

(1)ボランティア受け入れ実績 総数 0 名

1. 吉原高校ボランティア 中止
2. 大学生ボランティア 0 回 0 名
3. その他のボランティア 0 回 0 名

資料　10　家庭・家族支援の状況について

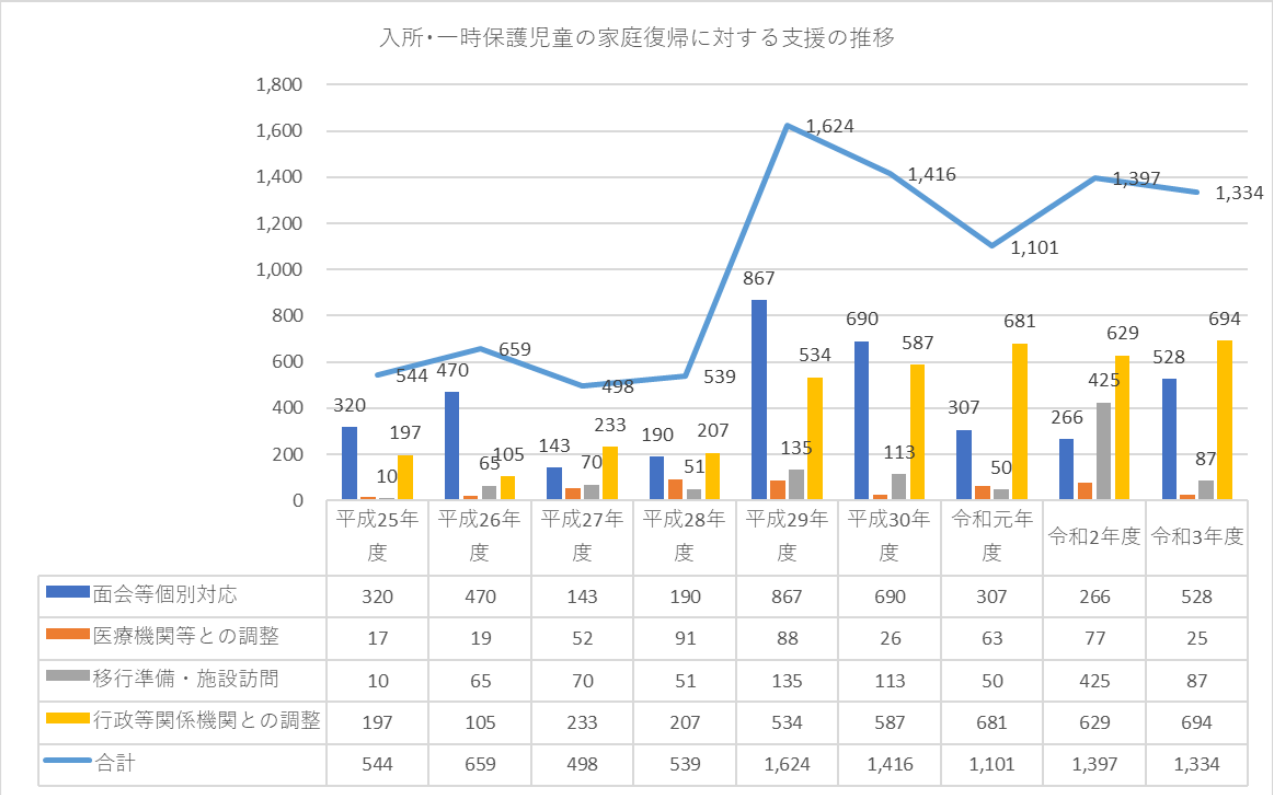
(1)入所・一時保護児の家庭復帰に対する支援

保護者や委託予定の里親に対して、適切な親子関係を構築できるよう面会、電話等で支援を行いました。また、措置機関である児童相談所(処遇の決定やこどもを受け入れる環境を整えるために親族や地域の調整を図る)、福祉事務所、保健センター等の関係機関と緊密に連携し、家庭復帰や、里親委託をすすめました。

個別に対応した件数　1,334 件

(内訳)

保護者・里親の面会等個別対応　:528 件
医療・療育機関と調整　:　25 件
他施設への移行準備、施設訪問等　:　87 件
児童相談所・関係機関との調整　:694 件



	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
面会等個別対応	320	470	143	190	867	690	307	266	528
医療機関等との調整	17	19	52	91	88	26	63	77	25
移行準備・施設訪問	10	65	70	51	135	113	50	425	87
行政等関係機関との調整	197	105	233	207	534	587	681	629	694
合計	544	659	498	539	1,624	1,416	1,101	1,397	1,334

(2)退所後の支援

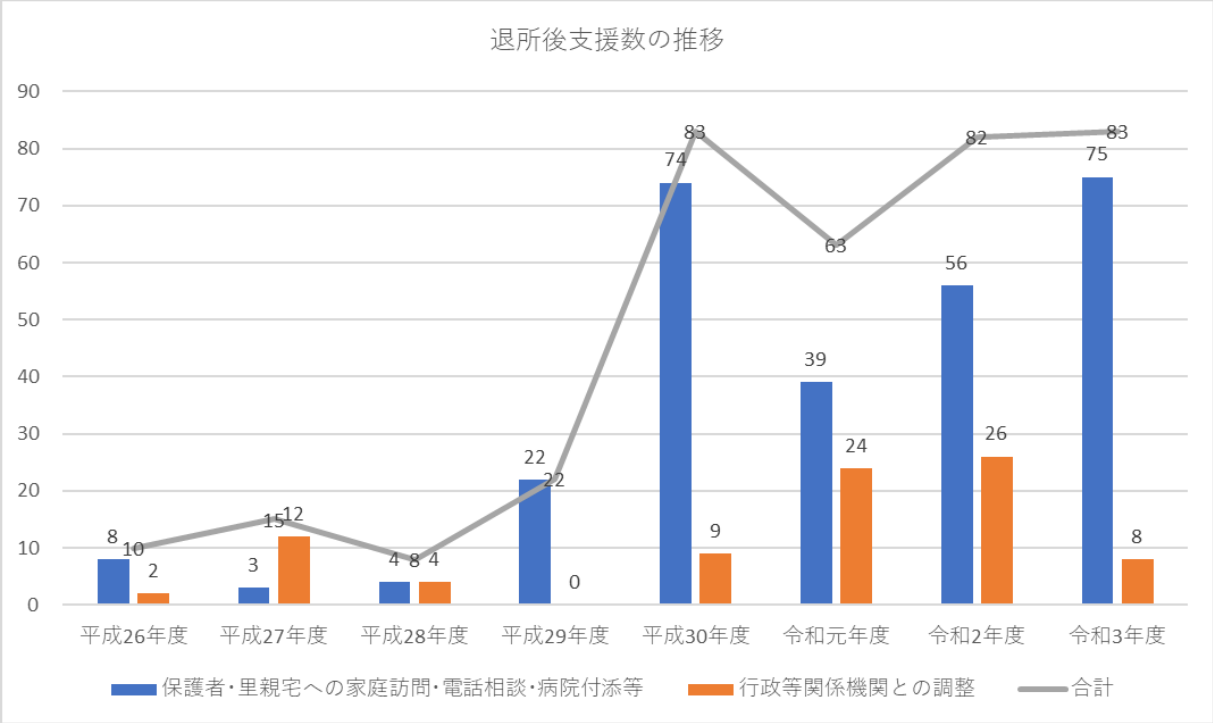
退所後、家族や地域の中で孤立することなく健全な生活ができるよう関係機関と連絡や調整を図りました。

個別に対応した件数　83 件

（内訳）

保護者・里親の家庭訪問・電話相談・病院付添等　:75 件

児童相談所等への連絡調整　:8 件



(3)子育て短期支援事業(ショートステイ)について

富士市との委託契約により、保護者の一時的な疾病やその他の理由に　よって養育できない児童を一時的に預かる事業を富士市と契約し実施しました。

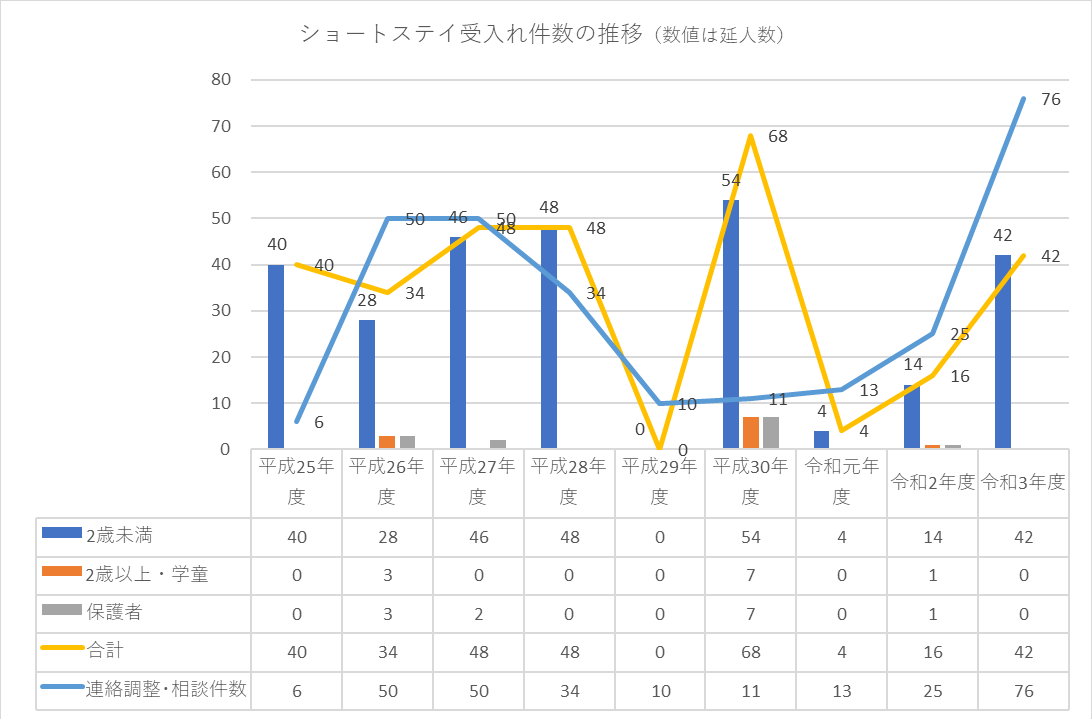
コロナウィルス等の感染症対策のため 1 週間の隔離対応を実施しました。

令和 2 年度は 4 件の受入れを行いました。

連絡調整及び相談件数　　76 件

※ショートステイ受け入れ件数　富士市：8 名（乳幼児 8 名・学童 0 名・母親 0 名）

延日数：　42 日



	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
2歳未満	40	28	46	48	0	54	4	14	42
2歳以上・学童	0	3	0	0	0	7	0	1	0
保護者	0	3	2	0	0	7	0	1	0
合計	40	34	48	48	0	68	4	16	42
連絡調整・相談件数	6	50	50	34	10	11	13	25	76

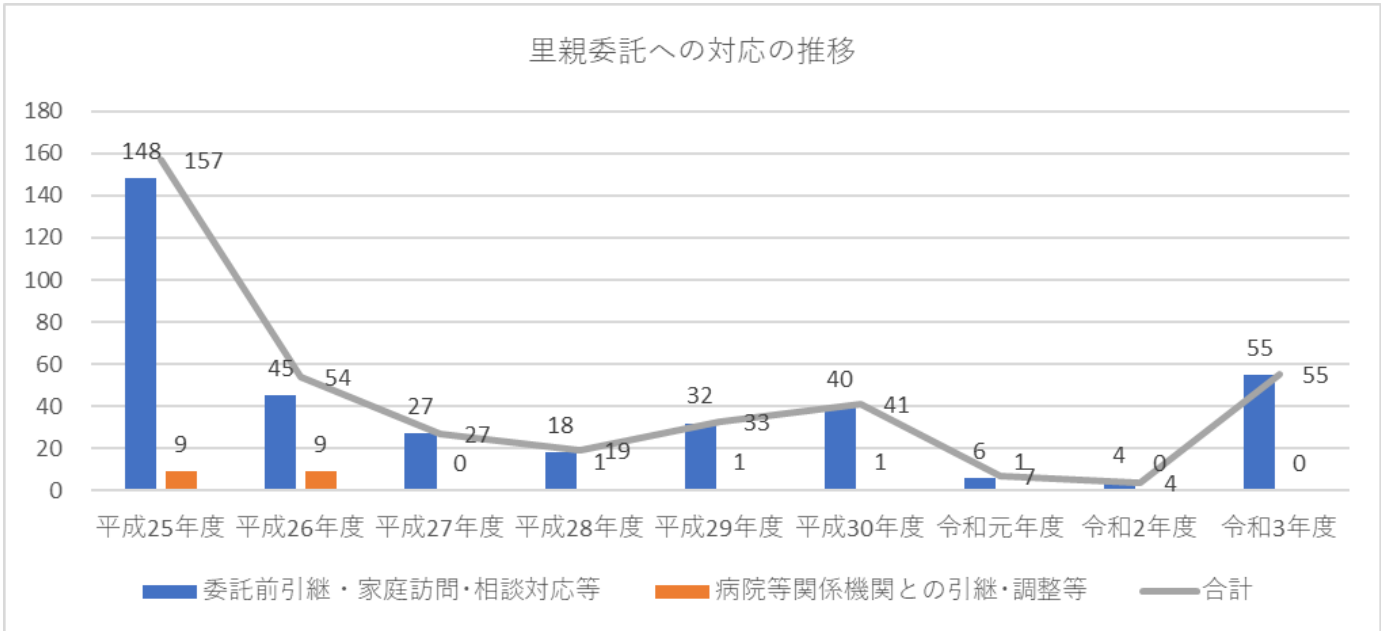
(4) 里親委託への対応

コロナウィルス感染症対応のため委託前の交流が中断し、委託迄に時間が掛かりましたが無事に委託することができました。

連絡調整及び相談等の件数　　55 件

（内訳）　委託前引継ぎ・家庭訪問・相談　：　55 件

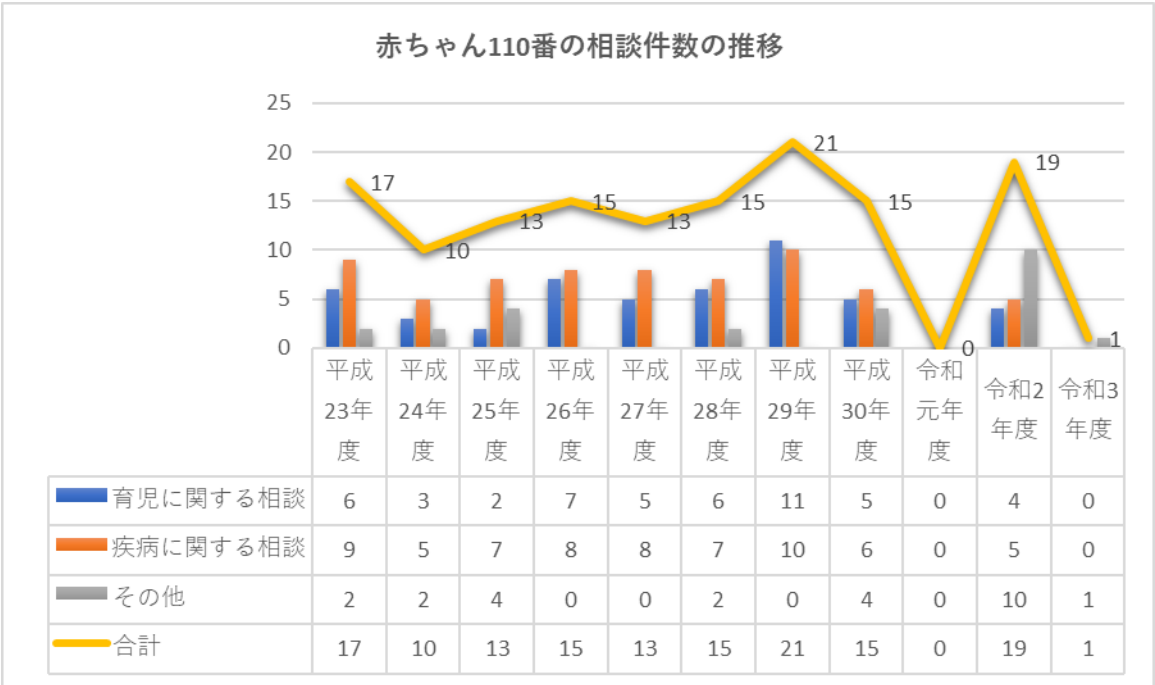
病院への引き継ぎ等　　：　0 件



(5)電話による育児相談　　1件

赤ちゃん110番電話相談の体制を整えておりましたが、一般家庭からの電話による育児相談はありませんでした。

（内訳）育児に関する相談　　：1件（授乳・夜泣き等）
疾病に関する相談　：0件（子どもの疾病を疑う相談等）
その他の相談　　：0件（一般からの入所相談等）



	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
育児に関する相談	6	3	2	7	5	6	11	5	0	4	0
疾病に関する相談	9	5	7	8	8	7	10	6	0	5	0
その他	2	2	4	0	0	2	0	4	0	10	1
合計	17	10	13	15	13	15	21	15	0	19	1

資料11　令和３年度　施設整備、改修･修繕工事等報告

施設整備等一覧

1. 固定資産計上取得物品等

①建物・建物取得支出

内　容	数量	設置及び使用場所（使用者等）	金額
無			

②機械及び装置取得支出

内　容	数量	設置及び使用場所（使用者等）	金額
無			

③器具備品取得支出

内　容	数量	設置及び使用場所（使用者等）	金額
オゾン空気清浄機　EZ100	5	応接室　@349,800.－	349,000
乳幼児突然死防止用無体動センサー：シエスタBeBe	5	児童居室等　@110,000.－×5台	550,000
電気温水器（容量25ℓ）	6	観察室　@250,000.－	250,000
電気温水器（容量12ℓ）	1	診察室　@230,000.－	230,000

④機械及び装置　除却

内　容	数量	設置及び使用場所（使用者等）	期末帳簿額
無			

2. **施設整備取替・補修等工事**(10万円以上)

実　施　内　容	金　額
外部配管･電気温水器設置工事	5,390,000
さくら保育園認可用防火間仕切り壁改修工事	1,595,000
単相200ボルト配線敷設工事	144,100
誘導灯取替え工事2箇所（2階廊下･プレイルーム）	110,000

※老朽化による環境整備として

資料 12 施設運営改善等

令和 3 年度 運営等改善報告

(1)苦情･要望受付

･処遇、運営に関する苦情･要望等　7 件（苦情対応 3 件 ・ 要望 4 件）

区分	内容	件数	
苦情対応	職員の資質・マナーについて	2	3
	入所児への対応について	1	
要望	コロナ禍の面会について	3	4
	保護者への連絡体制について	1	

① 苦情対応の内容について(3 件)

No.	区分	発生年月日	申出人	内　容	対　応	備　考　等
1	苦情対応	令和3年6月10日（木）13:40頃	氏名不詳	買い物送迎プロジェクトに派遣した職員が、右折信号になってから歩行者用横断歩道を渡って危なかったと、右折信号待ちをしていた運転手から指摘を受ける。運転者は店舗駐車場まで入ってきて、公用車の写真を撮っていたため、別の同行職員が声を掛けると上記の事を話し､立ち去られる。	当該職員に確認すると、青信号を渡ったと主張をしたので、職員の後を追って店舗駐車場に入り、法人公用車の写真を撮っていることが尋常ではないことや、買い物送迎事業の主旨を伝え、利用者等の安全第一の対応を心掛けることや、苦情対応には十分注意するように指導を行う。	運転手が店舗駐車場まで入ってきて、法人公用車の写真を撮っていることから、何らかのアクションがあることが考えられたので、同日中に同行メンバー及び法人に報告を行う。 ※直接寄せられたものではないが苦情として対応する。
2	苦　情	令和3年6月30日（月）	派遣職員	シルバー人材センターの派遣担当者より報告洗濯業務に派遣している方から、当園の男性非常勤職員が洗濯室の汚物槽を長時間使用しているので仕事ができず注意したら、高圧的な態度で「シルバーにいうぞ」と言われた。洗濯業務をしているのは女性のため、威圧的に言われたり、一人しかいないところに入ってこられると怖くて仕方ないと言っている。	施設長より当該女性派遣職員に謝罪を行うと共に、男性非常勤職員に事実確認を行う。男性職員には自らの態度を改めること、立場上シルバー人材センターへの報告をする権限がないことや、自らの立場を考えて行動することを指導し、施設長の許可無く洗濯室に入ることを禁止した。	
3	苦情対応	令和3年12月25日（土）11:00頃	実習生	実習初期のオリエンテーション時に、実習初日の昼食時、食事介助をしている職員の注意が厳しく、頭を叩いていたように見えたと実習生から報告を受けた。	報告を受けた翌日指導職以上に報告、当該職員の監視強化を指示する。実習生の評価終了後に当該職員に確認すると、措置変更を控えた子ども達が食事中に落ち着かず、自分の指示を聞かないことから感情的になったことを認めたので、始末書を取り指導を行う。	内部通告者保護制度や、実習生という立場上実習中の評価などに不利益が生じないように配慮したので、当該職員への確認迄に時間を要してしまった。実習生は養成校で指導教授達にも報告をしており、養成校からも顛末についての確認があった。

② 要望について(4 件)

No.	区分	発生年月日	申出人	内　容	対　応	備 考 等
1	要 望	令和3年4月13日（火）	保護者 実母 継父	特別養子縁組対象としていた児童の保護者が再婚して、継父と養子縁組をしたので、児童養護施設に入所している兄と同時引取を希望する。コロナ禍における面会制限を行っている中で、早急な引取や、複数人の面会等の要望がある。	実母が本児を特別養子縁組対象の里子にしていたため、入所以来殆ど面会をしておらず、本児も里親委託対象であったので、実母に対して母親という認識がなく、2歳を過ぎており、消極的な性格上、場面緘黙や、かなりの人見知りをすることから、家庭引取という方針変換であれば、先ず実母との関係の再構築をする必要があること、コロナ禍であり、感染対策上、面会者は1名に限定しているため、まずは実母との面会を通して関係作りをしていくことの了解を得て、実母との面会を月1回から始めることとした。兄と同時引取にはならないことの了解も得る。	
2	要 望	令和3年5月26日（水）	保護者 実母 継父	特別養子縁組対象としていた児童の保護者が再婚して、継父と養子縁組をしたので、家庭引取を希望する。コロナ禍で面会者を1名に限定したりする面会制限を行っている中で、兄や継父との複数人の面会させるようにという要望がある。	実母との面会を通した関係作りをしていたが、思うように関係作りが進んでいないが、継父には順調に進んでいる報告をしていた。緊急事態宣言が発令され、継父の勤務する介護施設内でのコロナ感染もあり、園での面会を中止しなければならなかったので、インターネットのzoomを使用したWEB面会を実施することになり、兄との面会中に、兄の後ろに継父が写るなど段階的に面会対象を増やして、本児の心理的な負担を減らしながら面会を進めていくことを提案して了解を得る。	
3	要 望	令和3年8月18日（水）	保護者 実母	コロナウィルス感染症の蔓延から緊急事態宣言が発令されて、月1回実施していた面会の制限を行った。本児の母親の勤務先が宿泊施設であり、ベッドメイク等の清掃業務が主なので、面会を中止させて貰ったところ面会を希望する連絡が頻回に入る。	コロナ禍で緊急事態宣言下でも母親の勤務先には東京等からの車が多いという話しから、面会を中止したが、子どもの様子を聞く電話を連日かけてきて子どもの様子を聞くといいながら、自分の話を聞いて欲しい電話のため、zoom 面会ができるよと伝え、WEB面会を実施することとした。	
4	要 望	令和4年2月28日（月）	保護者 継父	入所児が遊んでいる時に歯を指さして「見て」というので確認したところ前歯の動揺と歯肉に内出血が見られたので、歯科受診を行い、児童相談所に経過を報告し、保護者に連絡をいれてもらったところ、土曜日だったため月曜日に連絡すると言われた。月曜日に児童相談所からの連絡を聞き、母から電話が入ったので、詳細を伝え謝罪を行う。 翌日の火曜日にWEB面会時に、継父にも報告をしながらの面会をするが、継父から児童相談所からではなく、みどり園から直接連絡が欲しかった。今後はそうして欲しいと要望される。	女性職員がケースワークしているみどり園では、謝罪以外の保護者に対する報告は、児童相談所の担当者からして貰うことを伝統的にしてきたが、可能な限りみどり園からも経過報告をするようにしたいと思う。 個人情報保護の観点から、保護者の情報を管理職が厳重に管理しているため、不在の時には保護者の連絡先等が一般職員には分からないので、児童相談所に連絡して貰う方法をとっていたが、園から連絡できるように改善方法を考えることとする。	

(2)人事考課実施

人事考課を実施し、結果について職員への個別面接を実施し、令和 4 年度の職員の給与へ反映させました。

(3)自己評価

令和 3 年度も自己評価・第三者評価委員が中心となり、年間 15 回の自己評価委員会を開催し、みどり園の現状を評価項目と照らし合わせた自己評価を実施し、令和元年度に作成した中長期計画との比較・修正を行い、改善に向けて新たな中長期計画を作成しました。

自己評価委員会:　年 15 回実施

以上

企業主導型保育事業　さくら保育園

事業概要報告

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中で日々感染症対策を徹底しておりましたが、令和４年２月３日に園児１名が 38 度の発熱、医療機関に受診「コロナウイルス感染症の陽性結果」を受け、室内消毒等を行い令和４年２月４日から２月 10 日まで臨時休園（７日間）とし他園児６名と保育士４名は濃厚接触者のため、富士保健所と富士市保育幼稚園課に「濃厚接触者リスト」を提出、静岡県健康福祉部こども未来局には「新型コロナウイルス感染発生状況報告書」を提出いたしました。保育園再開の前日に園児と保育士並びに保護者の陰性が確認でき、11 日より保育園再開となりました。

法人の多様な就労形態に対応する就業環境（仕事と子育ての両立）を整え、職員の雇用の安定を図ることを目的に令和２年３月より開設いたしました。

令和３年度は、園児６名でのスタートとなり、５月に育児休業明け職員の園児をお預かりし、７名となりました。内訳としては２歳児が２名、１歳児が４名、０歳児が１名でした。

今年度は２歳児の園児２名と１歳児の園児２名が卒園となり、初めての卒園式を行いました。

基本目標報告

1．子どもたちが安心して楽しく毎日が過ごせるよう、施設環境を衛生的に保ちます

恩賜記念みどり園の２階プレイルームを保育室・ほふく室、食堂のスペースを遊戯室とし、さくら保育園を開設しており、様々な感染症を考慮し、アルコールタオルを使用し昼・夕方の定期的なおもちゃのふき取りやドアノブ・スイッチ等の消毒を行って参りました。

毎月の製作を行い、入り口には子どもたちの製作品を飾るなどして、季節や行事に触れながら、子どもたちとコミュニケーションを図って参りました。

2．子どもたちが自立的に生きる力を培うために、一人ひとりの育ちを踏まえた計画を立て、保育を実践します

発達記録を見ながら、個人の指導計画は１・２週、３・４・５週と月２回に分け作成し基本的な発達の指標はありますが、個々の性格、特徴を踏まえた上での活動を心がけてまいりました。少人数である強みを活かし、製作活動に絵具・シール・クレヨンなどを組み合わせながら様々な内容にチャレンジしたり、興味のある事は「どんどんやってみよう！」の思いで、年齢の小さな子どもたちにも年上の子どもたちのやっていることに触れ合わせたりしてまいりました。危険が伴う場合には、制止する事もありますが、子どもの自発的な活動を大切に、出来る事はのびのび出来るように、見守る事も大切に生活習慣が身につけられるよう、食事・排泄・着脱など年齢や個々の性格に合わせて介助するとともに、子どもがチャレンジしている時には待つ事を心掛けて取り組んでまいりました

ALIENS

りんどうかい

幼児
野菜&フルーツ

2021/10/25 09:26

3. 職員の専門性を高めるための研修の機会を取り入れて、資質向上を目指します。

今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、研修会への参加は定員の大幅な減少に伴い応募するも参加が難しい状況にありましたが、Ｗｅｂ研修も増加した中で、感染症対応やアレルギー講座などの参加ができました。

また、今年度は静岡県内の研修に限り会場で開催され参加者とのコミュニケーションを図ることができました。

児童育成協会のキャリアアップ研修に参加し Zoom を使って、他園の先生方とお話しする機会もあり、貴重なお話を伺うことができました。

4.保育利用状況報告

開園日・時間

開園日・時間	月曜日～土曜日（祝日も開園）　7：00～18：00
休園日	・日曜日 ・年末年始（12 月 30 日～1 月 3 日）

利用園児　月別状況

月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
0 歳児		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1 歳児	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2 歳児	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

月別登園状況

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
遅刻	1	0	3	1	0	2	1	1	0	0	0	0
早退	3	2	2	9	3	3	5	7	12	2	2	3
欠席	14	41	17	33	12	17	17	18	29	27	18	38
その他				忌引2								

遅刻の主な理由は、通院、私用などでした。また、早退の主な理由は、登園後の発熱・体調不良、保護者の都合など、欠席の理由は、園児及び家族の体調不良、私用のためでした。さらに新型コロナウイルスの感染症対応として、同居家族が濃厚接触者になり経過観察のため休園又は保護者の勤務先でコロナウイルスの陽性者が出たため、観察期間の 1 週間休んだ園児児もおりました。

5.感染症等状況報告

4月より発熱にて欠席の園児がおり、4月末から高熱が続きRSウイルスと診断された園児が1名おりました。その後も園児たちが順番に発熱をし、8月頃まで病気欠席が続きました。RSウイルスの診断は1名のみでしたが、風邪症状がみられる園児が多かったのが現状です。

そのため、みどり園の看護職員に助言をいただきながら、エアコンの使用方法および消毒方法などについて見直しを図りより一層の感染症対策に努めました。また、みどり園から借り受けたオゾンエアクリアを使用して、日中の空気清浄機の運転と閉園後のオゾンガスによる燻蒸をおこないました。

10月、11月は鼻水や咳などを伴う風邪症状がある子がみられ、発熱で早退や欠席をする園児が数名おり、12月の初めに自宅で嘔吐があり欠席した園児が1名、その後、嘔吐の症状で欠席する園児が続きました。

なお、終息したかと思われましたが、再び12月の終わり頃に嘔吐で欠席した園児と1月の終わり頃にも同じ日に嘔吐で2名欠席するなど、おなかの風邪、胃腸炎が流行した時期となりました。保育園の対応としては、胃腸炎のウイルスはアルコールが効かないことも考慮して、次亜塩素酸を使用した、手指消毒、空間消毒等を行いました。1月には同居家族が新型コロナウイルスの濃厚接触者になり、経過観察でお休みするなど、コロナウイルス感染症関連の欠席が3月まで続きました。

6.行事参加報告（みどり園の行事に参加）

4月中旬より保育園の園児が風邪症状や発熱等が続いたため、みどり園との交流を中止とさせていただき行事参加が少なくなりました。

そんな状況でしたが、お楽しみ会では一緒に作品製作や夏祭りでの屋台体験させていただき、園児たちからは「また、いこーね」と言う言葉が聞かれ、楽しく貴重な経験になりました。なお、後半は風邪などが流行り、リトミックやわらべうたの会にはほとんど参加する事ができましたが、子どもたちは段々と室内の雰囲気に慣れてきたのか、保育者から離れて参加するようになったり、講師の先生と手を繋いだり、触れ合い遊びを一緒にしたりと楽しんで行っている姿が見られるようになりました。また保育園に戻ってきてからも、リトミックで行った歌を口ずさみ「(リトミック) やったねー！！」と嬉しそうに報告してくれます。人数の少ない保育園ですが、リトミックなどに参加する事で、みどり園の子どもたちと交流したり、赤ちゃんを見て「可愛いね」と嬉しそうにするなど、良い刺激にもなっているのではないかと感じました。

7.健康診断報告（令和３年度：２回目）

嘱託医（青葉クリニック：鈴木勝己医師）による令和3年度2回目の健康診断を実施しました。

日　　程	時　間	診察場所	受診園児数
4月15日（木）	15：00～15：40	みどり園応接室	5人
4月22日（木）	15：00～15：15	みどり園応接室	1人
10月14日(木)	15：00～15：40	みどり園応接室	4人
10月29日(金)		青葉クリニック	3人

8.歯科健診報告

嘱託医（片岡歯科医院：片岡俊夫医師）による令和3年度の歯科健診を実施しました。

日　　程	時　間	診察場所	受診園児数
10月14日(木)	13：00～13：40	みどり園応接室	5人

9.令和３年度静岡県立入調査実施報告

令和3年5月26日（水）に静岡県健康福祉部福祉長寿局福祉指導課による立入調査を受け、令和3年6月30日付け福指第37-5号により静岡県健康福祉部福祉長寿局福祉指導課長通知を受理いたしました。改善指示：2項目の指導を受け、速やかに改善を図り改善報告書（令和3年7月1日付け）を提出いたしました。

10.令和３年度巡回指導実施報告

令和3年11月10日（水）に公益財団法人育成協会（巡回指導員：竹内光子氏）による企業主導型保育事業指導・監査基準に基づき巡回指導を受けました。

11.令和３年度指導監査（電話による調査）と結果通知書受理

令和3年12月7日（火）に公益財団法人育成協会（担当官：吉田啓志氏、川口浩氏）による企業主導型保育事業指導・監査基準に基づき2時間（14：00～16：00）指導を受け、令和4年2月14日付けにて「立入調査結果通知書（書類調査）を受理いたしました。改善事項：9項目、口頭指示事項：10項目の指導を受け、速やかに改善を図り改善報告書（令和4年3月14日）を提出いたしました。

12.新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金の交付（決定）

新型コロナウイルス感染症対策事業として保育環境改善等の経費として令和４年２月22日付けにて補助金262,000円の交付（決定）通知書を受理しました。

13.環境整備

保育室東側の壁改修替工事を実施しました。

実　施　日：令和３年４月12日から16日

工事金額：1,595,000円（基本財産：建物取得支出）

保育室の照明器具をLEDに取替工事を実施しました。

実　施　日：令和３年10月19日（火）

工事金額：122,100円（修繕費）

遊戯室改修工事

LED照明工事

14.事故記録

総事故報告　26件

（1）衝突・転倒　　19件

（2）はさみこみ　　1件（他の園児が窓を開け、手の指を挟む）

（3）児童間の事故　6件（かみつき５件、ひっかき２件）

インシデント　４件

年月日	発生場所	発生状況と対応
令和3年5月3日	サンデッキ	サンデッキで子どもたちと遊んでいると、救助袋の下にねじが落ちているのを職員が発見する。落ちていた周辺を確認すると、救助袋の箱のねじが外れていたため、その場で付け直す。

令和3年6月7日	保育室	室内の柵の脚が 15 センチほど出ており、走っていて躓いて転倒。上手に手をついていたため、けがはしなかった。保育士が脚の近くにいるか、走らないように声をかけるようにした。(躓いた脚は 4 本あるうちの一番入り口近くにある為、スペースが狭い所にあった)
令和3年10月8日	ひまわり幼稚園前遊具	シーソーに乗って遊んでいた時に、シーソーから降りようとし、介助しようと反対側から向かうが間に合わず、左側面から落下。擦り傷等、特に見当たらず、下になった方の腕や肩もしばらく様子を見ていたが、その後は通常に動かして遊んだり、上にも挙げたりもしていた。
令和4年3月17日	サンデッキ	風で縛ってあった風船が飛んでいったのを見た園児がその直後持っていた玩具(おままごとのミカン) を柵に向かって投げ、下に落としてしまう。芝生に園児がおらず、芝生の花壇に落ちた。コンビカー、ボール以外はサンデッキに出さないように徹底する。ボールも投げ出さないようにする。

15.避難訓練

実施日	訓練内容	参加児童数	参加職員数
令和 3 年　4 月　8 日	火災想定避難訓練	5	3
令和 3 年　5 月 14 日	地震想定避難訓練	3	4
令和 3 年　6 月　8 日	火災想定避難訓練	4	4
令和 3 年　7 月 31 日	地震想定避難訓練	2	2
令和 3 年　8 月 12 日	火災想定避難訓練	4	2
令和 3 年　9 月　1 日	総合防災訓練	7	4
令和 3 年 10 月　8 日	火災想定避難訓練	5	3

令和３年 11 月　１日	総合防災訓練	7	3
令和３年 12 月　９日	地震想定避難訓練	2	2
令和４年　１月 13 日	火災想定避難訓練	3	3
令和４年　２月 24 日	地震想定避難訓練	4	3
令和４年　３月 31 日		3	3

※みどり園と合同で実施するが、保育園の休園や感染症対応で交流が不可能なときは単独で実施。

16.研修記録

１．外部研修

No.	開　催　日	内　　容	開催場所	参加人数
1	令和３年７月 28 日 ～ 令和３年７月 30 日	令和３年度静岡県保育士等キャリアアップ研修 「幼児教育」	プラザヴェルデ （沼津市）	2
2	令和３年 10 月 26 日 ～ 令和３年 10 月 28 日	令和３年度静岡県保育士等キャリアアップ研修 「保護者支援・子育て支援」	プラザヴェルデ （沼津市）	2
3	令和３年 11 月 12 日 ～ 令和３年 12 月７日	令和３年度社会福祉施設等 職員防災研修会	Ｗｅｂ研修	3
4	令和３年 11 月 15 日 ～ 令和３年 12 月 12 日	令和３年度企業主導型保育研修 キャリアアップ研修 「障害児保育」	Ｗｅｂ研修	1
5	令和３年 11 月 29 日 ～ 令和３年 12 月 26 日	令和３年度企業主導型保育研修 キャリアアップ研修 「マネジメント」	Ｗｅｂ研修	1
6	令和４年２月 18 日 ～ 令和４年３月 10 日	令和３年度ファミリーソーシャルワーク研修会	Ｗｅｂ研修	1
7	令和４年３月５日	令和３年度子ども虐待対応・医学診断研修会	Ｗｅｂ研修	1
8	令和３年 12 月 22 日 ～ 令和４年　３月 20 日	令和３年度企業主導型 保育事業施設長研修	Ｗｅｂ研修	1

2. 法人内研修

No.	開 催 日	内　容	開催場所	参加人数
1	令和 3 年 4 月 9 日	新任職員研修	みぎわ園：地域交流室	1
2	令和 3 年 9 月 1 日	総合防災訓練	みどり園：芝生	1
3	令和3年10月13日	ハラスメント研修：WEB	みどり園：会議室	1
4	令和4年2月15日	プレイセラピー研修：WEB	みどり園：会議室	1
5	令和4年2月28日	普通救急救命講座	ひまわり園：食堂	1

3.施設内会議（基本：第２火曜日　13：00～14：00）

開　催　日					
4 月 13 日	5 月 12 日	6 月　8 日	7 月 13 日	8 月 10 日	9 月 14 日
10 月 12 日	11 月　9 日	12 月 14 日	1 月 17 日	2 月 17 日	3 月 10 日

特別養護老人ホーム　みぎわ園

主要事業報告

令和３年度の事業報告にあたり、昨年からの新型コロナ感染対策に始まりコロナ感染防止の渦中にある事業年度でありました。

４月の事業開始期は、アルファ株が落着き始めて面会制限の解除をとの矢先、デルタ株とした変異株による感染まん延の事態による非常事態宣言が発令、またも面会の制限となり、年明け１月頃よりは、オミクロン株へと変異したコロナウイルス感染による未曾有の感染流行を観て、まん延防止特別措置法による制限でした。これも延長、延長を繰返して、今は BA.2 なる亜種株での警戒となっています。

この１年間、面会の禁止と解除とをくり返し、これに係る感染防止委員会（13 回）、入居者職員向けのワクチン接種（3 回完了）と、感染の防止に向けた努力と、含めて職員の葛藤は計り知れない所です。幸いにして老人部門事業所内での感染発症は防止され、保全維持されている事は、ひとえに職員への努力を評価するものです。

このような背景の中で、介護ケア上発展したものの一つに、ユニット内でのレク活動への取組みが挙げられます。面会が叶わない中、入居者への思いを汲取り、介護スタッフが思い思いの工夫を凝らしての創作レク活動は、次に繋がる介護ケアの一つになると思います。（ケーキコンテスト・中庭バーベキュー会・お菓子つくり等々）。加えて、音信を絶やさないとしてユニット新聞、ユニットだより等の発行を始め、ご家族への近況報告として写真を添えて送付する等、新しいレク活動が展開されています。

職員研修に於いては、対面受講の中止が相次ぐ中でリモートでの研修としたインターネット利用の受講が主流となり、Wifi 設備と専用ブースを整えての研修スタイルは、次世代型の有り様が展開された一年でもありました。

政府によるコロナ関連補助施策「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」と称して、支援補助金及び介護職員等への給与改善の供与が謳われ、年度末早急での規則改定を進めた所です。ただ介護保険料受益者負担の増額へと繋がるのではないかと懸念はされるところでもあります。

このような落着かない中でも、日々の介護支援に於いて 100 歳を迎える入居者、利用者の誕生祝賀会を迎えることができ、長寿日本の実際を感嘆した生活背景もありました。

特養入居系サービスに於いて、今年度は入退居者の多さが特異的で、入所基準介護度３以上として身体的には重度化した入居者、度重なる面会禁止の動きなど、外との関わりが減り、寂しさなどが何やら影響されているのかとも推測される所です。結果として特養の稼働率は、例年にない落ち込みがありました。

反面在宅系サービス、取分けふようデイサービスの稼動実績が高く、職員の努力もあり介護事業全体の安定化に繋がったと思われ、移転に向けての布

石は出来つつあります。

設備整備については、省エネを念頭に 6 年計画の LED 照明設備も 3F 地域交流室エリアを最終に完了しました。エネルギー需要を考慮した時、必要な処置がとれたと思います。

介護上の設備として車椅子の機種変更での全面入替え、エアーマット、ベッドアームのＬ字柵設置など、自立とケア上の支援補助に向けた今世代型へと設備して、より安全で安定した生活備品として用立てています。

その他には、経年劣化で危険性あるエレベーターの作動基盤及びドアの修繕、トイレ換気扇の手動化による使い勝手の改善修理、浴槽、給食炊飯器の入替、看板の補修など、コロナ感染対策としては、各玄関口への手指洗浄のための手洗い設備、介護職員用にワンケア・ワンプッシュとして介護手技上での消毒の徹底と備品購入、研修用ブースの設備など予算計上の実行ができました。

実施報告Ⅰ

１．介護人材の確保に向けた取り組みと環境整備

人材確保について新卒学生の確保は出来ましたが、予定人員には至っていません。ただ中途採用での必要人材の確保（8 名）は出来、事業実施には問題はありませんでした。また外国人介護人材補充について 2 名の採用を予定していましたが、コロナ感染予防の関係上、未だ入国ができない状態です。

２．職員のスキルアップと定着に向けた研修

各種研修は中止や延期の状態が続き、受講再開は WEB（リモート）研修という形で画面へ向いての研修となっています。その中でも法的に必要な受講研修及び内部研修に於いては担当者の努力もあって、職員全体研修として成果は観ました。

３．ＩＣＴ活用に向けた取り組みの研究検討

スマートフォン等を利用しての介護管理システムの導入については、コロナ禍で検討内容での動きが取れませんでした。次年度への保留とします。

４．地域貢献活動に向け、各種団体等への参加と支援

包括支援センターの活動において、各種団体の参加について年度初め 2 ヶ月と、11 月頃からの活動は、コロナ感染の合間での結果でした。みぎわの里に於いても地域との関わりを検討していましたが中止となってしまいました。この状態も 2 年続いています。

実施報告Ⅱ

１．経年劣化に伴う設備器具機器の更新と就労環境の整備を図る

１）在宅系送迎車両の整備を図る

みぎわの里配備軽車輌の入替を行いました。　車輌運搬具　374,000 円

２）各ユニット内での汚物処理に関する検証を進める

当初、ランドリー内設備の汚物専用洗濯機を処分し、各ユニットで同洗濯機の検討を進めたが、場所、時間的能力等の問題を解消できずに保留としています。

３）標準タイプ車椅子の更新と配備車の見直し

身障者用車椅子（ティルトリクライニング車椅子)、座位保持の難しい方で角度調整が可能な車輌を 4 台の配備　　器具及び備品　508,000 円

標準型車椅子の入替については、設備後 18 年経過の下で座面幅、フットレスト、アームレスト等の動きができ、移乗時の負担を軽減するとして 40 台の入替。　　消耗備品費　1,060,000 円

４）腰痛防止に向けた補助器具の検討

当初の補助器具については、入浴内でのサポートが難しく再検討の下で、体重の多い方用で立位、移動を軽減する器具（Hagu）へと結論を得て、Ｒ4 年の配備としました。

５）パソコン（Windowz-10）の入替

プラン作成、請求業務等での２台の入替（相談室）を実施しました
器具及び備品　　379,280 円

６）職員休憩室等の整備

検討を進める中で、現状を建物内部配置では難しく継続検討としています。給食休憩室については、R4 年度修繕実施としています。

７）エアーマット・L 字ベッド柵の設備

入居者の身体機能低下の伴う褥瘡対策とベッド起床時の安全確保のための補助具の設備を行いました。　　消耗備品費　636,000 円

８）ベランダ側溝の安全処置の工事

ショートスティ前のベランダに設置されている雨水処理用側溝に歩行時足を取られるなどの危険があり、安全処置のため甲蓋を敷設する工事を行いました。　　修繕費　　235,000 円

9）外国人技能実習生用宿舎の改修

西部包括支援センター2階の職員宿舎の一部を2人用で居住できる技能実習生宿舎として、本年来日の2名の住まいとして整備改修したがコロナ感染予防等措置もあり出国できない状態が現状続いています。

修繕費　1,550,000円

10）3階エリアのLED照明設備

6年計画の最終年であり3階地域交流室照明のLED照明へと入替え本館内照明のLED化を終了しました。残り中央階段等のLED非常照明等については、R4年度での計画としています。

建物付属設備　1,375,000円

11）エレベーター基盤交換について

開設後18年経過の中で、2基のELV制御基盤の劣化があり、故障の可能性が高く、人身上保安のため交換が必要であるとの指摘を受け、工事を行う事となりましたが、基盤等の納入が世界的な半導体不足の影響で工事が遅れ、この間に外側開閉ドアのワイヤー切れが起こり、急遽修繕をしました。

（ドア修繕費：150,000円・基盤入替修繕費：1,100,000円）

修繕費　1,250,000円

12）給食厨房内2段式炊飯器の入替

経過18年の備品でドアの不具合、ガス漏れ、炊飯能力の低下等もあり、入替えを実行しました。　器具及び備品　410,300円

13）3階地域交流室履き出しドア電子錠の改修

電子錠の劣化による誤作動が多発し、その用途が維持できないとして加工修繕を行い、電子錠から手動でのセキュリティ錠へ変更しました。（12ヶ所）　修繕費　174,900円

２．福祉避難所運用と災害、感染対策の充実を図る

1）非常時備品の整理と保守

県社協より防災ボランティア協会関連事案で、県東部地区風雨災害等の非常時災害支援の一環で、県社協主導で富士市に防災備品の拠点を整備したいとして、みぎわ園への依頼がありました。備品倉庫2棟設置し、災害時に備品持出が容易にできる位置的環境を考慮しての依頼でありますが、コロナ禍でもあって設置には至っていません。

2）感染防止に向けた消毒機器の検討

コロナ感染対策では、個人個人の予防意識の高揚と標準予防策の徹底を図るとして、職員、来訪者の玄関2ヶ所へ手洗洗面承知の設置、リモート研修用のための専用ブースの設置、ワンケア・ワンプッシュとして介護の終了ごとでの手指消毒の器具の整備を行いました。

コロナ感染予防施策補助金による。

消耗備品費：ブース作成・消毒器具配備　352,550 円

修繕費：２ヶ所の手洗備品と給水設備修繕　425,000 円

３．ふようデイサービスセンターの移転事業に向けた検討

移転事業プロジェクト会議を隔月開催で行い年後半期からは専門アドバイザーの方々の助言等を受けて、年度末後半で全体像が整備され、次年度に向けて法人内建築委員会の検討を以て進めることとしています。

各設備・備品配備記録

みぎわの里軽車輌

ティルト車椅子 4 台

標準型車椅子 40 台

相談室用 PC2 台

エアーマット・L 字柵

ベランダ側溝蓋工事

技能実習生宿舎改修工事

技能実習生宿舎改修工事 2

3 エリア LED 照明工事

給食厨房 2 段式炊飯釜

3F 電子錠から手動鍵へ改修

感染対策ブース設置

部門：介護管理

実施報告

1. **家庭的な雰囲気の中で生活をして頂けるよう意識して、入居者一人ひとりに向き合い個性に合わせた支援が出来る様に工夫して行く。**

   今までの暮らしの情報を基に生活環境や習慣など、施設内でも継続して頂けるように心掛け、好きな物やそれまでの生活の意思に添った趣味の継続や音楽鑑賞などの支援を行う事が出来たと思います。

2. **入居者本人や家族が望まれる最期の迎え方など可能な限り事前に把握し、その時まで「その人らしく生きる」事に寄り添う。**

   ご家族の意向は、入居時に伺う事前確認書において、望まれるその時の治療や対応方法を確認しています。急変期には医学的見地に沿って医師の判断を仰ぎ、再度同じ確認をさせて頂き、意向に添っての支援が出来ました。ただ尊重されるべきご本人の意思の確認などの問題は今後の課題となっています。

3. **職員は、スキルの向上を目指し、内外の研修で自己研鑽に努め、専門職としてチームケアに関る。**

   R2 年度はコロナ禍で外部研修の多くは中止となりましたが、R3 年度はリモートでの研修が主流となり、15 講座の研修や資格の取得などの研修に参加し、施設内では伝達研修により全事業所職員が参加して、介護上のスキルアップの向上が図られました。

4. **入居待機日数や入院期間の短縮が出来るよう多職種で連携する。**

   可能な限り体調の変化や状態に対して早期発見を心掛けていましたが、入院延日数入退居者数など近年になく多い一年でした。入居稼働も目標（99.3%）は達成されませんでした。例年にない入退居者の動きについては、様々な要因が有りますが、特にコロナ禍で面会制限を強いられている中で、起り得る精神的な不安感が体調の変化をもたらしている事は否めないと考えています。

部門：看護管理

実施報告

1. **医師、多職種との連携を図り、情報を共有しながら協働して、入居者により良いケアが出来るよう努める。**

   多職種間で情報を共有しながら、入居者一人ひとりの状態把握に努め、体調変化がみられた時には速やかに嘱託医に報告する事で、必要なケアが提供出来るよう努めました。

2．ご家族にも「施設でできる範囲の医療」を理解して頂けるよう努め、随時急変時や終末期に対する意向を確認して行く。

入居者に体調変化がみられた時には、その都度こまめに状態を伝え、治療に対するご家族の意向を確認しながら、施設で出来る範囲の医療を理解して頂けるよう努めました。また、体調悪化が考えられる時には、早めに嘱託医からご家族への状態説明をして頂き、施設での看取りの確認をするよう心掛けました。

3．看取り看護においては、入所時からご本人、ご家族の思いを出来るだけくみ取り多職種で連携しながら、その人らしい終焉が迎えられるよう努める。

その方の生活歴、入所後の関わりの中から可能な限り入居者の思いをくみ取り、ご家族の意向も確認しながら、出来る限り苦痛なく穏やかに、その人らしい終焉が迎えられるよう努めました。

4．新型コロナ感染症を中心とした感染症に関する知識を深め、随時感染伝達講習会を実施し、感染予防対策の周知徹底を図る。

日々変化する感染状況の中で、定期の感染伝達講習会に加え、施設長の指示のもと随時感染対策会議を開き、新型コロナウイルス感染症を中心とした感染対策を徹底することで施設内での感染者の発生を防ぐ事が出来ました。また、施設内でのワクチン接種がスムーズに行えるよう努めました。

部門：給食管理

実施報告

1．介護、看護等多職種における情報共有に努めご利用者様の状況を常に把握し食べやすさに配慮した形態の改良を行います。

週３回のミールラウンド（摂食嚥下巡視）時の観察や看護、介護との情報交換を密にした結果、体調変化に応じた対応が出来ました。

2．各部署に寄り添ったレクリエーションや行事食の提供を行います。

在宅サービス利用者の方々へのレクリエーション、行事食等に関して担当職員との連携を密にし、何度も話し合いを重ねコロナ禍での感染対策をしっかり行い進める事が出来ました。

3．厨房内の衛生管理を徹底し、安全な給食の提供を行ないます。

調理機器、機材管理の徹底と、異物混入ゼロをめざして業務を進めていましたが、異物混入についてはゼロにする事が出来ませんでした。今後についても衛生管理への意識向上を高めて行きたいと思います。

部門：１南ユニット（地域密着型小規模特養みぎわ園）

実施報告

1. 他職種と連携を図り、より良いケアの向上に努める。

ユニット職員だけでなく、看護・相談員・ケアマネ等と相談しながら小さな事でも相談し、また変化などあった時には直ぐに報告を行い、入居者により良いケアが出来るよう努める事が出来ました。

2. 居心地の良い空間づくりと、季節を感じられる生活を提供する。

入居者とのコミュニケーションを多くもって、入居者同士も居心地よく生活出来るよう職員間でも話し合いをしながら、より良い空間作りを心掛けました。季節ごとに壁画制作やレクリエーションを行う事が出来ましたが、コロナ禍での外出制限のため室内で出来る事を、より工夫し充実する事が出来たと思っています。

3. ユニット内での情報共有を確実に行う。

毎月のユニット会議で意見を出し合い問題や検討内容がある時は常に話合いの場を持って、職員全員が統一したケアが出来るよう努めました。

日常ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ風景

ボール遊びでソレソレ！

８月オリンピック応援！

輪投げ必死の一投です

射的やボーリング

焼き芋会

正月書初め

部門：１北ユニット（するが・さがみ）

実施報告

1．統一したケアが出来るよう日誌や個人記録、各連絡書類の活用を充実させ多職種を含め全員が共通意識を持てるよう努める。

日誌に記入する内容を個人個人に振り分けるようにした結果、日々の変化を詳しく知る事が出来るようになり、これらを基に個別ケアについて話し合う事も出来ました。ただ記録の記入忘れ、事故報告書も対策記入だけで終わるなど、記録業務の時間配分は今後の検討課題と思っています。

2．タッチケアを取り入れ安心して過ごしていただけるよう努める。

不安を抱えている方に対しては、タッチケアの手技を用いて話しを聞く姿勢は安心を感じて頂く事が出来ました。今後も継続して行っています。

3．「１北たより」を継続し入居者とご家族を繋げられるよう取り組む。

毎月日々の様子をご家族にお伝えする事が出来ました。今後も継続します。

4．月々のレクリエーションに加え、日常的なレクリエーションを充実させ楽しく過ごして頂けるよう努める。

昼食前のラジオ体操や口腔体操は行えました。これらは引き続き継続して、他にも種類を増やして行きたいと思っています。

5．職員個々の自己健康管理に努め、健全で安定したケアを提供できるよう努める。

体調管理には気を配り感染対策と併せて努めました。安定したケアの提供では、接遇、認知症への理解などスキルアップが必要性を感じ今後の課題となっています。

玄関前：小春日和の笑顔

自動販売機前:何飲もうかな？

お寿司レクレーション

夏祭りのワンショット

焼き芋美味しく出来る

お汁粉は美味しいね

部門：2F ユニット（くすのき・もくせい）

実施報告

1．報告、連絡、相談を徹底し職員同士の連携と情報共有に努める。

毎月のユニット会議の開催、職員同士の意見交換も円滑に出来ました。連絡については細かな所の伝達が出来ていなっかたりと、伝達方法を見直す必要がありました。

2．個別ケアの充実を図り、その方に合った生活を提供。

コロナ禍で「外食をしたい」などの希望には叶いませんでしたが、お寿司のテイクアウトや、ラーメン、お菓子作りをして散歩に出掛けるなど、出来る範囲で要望に添った提供は出来たと思っています。ただ発言が出来る方に偏ってしまいがちで、出来ない方への対応が不十分だったとも感じています。

3．ご家族との関わりを大事に、家族、他職種での介護に努める。

コロナ禍で、ご家族が面会出来る時期が限られてはいましたが、面会時の情報提供と共有は沢山出来ていたと思います。ただ、面会が中止の中、情報提供の少なさに反省が有りました。

お寿司パーティー

お誕生日会

ベビーカステラ作り

クルクル巻き巻き！

ライスペーパー大福

ケーキコンテスト

部門：3F ユニット（あしたか・あまぎ）

実施報告

1．その人らしさを大切にその人に合ったケアをして行きます。

ケアプランナーを中心に個々に合わせた介護ケアを実践する事が少しずつ出来ています。今後は職員全員が統一したケアが出来るようにするため、業務中心の仕事の流れもあるため、入居者中心という考え方を心掛けて行きたいと思っています。

2．入居者の立場になって物事を考え、優しく接して行きます。

日々の動きの中で優しく接する事ができ、良い雰囲気が作れましたが、時として忙しくなると言葉が荒くなったり、職員中心の考えで行動してしまう時もありました。普段通りの安定した気持ちで仕事のコントロールが課題として残りました。解決のために、業務分担などでゆったりとした時間を多く作ることなど改善を図り、入居者とのコミュニケーションを多く取ること、レクを行なう時間も作ることなど、今後の介護ケアを進める上で必要と考えています。

3.個人の課題、ユニットの課題を一つひとつ解決して行けるよう努めます。

ユニット会議で課題を見つけ、解決のために多く話し合うことができ、様々な点が解決出来ました。入居者個人の課題としては、それぞれに自己分析は出来ていても、解決に至らないことも多く、今後も継続してケアを含めたケースカンファレンスを行なっていく必要性を思っています。

オリンピック観戦

お寿司のテイクアウト

夏の花火会

クリスマス会

クリスマスケーキ作り

長寿 107 歳の誕生日のお祝い

部門：ショートステイみぎわ園

実施報告

1.報告・連絡・相談を深め、安全で安心して過ごして頂くケアに努める。

良好なチームワークのもと、日常的な報告・連絡・相談や連絡ノートや伝達メモを活用し、日常業務や課題に臨機応変に対応することが出来たと思います。引き続き情報を共有して、チームでの介護ケアに当たって行きたいと思います。

2.ご家族・看護部門と協力、協働して「誤薬０」を目指す。

看護部門と協力をして、ご家族にも薬の一包化や利用時の分類方法など協力を頂き、服薬管理に努めましたが、まだ誤薬ゼロには達成出来ませんでした。確認不足によることも原因として多く、引き続き丁寧に確実な服薬管理に努めて行きたいと思います。

3.ご利用者に楽しんで頂けるレクリエーションや季節行事の提供に努める。

日常的なレクリエーションの他にも、季節行事や創作活動を継続定期に行い、ご利用者の方に楽しんで頂くことが出来たと思います。

4.ご利用者・ご家族・職員間での日常の声掛けを大切にし、温かな雰囲気の中でのサービスの提供に努める。

日常のやり取りの中で笑顔も多く見られ、ご利用者からも雰囲気の良さを褒めて頂くことが多くありました。

5.一日平均 18.6 名、月間平均稼働率 93%を目指す。

一日利用者平均 18.7 名、月間平均 93.3%と目標を達成する事が出来ました。今後もご利用者・ご家族に満足して頂けるよう、引き続き努力したいと思います。

夏祭（職員による模擬店ｻｰﾋﾞｽ）

創作活動

敬老会行事

Xmas 会

（ご家族とのメリークリスマス）

節分行事

部門：デイサービスセンターみぎわ園（認知症対応型通所介護）

実施報告

1. 笑顔と笑い声の耐えない、安心して心穏やかに過ごせる空間を提供します。

ご利用者の方々が安心して過ごすことが出来、笑顔で過ごし笑い声がたくさん聞かれる空間作りに努めた結果、穏やかな時間の提供が出来ました。

2. ご利用者一人ひとりの持つ能力を見出し、生活歴を活かした役割作りや生きがい作りを支援します。

ご利用者と過ごす中で疑問に思ったことは、ご家族やケアマネジャーに聴いて情報を集め、個々に残った力に目を向け、役割作りやその時の生きがい作り、結果としてその時の達成感や楽しみを感じて戴けた支援が叶ったと思っています。

3. ご利用者、ご家族、ケアマネジャー、職員などがコミュニケーションを密にしてスムーズな情報交換、情報共有を行います。

コロナ禍、感染対策を十分にして、情報共有と関係者と協働でケアコミュニケーションを取ることは出来ました。併せて電話やFAXなどで細やかに情報を発信して、わかりやすく具体的な表現で伝えられるように工夫をしました。

4. 専門的知識や技術の向上に努め、多角的な視点で広く見守れるケアを行います。

職員1名が認知症実践者研修を終了し、実践者研修修了者が3名のもとで、日常の認知症ケアにおいては、高い専門性が有るとの評価を戴くことが出来ました。

5. 1日平均利用人数9.0人、月間平均稼働率78%を達成します。

年度途中で提供責任者の変更も有り、目標を達成する事が出来ませんでした。
加えてコロナ禍の影響で新規利用者の獲得が思うように得られず、利用者の増には至っていませんが、一人ひとりへの充実した認知症対応ケア出来るよう努力して行きたいと思います。

運　動　会

季節もの：梅ジュース作り

すいか割りゲーム

テイクアウト：お寿司パーティ

園内　福祉展

お好み焼きパーティ

部門：ふようデイサービスセンター

実施報告

1. ご利用者よりふようデイサービスを選んで良かったと思われるよう、スタッフ一丸となりサービスを提供していきます。

ご利用者より「本当に楽しい、今日もきてよかった」という声がよく聞かれ、一人ひとりニーズに合ったレクリエーションや季節行事を企画し提供しました。

毎月職員が試行錯誤して行事の企画をした結果、ご利用者の方々には大変喜んで戴きました。

2. 管理栄養士と連携し、創意工夫したより美味しい食の提供が出来るよう努めます。

「ここの食事は美味しい」とご利用者より、口をそろえてお褒めを戴き、残食も少ない結果が出ています。

3. ご利用者個々のニーズを把握し、先駆的なデイサービスが展開できる技術の向上や習得など、研修会等への参加による自己研鑽に努めます。

各種の研修会はコロナ禍、参加出来ませんでしたが、職員それぞれに自己研修でご利用者のニーズを把握したサービスの向上に努めました。

4. 一日平均利用人数 28 人、月間平均稼働率 80%以上目指します。

4 月より定員 40 名にしました。月によって波もありましたが、年間稼働率は 85.2%と目標を超える事が出来ました。

盛大な夏祭り

ブリ解体ショー

ハロウィンパーティー

力いっぱいの運動会

クリスマス会

（ふようデイ婦人会）
すいとん作り

部門：看護小規模多機能施設　みぎわの里

実施報告

昨年度に引き続いてのコロナ禍でありましたが、その中で職員が工夫して行事やレクリエーションを行い、いつもと同じようにご利用者に喜んで頂くことが出来ました。

毎月の行事や日々のレクリエーションはホームページで配信し、定期的に更新することも継続して行っています。終末期が近づいてきているご利用者の状況では、在宅医と連携してみぎわの里で２名、ご自宅で２名の方を看取りました。在宅生活を強く望み利用を継続していく中で、状態変化などに難しくなることもあり、その都度サービスの提供変更などを多職種連携して実施することが出来ました。

１．感染防止対策を周知し、安心して過ごして頂ける支援

定期的な換気、フロアやテーブルの配置の変更、アルコール消毒の徹底など感染防止に向けて実施して来ました。

２．季節を感じ、楽しく笑顔で過ごせる、穏やか環境作り

テラスには季節のお花を咲かせ、居室内の壁には毎月の壁画の作成や折り紙での装飾など、ご利用者は笑顔で穏やかに過ごすことが出来ました。

３．ご家族と共にご利用者の在宅生活（残存機能の維持・向上）の支援

日々の体操やレクリエーションに参加して頂き、機能の維持に努めました。

４．介護度３、及び宿泊率60％を目指します。

介護度平均３以上を達成する事が出来ましたが、宿泊率は平均56.6％稼働でした。

天気のいい日は
ひなたぼっこ

敬老会での演劇を
盛り上げます

ボールビンゴ
ひそかなブームです

部門：ふよう居宅介護支援事業所

実施報告

今年度も 4 名体制でケアマネジメント業務を行い公平適正な事業運営が行えました。プラン受持ち件数は平均担当 37.8 件と、今年度目標であった平均担当件数 36 件を達成する事が出来ました。

特定事業所として利用者の尊厳の保持と自立支援を重視しつつ、収益も考慮しての業務を行う事が出来たと思います。ただ一人当たりの担当件数のバランスを取る事は困難で、職員間のバラツキは否めませんでした。

次年度には人事体制を見ながら、早期に目標達成へ向けての努力をしてまいります。

部門：富士市吉原西部地域包括支援センター

実施報告

地域包括ケアシステム構築のため、介護予防事業や富士市介護予防・日常生活支援総合事業、富士市生活支援体制整備事業を推進して来ました。富士市において今泉地区をモデル事業地区として指定されたのを受けて講座を開催し、地域助け合い活動者への取材の実施、お宝発表会（地域助け合い活動）等開催の予定する中で、12 月以降はまん延防止緊急処置対策の影響で、取材の実施は次年度へ持ち越しとなりました。

昨年に引き続き、第二層協議体づくり残り 1 地区設置を目指して、関連機関へ働きかけも行っています。伝法地区においては、令和 2 年の動きの中で買い物難民支援を目的とした「伝法地区おでかけバス」の実証運行が開始されています。第二層コーディネーターとして地域住民と「おでかけバス」ボランティア参加の働きかけ活動や、周知活動等の連携支援を継続しています。

今後も主要活動の 4 事業に加えて、地域住民からの様々な問題に必要に応じて問題解決が出来る体制づくりと、多職種多機関連携をより一層強化して活動して行きます。

主要活動内容

(1) 総合相談事業について、独居世帯、生活保護世帯や障害等の様々な相談に対応しました。相談件数としては電話、面接等併せて 2,827 件の対応でした。

(2) 介護予防ケアマネジメント事業について、直営・委託合わせて月平均 438 件の対応をしました。

(3) 権利擁護事業について、虐待ケース等に対して早期対応に徹底し解決に向け取組み権利擁護相談、虐待相談など 27 件の相談に対応をしました。

(4) 包括的継続的ケアマネジメント事業としては、地域の居宅介護支援事業所ケアマネジャーへの後方支援（アドバイスを含む）活動、認知症サポーター養成講座については、年間 4 回の開催で 83 名の方々をサポーターとして養成を行いました。
エリア内のキャラバンメイトの方々との連携を継続的に行い、ネットワークの推進に努めました。

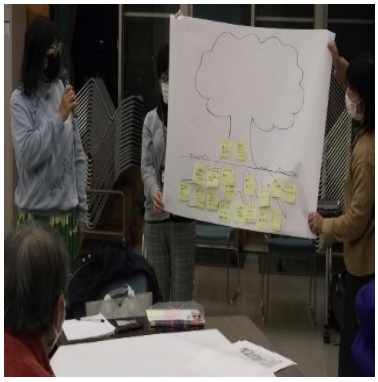
(5) 個別問題についての地域ケア会議を開催予定の所、コロナ禍の影響で見合わせることとなり、エリア内居宅支援事業所の資質向上研修は、リモートでの研修として開催をしました。『在宅におけるコロナ感染症の対応について』として、往診医による講義で 12 事業所 32 名の参加を頂き、新しい時代での研修スタイルとなっています。

添付資料１：介護予防給付実績状況

令和 3 年度　介護予防給付ケース表	包　括
直営件数	1,093 件
（内 総合事業件数）	768 件
委託件数	4,165 件
（内 総合事業件数）	1,428 件
総合計件数	5,258 件

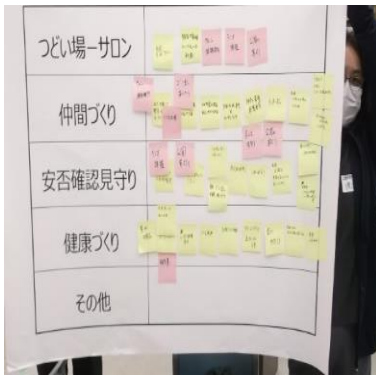
添付資料２　：介護予防・生活支援サービス事業実施状況

事業名	教室名	回　数	参加者総数
介護予防・生活支援サービス事業	脳の健康教室（1 教室 10 回）	1 回	132 名
	介護予防教室（1 教室 3 回）	3 回	98 名
	脳いきいき教室	0 回	0 名



地域お宝探し会議①

地域お宝探し会議②



地域お宝探し会議③

各委員会報告

レクリエーション委員会

コロナウイルス感染予防対策の影響もあり、夏祭りや富士市福祉展はみぎわ園館内での開催となり、ユニットごとに時間を分けて行い、運動会は各ユニットで行ないました。

季節の感覚を味わってもらうとしての入浴スタイルや委員会メンバーでのユニット出張体操を行ないました。

今年度は初の試みで「クリスマスケーキコンテスト」を全ユニット、ショートステイ、デイサービスでの開催として、眼と舌で皆さまに楽しんで頂くことが出来ました。

秋祭り

秋祭り

みぎわ園福祉展作品

みぎわ園福祉展作品

クリスマスケーキコンテスト
1 等賞

クリスマスケーキコンテスト

防災委員会

4 月	年間計画の策定
5 月	発電機の使用方法の確認、防災倉庫確認
6 月	夜間地震想定（みぎわの里）
7 月	発電機の使用方法の確認
8 月	全体防災訓練、地震想定（夜間帯）
9 月	全体防災訓練、地震想定（夜間帯）
10 月	全体防災訓練、地震想定（夜間帯）
11 月	ふようデイ火災想定避難訓練
12 月	全体防災訓練
1 月	倉庫整理

2 月	全体訓練、地震想定（夜間帯）
3 月	年間の要望と反省

- 実際に災害が起こった時に動けないため訓練回数を増やして欲しい。
- 夜間想定の訓練は常勤職員全員が参加出来た。
- 12 月に行った総合防災訓練は来年も実施して欲しいが、寒い時期ではなく暖かい時期に行って欲しい。（令和 4 年度は 9 月、3 月に行う予定）
- 夜間想定地震後の停電時訓練も出来て良かった。
- 訓練の度に改善が見られた。
- 発電機など機械の使用方法が分かって良かった。
- 訓練にはもっと真剣に取り組む必要がある。

① 避難経路での訓練

② 避難経路での訓練

③ 違う階からの避難訓練

④ 集合後の点呼

⑤点呼後の見守り訓練

ケア向上委員会

月	タイトル	研修内容	参加人数
4 月	年間計画作成	顔あわせ。一年間の計画の作成を行う。	9 名
5 月	コロナ感染対策	医務よりコロナ陽性者出た場合の対処方法の説明を聞き、ガウンテクニックを実践する。	12 名
6 月	体交について	いきいき病院より山中部長を講師に来て頂き、正しいポジショニング、拘縮ケアについて学ぶ。	9 名
7 月	腰痛予防	資料を使い腰痛予防について。腰を痛めてしまう 5 つの原因を知る。	8 名
8 月	正しい口腔ケア	片岡歯科の歯科衛生士により口腔ケアについて全身の健康を守るためにとても大切なことを学ぶ。	15 名

9月	ハンドケア	資料を使いメディカルタッチについて学び、手袋を人の腕に見立て実践する。	10名
10月	口腔体操	Youtubeの動画を視聴し口腔体操を学ぶ。 体操のやり方、口のレクリエーションを学ぶ	8名
11月	レクリエーション	レクリエーションの意義について。各ユニットでのレクリエーションの状況を話し合う。	9名
12月	レクリエーション	ふようデイ、みぎわの里で行っているレクリエーションを実践する。レクの進め方についても学ぶ。	9名
1月	フットケア	職員が研修で学んだことを伝達する。ユニットでフットケアについて悩んでいることを発表する。	9名
2月	口腔ケア	片岡歯科の歯科衛生士による実践的な講習を行った。義歯がある方とない方の歯の磨き方、義歯の磨き方を学ぶ	15名
3月	反省会	学んだことが実践できているかの確認。	8名

1年を通して各委員が介護ケアについての議題に沿って講習を行いました。
6月、8月、2月は外部の講師を招き講習会を開くことが出来ました。
毎回委員の職員が学んだことを各ユニット、各部署への伝達が行われたと思います。

事故防止委員会

1．各ユニットの困難事例に対して、委員を中心に各ユニットで検討し、ケアの改善、経過報告を行い事故の防止に取り組みました。
2．各職員が日ごろ感じている事故リスクについてアンケートを実施し職員間での共有を行いました。
3．事故発生時の連絡体制・服薬マニュアル・事故報告書の見直しを行いました。
4．毎月の事故報告・ヒヤリハットの集計を行い、年度末には各ユニット毎に年間の統計・分析を行い、事故が起きやすい状況についての情報共有を行いました。

安全衛生委員会

4月：年間予定の検討　　出席者10人
・安全衛生委員会の目的と役割について学び、R3年度の年間予定の検討を行う。
5月：5月病、6月病について（メンタルヘルス）　　出席者12人
・5月病、6月病になりやすい人とは？どうすれば抜け出せるのか？
周囲の人の気づきや声かけも大切だと学ぶ。
6月：鈴木栄養士による食中毒伝達講習会　　出席者23人
・食中毒の種類、発生要因と症状、予防策を学ぶ。

７月：新型コロナワクチン接種状況について　　出席者　9 人

・全国、静岡県、富士市におけるワクチン接種状況と、みぎわ園の接種状況の現状、最新の治療薬の情報等を学ぶ。

８月：産業医による講話「新型コロナウイルス感染症について」　出席者 14 人

・嘱託医である青葉クリニックの鈴木先生より、新型コロナウイルス感染症についての講和を聞く。

９月：舌圧と口腔機能について　　出席者 11 人

・舌の機能、役割と舌圧（舌の筋力）の大切さ、舌圧を改善させる為の対処法について学ぶ。

10 月：喫煙と健康について　　出席者 11 人

・全国的な喫煙率と、みぎわ園職員の喫煙率の比較。喫煙環境の現状と、望まない受動喫煙を無くすための取り組みについて考える。

11 月：感染対策伝達講習会

出席者　11/15（月）38 人・11/17（水）23 人・11/26（金）31 人

・新型コロナウイルスを中心とした感染症についての知識、感染発生時のガウンの着脱法、正しい手洗いについて等、感染対策の伝達講習会を行った。

12 月：健診結果と生活習慣病について　　出席者　9 人

・9 月に行われた職員健診の結果と全国定期健康診断の有所見者率の比較、特に有所見者数が多かった項目（血中脂質）について、知識と改善策を学ぶ。

１月：花粉症対策について　　出席者　9 人

・花粉症発症のメカニズム、症状、対策、治療法の一つである舌下免疫療法について詳しく学ぶ。

２月：皮膚トラブルについて　　出席者　8 人

・冬に多くみられる皮膚トラブル、手荒れの対処法と治療薬について学ぶ。

３月：アルコール依存症と健康障害　　出席者 10 人

・アルコールの有害性、アルコール依存症チェックリスト等、アルコール依存症にならないためにはどうしたら良いか学ぶ。

介護保険事業所関係資料

資料１　面会者数

（単位：名）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度
面会者数	6,596	1,131	1,391

（面会停止期間）　5/14～6/12・8/20～10/3・1/10～3/20　　計 146 日間

資料２　各事業所利用者平均年齢及び平均介護度（R4 年３月末現在）

		特養	ｼｮｰﾄｽﾃｲ	みぎわﾃﾞｲ	ふようﾃﾞｲ	みぎわの里	ふよう居宅
年齢	男	86.1	83.3	85.2	83.3	79.6	83.7
	女	89.9	86.4	80.2	85.3	85.7	85.7
	平均	89.2 歳	85.5 歳	81.9 歳	84.7 歳	83.2 歳	85.1 歳
介護度	男	3.75	2.48	2.83	1.89	3.00	1.41
	女	3.78	2.56	3.09	1.73	3.46	1.55
	平均	3.78	2.54	3.00	1.78	3.27	1.51

資料３　特養平均入居期間（R4 年３月末現在）

男性：43.4 ヶ月（3.61 年）	女性：43.7 ヶ月（3.64 年）	平均：43.6 ヶ月（3.63 年）

＊令和元年 48.6 ヶ月（4.05 年）・令和２年度 48.9 ヶ月（4.07 年）

資料４　令和３年度　特養入退居者件数

（単位：名）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入居	2	4	1	2	0	4	2	1	2	2	1	1	22
退居	1	4	1	2	1	4	1	1	2	2	2	0	21

資料５-１　年度別特養入退居者

（単位：名）

	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
入居	22	17	17	15	22
退居	22	16	17	16	21

資料 5-2　入院人数及び延日数

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
人　数	13 名	8 名	10 名
延日数	316 日	122 日	171 日

資料６　外来受診一覧

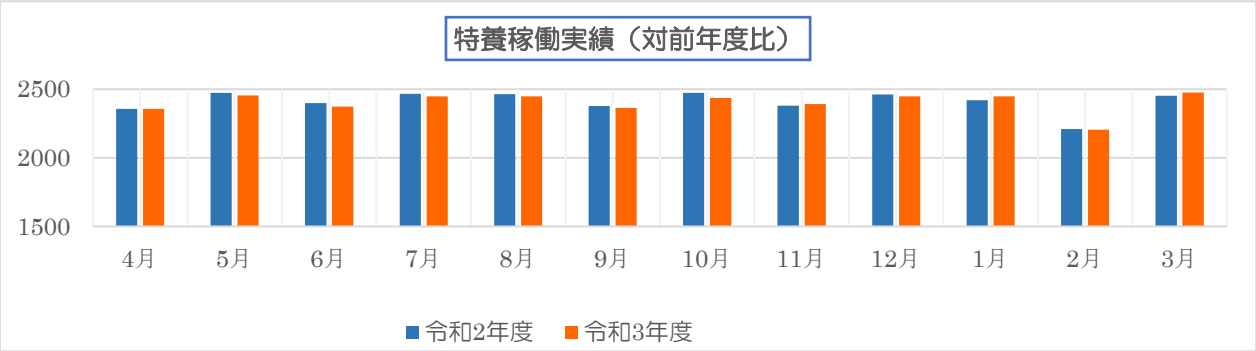
受診医療機関	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
青葉クリニック	21	17	21	7	21	11	11	8	19	15	10	9	170
富士中央病院　内科	1	1			1			1			1		5
外科・整形・形成			1			1	2	1	1			3	9
泌尿器科	2	1	2	2	2	1	1	2	1	1	1	1	17
救急外来									1		2		3
皮膚科		1			1			1			2	2	7
婦人科											2		2
麻酔科												1	1
聖隷富士病院							1		2			1	4
前田整形外科	2	3				7	6	2	3	1	1		25
田辺整形外科									2		2	10	14
かみで耳鼻科						1	3						4
池辺クリニック	2		2		2	2			2	2		1	13
横割皮膚科											3	3	6
富士整形外科病院	2	1					1						3
沼津市立病院			1	1			1			1		1	5
川村病院	2		1				1						4
鷹岡病院	8	8	8	9	9	17	9	9	10	8	8	8	111
富士脳研付属病院							1	2					3
その他	1	1	1	1			1			1	1	2	4
受診合計	40	32	37	20	36	40	38	26	41	29	33	41	413

資料７　各事業所稼働率　対前年度比表

１．特別養護老人ホーム　みぎわ園

（入居延日数）

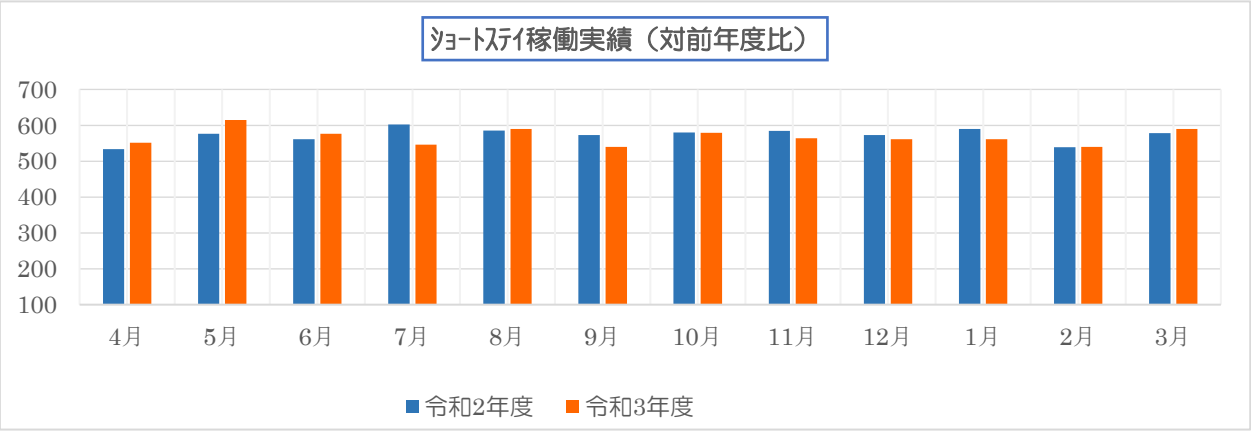
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
R2 年度	2, 358	2, 473	2, 400	2, 467	2, 465	2, 377	2, 474	2, 381	2, 461	2, 420	2, 210	2, 453	28, 939
R3 年度	2, 356	2, 454	2, 373	2, 448	2, 448	2, 365	2, 437	2, 392	2, 449	2, 448	2, 206	2, 477	28, 853
R2-R3	-2	-19	-27	-19	-17	-12	-37	11	-12	28	-4	24	-86
稼働率	98. 2%	99. 0%	98. 9%	98. 7%	98. 7%	98. 5%	98. 3%	99. 7%	98. 8%	98. 7%	98. 5%	98. 9%	98. 8%



２．ショートステイみぎわ園

（利用延人数）

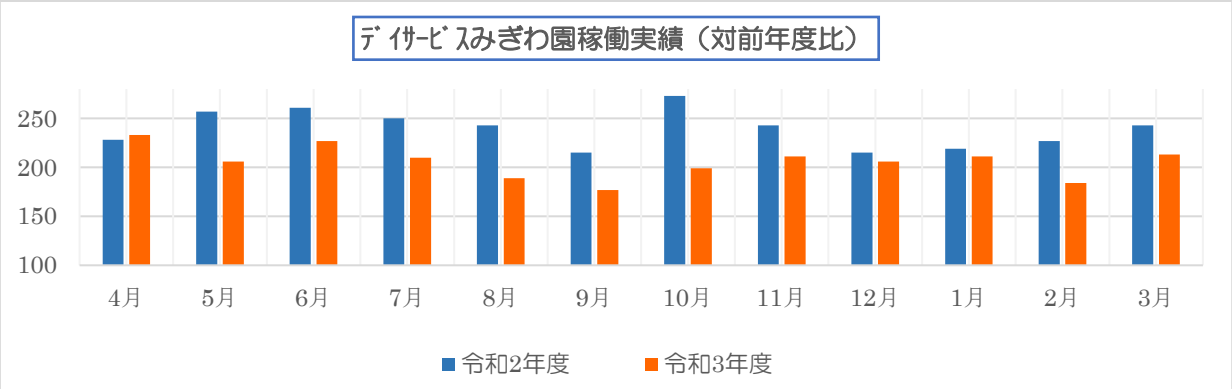
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
R2 年度	534	576	561	602	585	573	580	584	573	590	539	578	6, 875
R3 年度	551	615	576	546	590	540	579	564	561	561	540	590	6, 813
R2-R3	17	39	15	-56	5	-33	-1	-20	-12	-29	1	12	-62
稼働率	91. 8%	99. 2%	96. 0%	88. 1%	95. 2%	90. 0%	93. 4%	94. 0%	90. 5%	90. 5%	96. 4%	95. 2%	93. 3%



3．デイサービスセンターみぎわ園

（利用延人数）

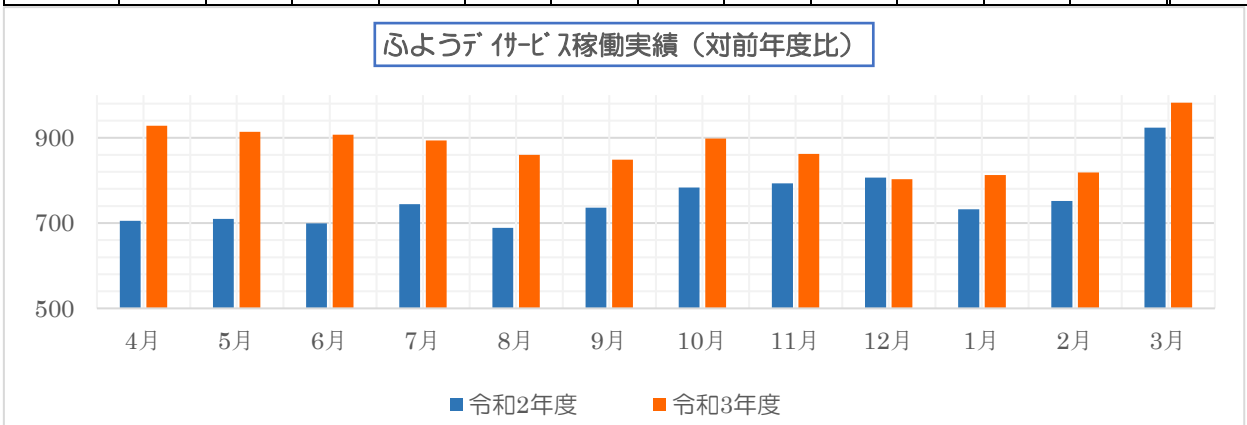
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
R2 年度	228	257	261	250	243	215	273	243	215	219	227	243	2, 874
R3 年度	233	206	227	210	189	177	199	211	206	211	184	213	2, 466
R2-R3	5	-51	-34	-40	-54	-38	-74	-32	-9	-8	-43	-30	-408
稼働率	74. 7%	66. 0%	72. 8%	64. 8%	60. 6%	56. 7%	63. 8%	67. 6%	68. 7%	73. 3%	63. 9%	65. 7%	66. 5%



4．ふようデイサービスセンター

（利用延人数）

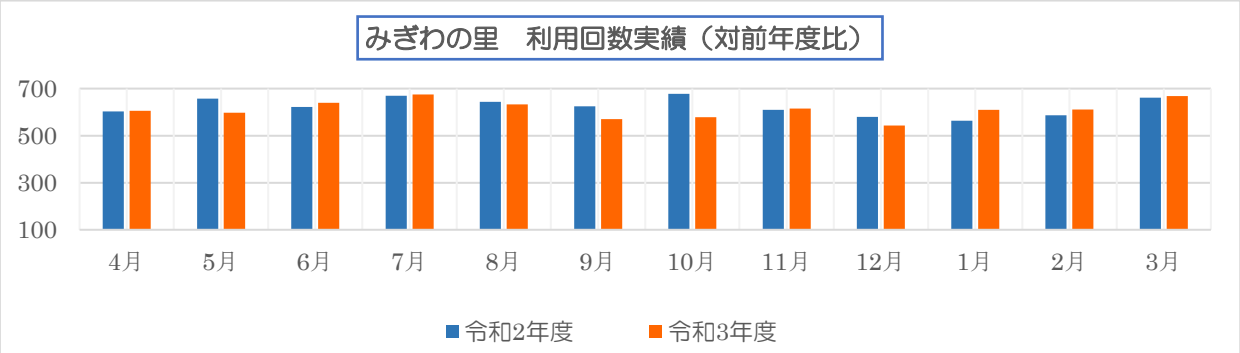
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
R2 年度	705	710	699	744	689	736	783	793	807	732	752	924	9, 074
R3 年度	928	914	907	894	860	849	898	862	803	813	819	982	10, 529
R2-R3	223	204	208	150	171	113	115	69	-4	81	67	58	1, 455
稼働率	77. 5%	78. 0%	76. 8%	78. 7%	75. 7%	80. 9%	82. 9%	90. 6%	92. 2%	87. 1%	89. 5%	97. 8%	83. 9%



5．看護小規模多機能　みぎわの里

（登録人数・ｻｰﾋﾞｽ利用回数）

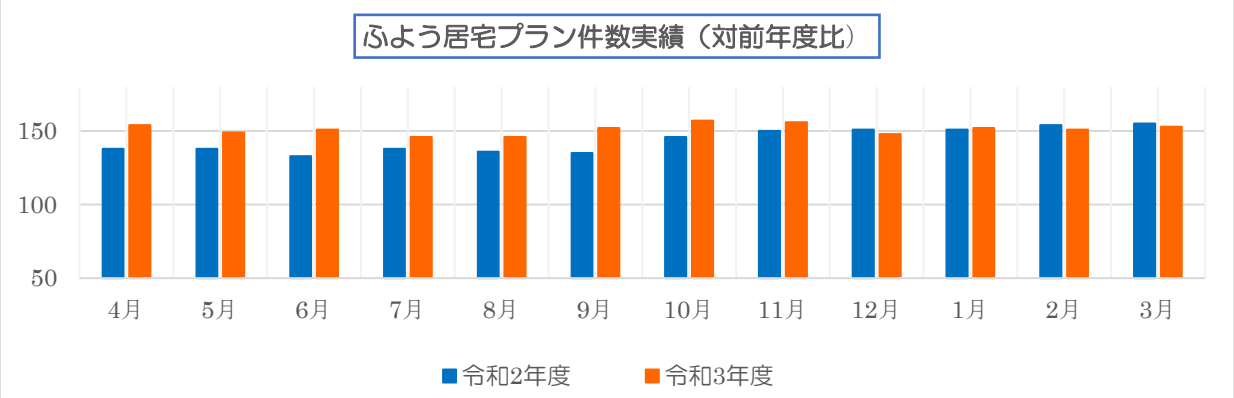
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
R2（登録者）	25	25	24	24	25	25	25	24	24	24	23	23	291
（利用回数）	603	657	622	670	644	625	678	610	580	564	587	661	7,501
R3（登録者）	23	23	24	24	24	22	22	22	22	23	23	22	274
（利用回数）	606	598	639	675	633	570	578	615	543	609	611	668	7,345
R2-R3	3	-59	17	5	-11	-55	-100	5	-37	45	24	7	-156
平均介護度	3.09	3.04	3.17	3.13	3.13	3.09	3.23	3.33	3.14	3.18	3.35	3.27	3.18



6．ふよう居宅介護支援事業所

（プラン件数）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
R2 年度	138	138	133	138	136	135	146	150	151	151	154	155	1,725
R3 年度	154	149	151	146	146	152	157	156	148	152	151	153	1,815
R2-R3	16	11	18	8	10	17	11	6	-3	1	-3	-2	90
件数/一人	38.5	37.3	37.8	36.5	36.5	38.0	39.3	39.0	37.0	38.0	37.8	38.3	37.8



資料８　実習生等受け入れ実績

学 校 及 び 機 関	人 数	期　間	延日数
静岡県立富士宮東高等学校（介護福祉士実習）	4	5/7～21	11
	4	7/8～20	9

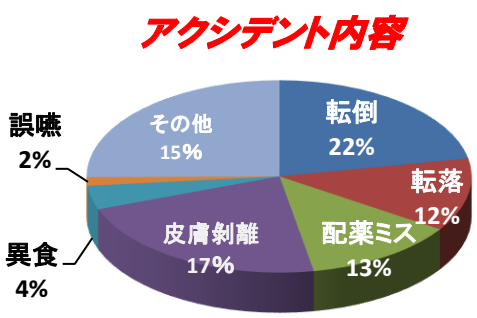
資料９　職員研修状況表

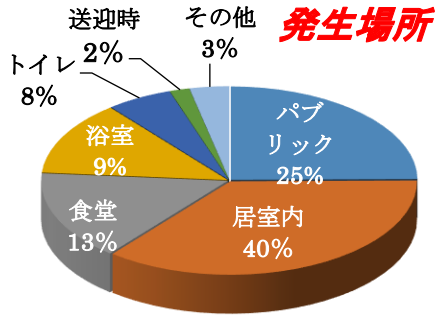
年　月　日	研　　修　　名	主　　催	研 修 先	職　　種	人 数
R3.5.11～	市社協福祉人材育成事業	市社会福祉協議会	富士市	介護職員	1
R3.6.11	ｺｰﾁﾝｸﾞの基本	県社会福祉協議会	オンライン	介護職員	3
R3.6.21	福祉職員のﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ講座	県社会福祉協議会	オンライン	看護職員	1
R3.6.1～9.2	認知症介護実践者研修	県社会福祉協議会	三島市	介護職員	2
R3.6.21・7.14	社福会計経費基礎講座	県社会福祉協議会	動画配信	事務課	2
R3.7.29	接遇ﾏﾅｰ研修	県社会福祉協議会	オンライン	介護職員	1
R3.7.29	利用者第一主義の定義と実践	静岡県老施協	オンライン	介護職員	1
R3.7.29～10.26	認知症介護実践者研修	県社会福祉協議会	富士市	介護職員	3
R3.8.13	ｾﾙﾌﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟのすすめ	県社会福祉協議会	オンライン	介護職員	1
R3.10.2～12.4	介護従事者新任職員研修	市事業者連絡会	富士市	介護職員	1
R3.10.5	R3 年度　ﾀｰﾐﾅﾙｹｱ	県社会福祉協議会	オンライン	介護職員	1
R3.10.15	共感を得る「言葉」講座	県社会福祉協議会	オンライン	介護職員	1
R3.10.25～12.15	介護支援専門員更新研修	県介護支援専門員協会	オンライン	施設ｹｱﾏﾈ	1
R3.11.3	技能実習指導員講習会	県社会福祉協議会	静岡市	介護課長	1
R3.11.10	ﾌｯﾄｹｱ講座	県社会福祉協議会	オンライン	介護職員	1
R3.11.9	感染症講座（中級編）	県社会福祉協議会	オンライン	看護職員	1
R3.12.3	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ講座	県社会福祉協議会	オンライン	介護職員	1
R3.12.13～R4.3.3	介護支援専門員再研修	県介護支援専門員協会	オンライン	施設ｹｱﾏﾈ	1
R4.2.9	ﾌﾟﾘｾﾌﾟﾀｰｼｯﾌﾟ研修	県社会福祉協議会	オンライン	介護職員	1
R4.2.21	高齢者施設のﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	県社会福祉協議会	オンライン	介護職員	2
R4.3.15	福祉人材育成事業研修	市社会福祉協議会	オンライン	介護職員	2
R4.2.28	ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ講座（防災・防犯）	県社会福祉協議会	オンライン	防火管理者	1
R4.3.3～3.4	認知症ｻｰﾋﾞｽ管理者研修	県社会福祉協議会	オンライン	ﾃﾞｲ主任	1

資料 10　リスクマネージメント集計(インシデント・アクシデント報告)

1. アクシデント内容

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
転倒	77	11	3	9	4	5	6	6	9	7	5	6	6
転落	43	5	0	3	3	2	1	4	5	2	6	7	5
配薬ミス	45	9	3	2	0	3	7	1	3	2	10	0	5
皮膚剥離	78	11	7	5	6	14	5	5	5	4	3	7	6
異食	14	1	2	4	2	0	1	1	0	1	1	1	0
誤嚥	5	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0
その他	88	11	5	9	8	13	6	5	6	9	8	8	0
合計	350	50	20	32	24	37	26	22	28	25	34	30	22





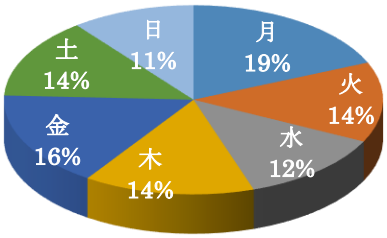
2. 発生場所

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
パブリック	87	7	4	13	4	11	7	7	8	5	6	9	6
居室内	126	23	6	12	11	12	7	9	8	9	10	13	6
食堂	54	8	5	2	0	6	4	4	5	3	7	4	6
浴室	45	6	4	3	6	6	3	1	4	4	4	2	2
トイレ	20	5	0	2	0	0	3	1	1	2	2	2	2
送迎時	6	0	0	0	2	0	0	0	0	2	2	0	0
その他	12	1	1	0	1	2	2	0	2	0	3	0	0
合計	350	50	20	32	24	37	26	22	28	25	34	30	22

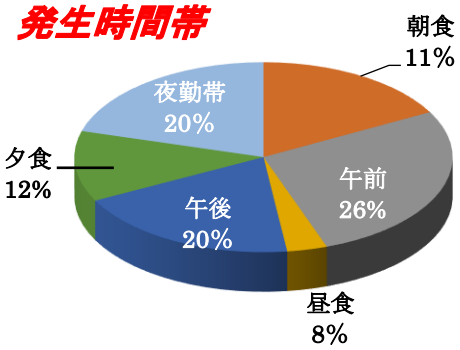
3. 曜日件数

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月	65	11	5	4	5	9	5	3	6	2	6	5	4
火	48	10	1	5	3	4	1	6	3	3	5	4	3
水	44	5	2	4	4	2	2	2	4	2	6	6	5
木	51	4	1	4	6	6	2	1	3	7	8	5	4
金	57	7	2	5	5	7	7	5	6	6	1	3	3
土	48	6	5	6	1	2	6	4	5	2	5	4	2
日	37	7	4	4	0	7	3	1	1	3	3	3	1
合　計	350	49	20	32	24	37	26	22	28	25	34	30	22

曜日件数



発生時間帯



4. 発生時間帯

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
朝食時（6~9）	60	8	4	5	0	3	9	2	5	6	6	3	9
午前（9~12）	96	10	8	7	9	13	4	8	8	8	6	5	10
昼食時（12~14）	12	2	0	2	2	2	0	2	1	0	0	1	0
午後（14~17）	68	8	4	4	5	10	3	2	8	3	7	7	7
夕食時（17~20）	42	6	1	5	3	9	4	2	3	1	4	0	4
夜勤帯（20~6）	72	9	4	11	5	6	5	6	4	5	4	9	4
合　計	350	43	21	34	24	43	25	22	29	23	27	25	34

資料 11　苦情について

苦情件数　４件

受付日	内　　容	対　　応
R3.6.18	吉原西部包括主催の「脳の健康教室」開催中の空調が効きすぎ。換気もしていなかった。	会場の環境など参加者の表情や動作にも気を配り、注意を払い最終的な手段としてエアコンを使用する。
R3.6.21	居宅ケアマネに対し、訪問時間の配慮不足や家族への対応などストレスとなってしまう。	家族の承諾を得て担当を変更。相手側の状況や時間帯など確認し把握する。
R3.12.12	ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ利用者家族より「まだ迎えに来ない。」連絡受けた職員は迎えに行っていると思い込み、待って頂く様に話したが、実際には行っておらず大幅に遅れてしまった、	職員間の伝達徹底をし、送迎担当者と家族が直接携帯等で連絡を取り合い、再確認を行う事など徹底する。
R4.1.1	新規入所時説明で、面会の際はワクチン接種証明書が必要である事の説明を受けておらず、面会に来園した時、園の対応に不信感を抱いた。	改めて職員間の連絡不足について謝罪すると共に、面会時ルール等の説明を再度行った。
R4.1.1	「薄着で居ると熱も出やすいため、厚着で過ごして欲しい。」との家族からの要望がを伝達されなくユニット内での管理に対し苦情を戴いた。	家族からの情報や意向は回覧ノートに記載し、伝達事項は「報・連・相」を徹底する。特に入所時の状況伝達は統一した管理で行う。

資料 12　固定資産取得・償却状況表

【　取　得　】

科目ｺｰﾄﾞ	資　産　名　称	取得年月日	前年末帳簿価額	取　得　の　理　由
1202	LED 照明設備（3F）	R3.9.6	1,375,000 円	省エネ対策
1305	ｽﾃｯﾌﾟﾜｺﾞﾝ（Bﾃﾞｲ） （富士山 503 ぬ 975）	R3.3.15	1 円	利用率増 （R2 年度計上漏れ）
1305	ﾜｺﾞﾝR（みぎわの里） 富士山 581 ぬ 7299	R3.9.7	383,350 円	故障による入替
1306	ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟ PC	R3.5.25	165,000 円	特養相談員入職
1306	ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟ PC	R3.10.25	214,280 円	老朽化による入替
1306	二段式炊飯器	R3.10.26	410,300 円	老朽化による入替
1306	ﾘｸﾗｲﾆﾝｸﾞ車椅子（4 台）	R3.8.4	508,000 円	利用比率増
1306	木目調個浴槽（Eﾃﾞｲ）	R4.2.23	341,000 円	老朽化のための入替
1306	空調設備（居宅）	R3.9.6	157,300 円	故障による入替
1310	寿ｿﾌﾄｳｪｱ（栄養・口腔）	R3.10.25	4,260,960 円	新加算算定対応（特養）

【 廃 棄 】

資産ｺｰﾄﾞ	資 産 名 称	取得年月日	前年末帳簿価	廃棄・売却等の理由
60-05004	ﾗﾊﾟﾝ（みぎわの里） 富士山 581 こ 3591	H31.4.1	1 円	故障のため廃棄
60-06014	ﾜｺﾞﾝR（特養） 沼津 581 さ 587	H26.8.4	1 円	故障のため廃棄
70-05020	歩行訓練機（Bﾃﾞｲ）	H11.3.31	1 円	故障のため廃棄
70-05020	特浴室ﾋｰﾀｰ（Bﾃﾞｲ）	H22.2.28	1 円	老朽化のため廃棄
70-10002	複合機（居宅）	H25.8.10	1 円	ﾘｰｽ満了の為入替

資料 13 修理修繕工事一覧（10 万円以上）

内 容	場 所	施行業者	金 額
外物置入替工事	吉原西部包括	渡邉建設工業㈱	172,000 円
社員寮改修工事	みぎわ園	渡邉建設工業㈱	1,550,000 円
ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ基板交換	みぎわ園	ﾏｰｷｭﾘｰｱｼｪﾝｿｰﾚ㈱	1,100,000 円
LED 照明設置工事	みぎわ園	ﾔﾏｸﾞﾁ電気㈱	1,375,000 円
ﾍﾞﾗﾝﾀﾞ側溝整備工事	みぎわ園	渡邉建設工業㈱	248,000 円
ﾄｲﾚ換気扇手動ｽｲｯﾁ設置工事	みぎわ園	ﾔﾏｸﾞﾁ電気㈱	407,000 円
事業所看板補修工事	みぎわ園 吉原西部包括	渡邉建設工業㈱	308,000 円
居室内換気扇交換工事	みぎわ園	ﾔﾏｸﾞﾁ電気㈱	335,500 円
ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ扉ﾜｲﾔｰ交換工事	みぎわ園	ﾏｰｷｭﾘｰｱｼｪﾝｿｰﾚ㈱	150,000 円

資料 14　保守管理・業務委託一覧

保守保全内容	契約内容	頻　度	形 態	業 者 名
消防機器設備	定期点検・行政報告	2 回/年	年次	ｻﾝｺｰ防災㈱ 深沢消防産業㈱
電気設備	定期点検	1 回/月	年次	関東電気保安協会
建物設備・特殊建物等 定期検査	定期点検・行政報告	1 回/2 年	指名	井上建設㈱ 王子不動産
防火設備定期検査	定期点検・行政報告	1 回/年	年次	ｻﾝｺｰ防災㈱
ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ・荷物用ﾘﾌﾄ	定期点検・行政報告	1 回/月・随時	年次	ﾏｰｷｭﾘｰｱｼｪﾝｿｰﾚ㈱
清掃・消毒点検	施設内環境整備	3 回/週・随時	年次	㈱ﾀﾞｽｷﾝ富士宮
利用者ﾘﾈﾝ	ﾘﾈﾝ洗濯等委託	3 回/週	年次	㈱ﾃﾞｨﾍﾞﾝﾛｲ
貯水槽清掃・水質検査	法定清掃・管理点検	1 回/年	年次	ﾆｯｹﾝ消毒㈱
給食業務	調理配膳配送	毎日	年次	㈱ｸﾘｴｲﾃｨﾌﾞ
PC・介護ｿﾌﾄ管理	PC ｿﾌﾄ保守 ﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟ	随時	設置時	㈱静岡情報処理ｾﾝﾀｰ ㈱夢工房
自動ﾄﾞｱ保守・管理	定期点検・整備	2 回/年	年次	ﾅﾌﾞｺｼｽﾃﾑ㈱
廃棄物処理	一般廃棄物処理 医療廃棄物処理	毎日 適宜	年次	市栄産業㈱ さとう産業㈱
夜間当直	夜間当直業務	2 回/週	年次	㈲ﾌｼﾞﾀ産業